Giving Shape to Ideas

# bizhub 36

## ユーザーズガイド　プリンター機能編



# もくじ

## 1 はじめに



## 2 プリンター機能の概要



## 3 インストールする前にお読みください



## 4 インストーラーによる簡易インストール（Windows）

## 15 PageScope Web Connection



## 16 トラブルシューティング



## 17 付録



## 18 索引

# 1 はじめに

# 1 はじめに

## 1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、本機の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処理方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

### 1.1.1 マニュアル体系について

| 印刷物のマニュアル | 概要 |
|---|---|
| [すぐに使える操作ガイド] | すぐに本製品をご利用いただけるよう、使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。 |
| [安全にお使いいただくために] | 本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。<br>製品のご使用前に必ずお読みください。 |

| ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド | 概要 |
|---|---|
| [ユーザーズガイド コピー機能編] | コピーの機能や本機の設定について記載しています。<br>・ 原稿、コピー用紙の仕様<br>・ コピー機能<br>・ 本機のメンテナンス<br>・ トラブルの対処方法 |
| [ユーザーズガイド プリンター機能編] | プリンター機能について記載しています。<br>・ プリンター設定および操作<br>・ プリンタートラブルの対処方法 |
| [ユーザーズガイド スキャン機能編] | スキャン機能について記載しています。<br>・ スキャン設定および操作<br>・ スキャントラブルの対処方法 |
| [ユーザーズガイド ファクス機能編] | ファクス機能について記載しています。<br>・ ファクス設定および操作<br>・ ファクストラブルの対処方法 |
| [ユーザーズガイド 管理者機能編] | 本機管理者が使用する機能や設定について記載しています。<br>・ 操作パネルでの設定<br>・ PageScope Web Connection での設定 |
| [商標 / ライセンスについて] | 商標およびライセンスについて記載しています。<br>・ 商標、著作権について |

### 1.1.2 ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機を初めてご利用になるお客様から本機を管理する管理者までを対象としています。

本機の基本的な操作方法、より便利にお使いいただくための機能、簡単なトラブルの対処方法、その他本機のさまざまな設定方法について説明しております。

なお、トラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。トラブルの対処は、本書で説明している範囲内で行ってください。

お困りの際には、サービス実施店にご連絡ください。

# 1.2 ページの見かた

## 1.2.1 本文中の記号について

本書では、様々な情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

### 安全にお使いいただくために

---

⚠ **警告**

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

---

⚠ **注意**

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

---

**重要**
本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。

### 手順文について

✔ このチェック記号は、手順の前提となる条件や機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

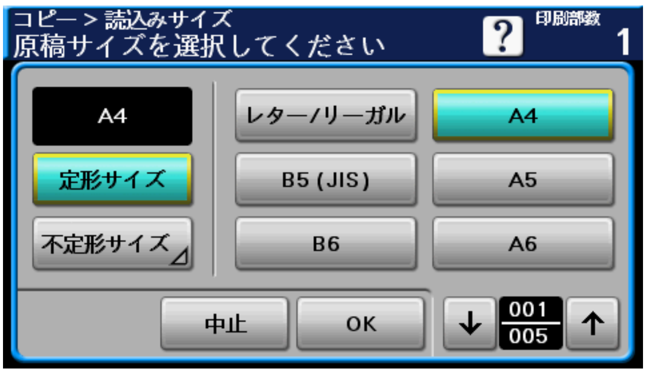
1 このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。

2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。

➔ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

→ この記号は、目的のメニューにアクセスする操作パネルの遷移を表します。




目的の画面を表示しています。

**参照**
参照先を表しています。

必要に応じてごらんください。

### キー記号について

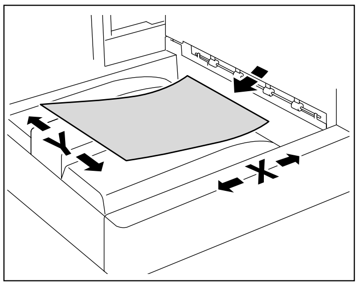
[ ]
タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、マニュアル名称などを表します。

文中の太字
操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

## 1.2.2　原稿と用紙の表示について

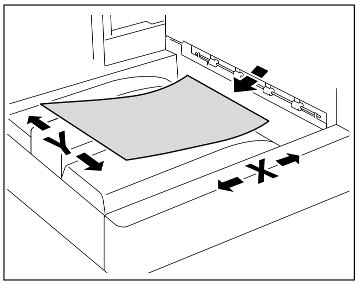
### 原稿と用紙の大きさ

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。

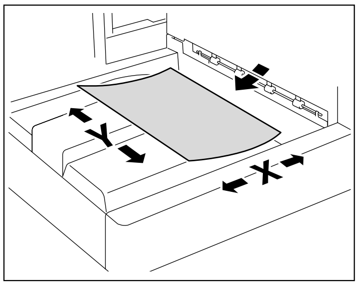



### 原稿と用紙の表示

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを ▭ と表示します。




幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを ▯ と表示します。



# 2 プリンター機能の概要

# 2　プリンター機能の概要

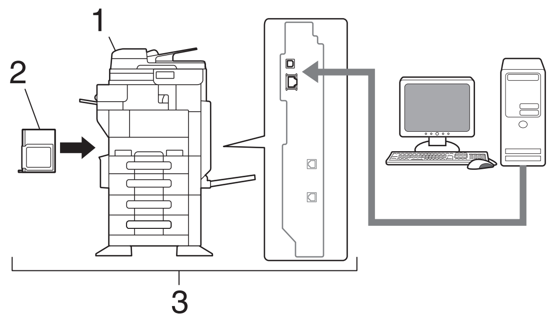
本機のプリンター機能を実現するプリンターコントローラーの概要と接続環境を説明します。

## 2.1　プリンターコントローラーとは

プリンターコントローラーは、本機で印刷機能、ネットワーク印刷機能を実現するための装置です。

### 2.1.1　プリンターコントローラーの役割

プリンターコントローラーを内蔵することで、本機がプリンティングシステムとなり、本機とつながっているコンピューター上のアプリケーションから印刷ができます。本機をネットワークプリンターとして使用するときも、コンピューター上のアプリケーションから印刷ができます。




1. 本機
2. プリンターコントローラー
3. プリンティングシステム

プリンターコントローラーは、以下の機能を持っています。

- コンピューター上のプリンタードライバーから送られたデータを印刷する機能
- TCP/IP（IPv4/IPv6）、IPX/SPX、AppleTalk などのネットワークプロトコルをサポート
- Web サービス印刷 (Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2)、LPR 印刷、IPP 印刷などを利用した、ネットワーク経由による印刷機能
- ネットワーク経由での、クライアント PC からの本機／プリンターコントローラーの設定（Web ブラウザー使用）
- 印刷枚数の管理（ユーザー認証・部門管理機能）
- コンピューターを使用したファクス機能（PC-FAX 送信）

**参照**

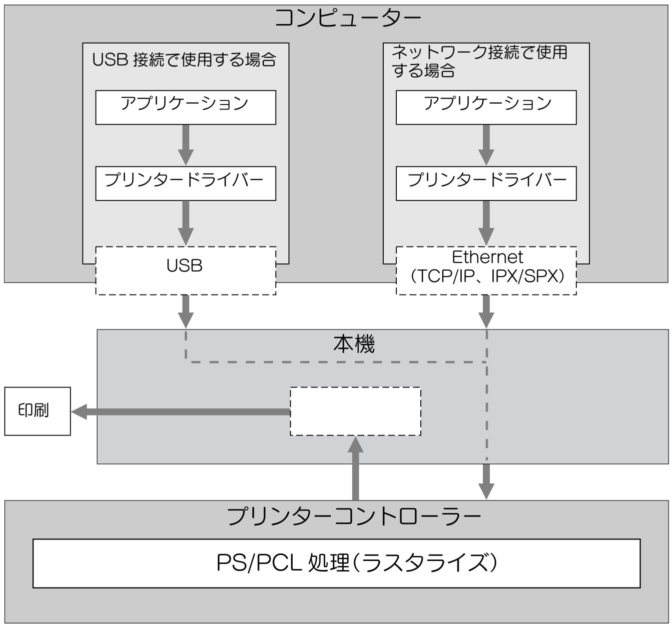
ファクス機能を利用する場合は、オプションの **FAX キット**が必要です。PC-FAX 送信については、[ユーザーズガイド ファクス機能編］をごらんください。

## 2.1.2 印刷の流れ

プリンターとして本プリンティングシステムを使用するときの大まかな処理の流れは以下のとおりです。

アプリケーションから送られた印刷データは、プリンタードライバーが受け取ります。

USB 接続で使用する場合は USB インターフェース、ネットワーク接続で使用する場合は Ethernet（TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalk）を通じてデータが本機に送られ、本機からプリンターコントローラーに渡されます。プリンターコントローラーでは画像のラスタライズ（出力する文字や画像をビットマップデータに展開する）処理が行われます。このデータが本機から印刷されます。



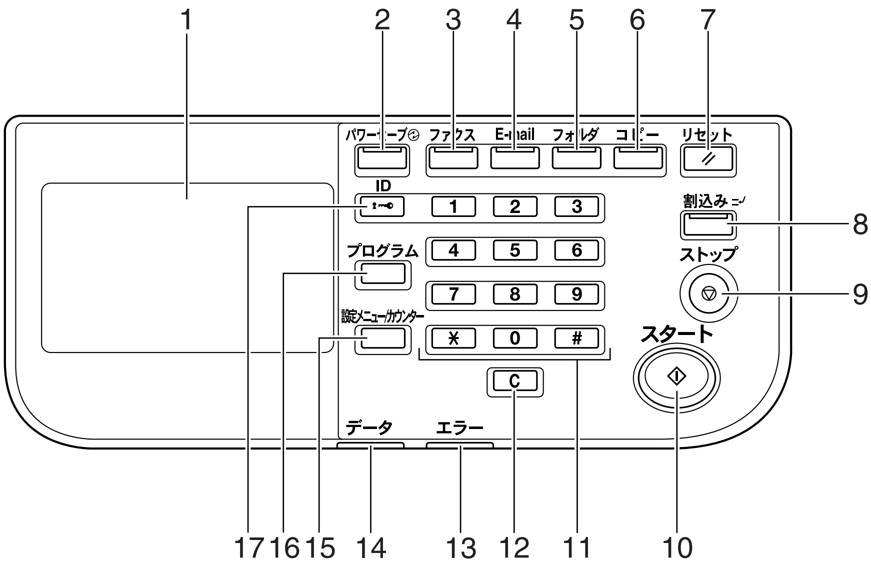

プリンターとして機能している途中で、コピー機能やネットワークスキャン機能の原稿読み取りを行うことができます。コピー機能を使用するときは、操作パネルの**コピー**を押すと、コピーができるようになります。

コピー中に印刷ジョブを受信したときは、データが本機のメモリーに蓄積されます。コピーが終了すると自動的に出力を開始します。

## 2.1.3 操作パネル

プリンタードライバーの設定は主にコンピューターで行いますが、本機の操作パネルでフォントリストの印刷やコントローラーの設定、印刷時の初期設定ができます。

操作パネルのキーについて説明します。




| No. | 名称 | 説明 |
|---|---|---|
| 1 | タッチパネル | 各設定画面やメッセージが表示されます。**タッチパネル**に直接タッチして各設定を行うことができます。 |
| 2 | パワーセーブ | スリープモードに切換わります。スリープモード時はランプが緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。スリープモード時に**パワーセーブ**を押すと、スリープモードは解除されます。 |
| 3 | ファクス | ファクス機能に切換わります。ファクス機能中は**ファクス**が緑色に点灯します。<br>ファクス機能について詳しくは、[ユーザーズガイド ファクス機能編] をごらんください。 |
| 4 | E-mail | E-mail 機能に切換わります。E-mail 機能中は **E-mail** が緑色に点灯します。<br>E-mail 機能について詳しくは、[ユーザーズガイド スキャン機能編] をごらんください。 |
| 5 | フォルダ | ファイル送信機能に切換わります。ファイル送信機能中は**フォルダ**が緑色に点灯します。<br>ファイル送信機能について詳しくは、[ユーザーズガイド スキャン機能編] をごらんください。 |
| 6 | コピー | コピー機能に切換わります。コピー機能中は**コピー**が緑色に点灯します。<br>コピー機能について詳しくは、[ユーザーズガイド コピー機能編] をごらんください。 |
| 7 | リセット | **操作パネル**、または**タッチパネル**で入力した設定（登録した設定は除く）をリセットできます。 |
| 8 | 割込み | 割込み機能に切換わります。割込み機能中は**割込み**が緑色に点灯します。割込み機能中に**割込み**を押すと割込み機能を解除できます。 |
| 9 | ストップ | コピー、スキャン、印刷中に動作を一時停止できます。 |
| 10 | スタート | コピー、スキャン、ファクスなどの動作を開始できます。 |
| 11 | テンキー | 部数の設定ができます。倍率の入力ができます。各種の設定値の入力ができます。 |
| 12 | C（クリア） | **テンキー**で入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）を取消すことができます。 |

| No. | 名称 | 説明 |
|---|---|---|
| 13 | **エラーランプ** | エラー発生時はオレンジ色に点滅します。サービス実施店への連絡が必要なエラー発生時は、オレンジ色に点灯します。 |
| 14 | **データランプ** | 印刷ジョブを受信中は、青色に点滅します。印刷ジョブが印刷待ち、および印刷中は、青色に点灯します。 |
| 15 | **設定メニュー / カウンター** | ［設定メニュー］画面に切換わります。<br>［設定メニュー］画面では、［ユニバーサル設定］、［セールスカウンター］、［宛先登録］、［ユーザー設定］、［管理者設定］の各設定や確認ができます。 |
| 16 | **プログラム** | 目的のコピー / ファクス / スキャン機能の条件を登録（書込み）したり、登録した条件を呼出すことができます。 |
| 17 | **ID** | ユーザー認証または部門認証を設定している場合、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門認証）を入力したあとに ID を押すと本機が使用できるようになります。<br>また、ログイン状態からログアウトし、認証画面に戻ります。 |

参考

- 印刷時の初期設定を変更する場合は、［設定メニュー］で行います。
- ホーム、コピー、フォルダ、E-mail、ファクスのどのモード画面でも、本機をプリンターとして使用することができます。

# 2.2 動作環境

本プリンティングシステムを使うために必要なシステムと、接続に使用するインターフェースについて説明します。

## 2.2.1 プリントできるコンピューターと OS

接続するコンピューターが、以下の条件を満たしていることを確認してください。

### Windows

| | |
|---|---|
| OS | プリンタードライバーの種類により、対応する OS が異なります。詳しくは、3-3 ページをごらんください。 |
| CPU | OS が推奨する環境以上 |
| メモリー | OS が推奨するメモリー容量<br>OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリーリソースが十分であること。 |
| ドライブ | CD-ROM ドライブ |

### Macintosh

| | |
|---|---|
| OS | Mac OS X（10.2.8 、10.3.9、10.4、10.5、10.6、10.7） |
| CPU | PowerPC、Intel プロセッサー<br>（Intel プロセッサーは、Mac OS X 10.4/10.5/10.6/10.7 のみ） |
| メモリー | OS が推奨するメモリー容量 |
| ドライブ | CD-ROM ドライブ |

### Linux

| | |
|---|---|
| OS | Red Hat Enterprise Linux 5 Desktop/SUSE Linux Enterprise Desktop 11 |
| CPU | OS が推奨する環境以上 |
| メモリー | OS が推奨するメモリー容量以上（128 MB 以上を推奨） |
| ドライブ | CD-ROM ドライブ |

## 2.2.2 接続に使用するインターフェース

本プリンティングシステムとコンピューターを接続するには、以下の種類のインターフェースが使用できます。

### Ethernet

本プリンティングシステムをネットワーク接続で使用するときに利用します。
1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP（LPD/LPR、IPP）、Web サービス、IPX/SPX（NetWare）、AppleTalk（EtherTalk）などに対応しています。

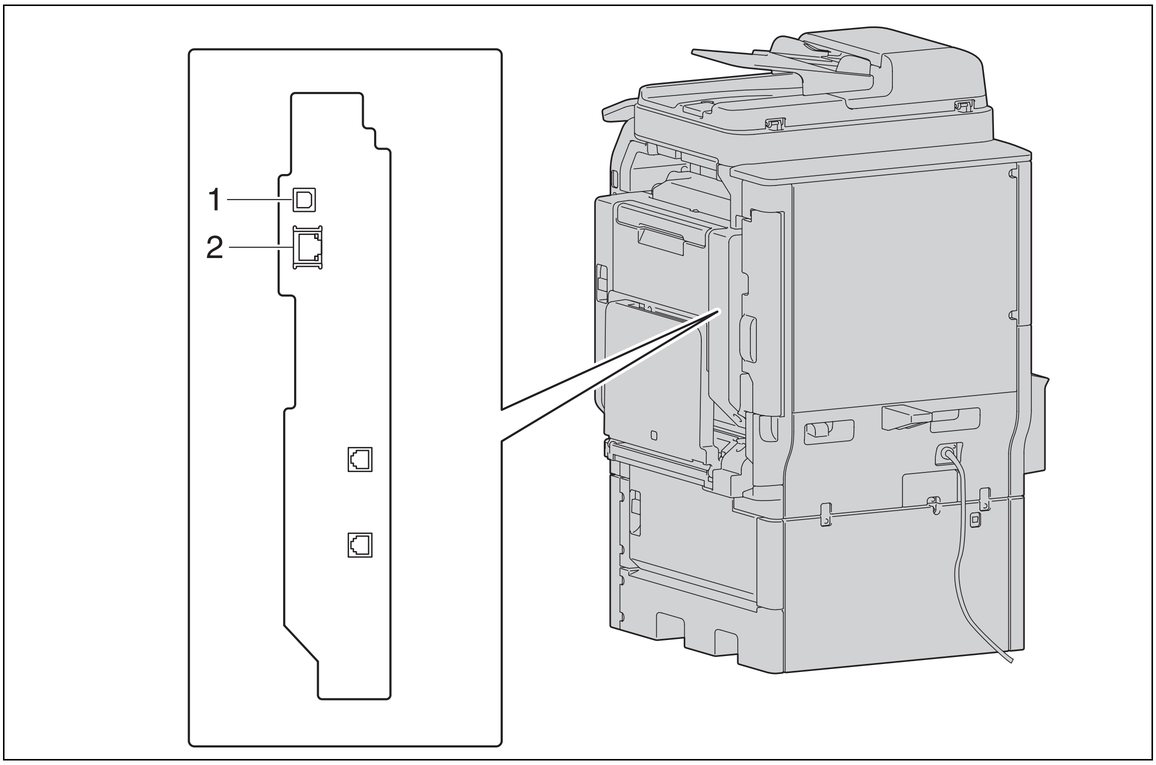
### USB インターフェース

本プリンティングシステムを USB 接続で使用するときに利用します。接続には USB ケーブルが必要です。USB ケーブルは A タイプ（4 ピンオス）-B タイプ（4 ピンオス）のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下のものをおすすめいたします。

### 接続図

プリンターケーブルは、本機の各ポートに接続します。

本機背面




1. USB ポート
2. Ethernet ポート（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T）

## 2.3 セットアップの流れ

本プリンティングシステムをご使用いただくためには、セットアップを行う必要があります。

セットアップとは、本機とコンピューターを接続し、プリンタードライバーをコンピューターへインストールする一連の準備をいいます。

セットアップする場合は、以下の流れとなります。

### 2.3.1 ネットワーク接続の場合

1 本機とコンピューターを接続します。

2 使用するコンピューターがネットワークに接続されていることを確認します。

3 本機の IP アドレスを設定し、ネットワークに接続します。

4 接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。
- ➔ LPR：［TCP/IP 設定］で LPD を有効に設定しておきます。（初期設定で有効になっています。）
- ➔ Port 9100：［TCP/IP 設定］で RAW ポートを有効に設定し、RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を設定しておきます。
- ➔ IPP/IPPS：［IPP 設定］で IPP 印刷を有効に設定しておきます。IPPS 印刷の場合は、本機に証明書をインストールしておきます。
- ➔ Web サービス印刷：［Web サービス設定］でプリント機能を有効にしておきます。
- ➔ Boujour：［Bonjour 設定］で Bonjour を有効に設定しておきます。
- ➔ AppleTalk：［AppleTalk 設定］で AppleTalk を有効に設定しておきます。

5 プリンタードライバーをインストールします。
- ➔ 接続方法やプロトコルに応じてプリンタードライバーのネットワークポートを設定します。

参考
- プリンタードライバーのインストール後は、印刷テストを行い、接続に問題がないことを確認してください。

**参照**

接続できるインターフェースについては、2-7 ページをごらんください。

ネットワークの設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

プリンタードライバーのインストールは、本機との接続方法やご使用になるコンピューターの OS、プリンタードライバーの種類によって、手順が異なります。詳しくは、3-2 ページをごらんください。

既存のプリンタードライバーをアップデートする場合は、先に既存のプリンタードライバーを削除してください。詳しくは、9-2 ページをごらんください。

必要に応じて、PageScope Web Connection でインターフェースのタイムアウト設定を行います。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

### 2.3.2 ローカル接続の場合

1 本機とコンピューターを接続します。

2 プリンタードライバーをインストールします。

# 3 インストールする前にお読みください

# 3　インストールする前にお読みください

プリンタードライバーを選択するために必要な情報を説明します。

## 3.1　はじめに

本章では、プリンタードライバーをインストールする前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

プリンタードライバーのインストール方法は、ご使用になるコンピューターと本機の接続方法やコンピューターの OS、プリンタードライバーの種類によって、手順が異なります。

はじめに、お使いのコンピューターの OS や接続環境を確認し、インストールするプリンタードライバーと接続方法を決定してください。

インストール方法は、プリンタードライバーと接続方法によって選択してください。

## 3.2 各 OS にインストールできるプリンタードライバー

本プリンティングシステムを使用するためには、プリンタードライバーのインストールが必要です。

Drivers CD-ROM に含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターの OS は以下のとおりです。必要なプリンタードライバーを選択してください。

| プリンタードライバー | ページ記述言語 | 対応 OS |
|---|---|---|
| PCL コニカミノルタ製ドライバー（PCL ドライバー） | PCL6 | Windows XP Home Edition（SP3 以降）<br>Windows XP Professional（SP3 以降）<br>Windows Server 2003, Standard Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003 R2, Standard Edition<br>Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition<br>Windows XP Professional ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Standard ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition<br>Windows Server 2003 R2, Enterprise ×64 Edition<br>Windows Vista Business（SP2 以降）*<br>Windows Vista Enterprise （SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Basic（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Premium （SP2 以降）*<br>Windows Vista Ultimate （SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 Standard （SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 Enterprise （SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 R2 Standard<br>Windows Server 2008 R2 Enterprise<br>Windows 7 Home Basic<br>Windows 7 Home Premium *<br>Windows 7 Professional *<br>Windows 7 Enterprise *<br>Windows 7 Ultimate *<br>* 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。 |
| PostScript コニカミノルタ製ドライバー（PS ドライバー） | PostScript 3 Emulation | Windows XP Home Edition（SP3 以降）<br>Windows XP Professional（SP3 以降）<br>Windows Server 2003, Standard Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003 R2, Standard Edition<br>Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition<br>Windows XP Professional ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Standard ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition<br>Windows Server 2003 R2, Enterprise ×64 Edition<br>Windows Vista Business（SP2 以降）*<br>Windows Vista Enterprise（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Basic（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Premium（SP2 以降）*<br>Windows Vista Ultimate（SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 Standard（SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 Enterprise（SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 R2 Standard<br>Windows Server 2008 R2 Enterprise<br>Windows 7 Home Basic<br>Windows 7 Home Premium *<br>Windows 7 Professional *<br>Windows 7 Enterprise *<br>Windows 7 Ultimate *<br>* 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。 |
| PostScript PPD ドライバー（PS-PPD） | | Mac OS X 10.2.8/10.3.9/10.4/10.5/10.6/10.7 |
| PostScript PPD ドライバー（PPD for CUPS） | | SUSE Linux Enterprise Desktop 11 (CUPS Ver. 1.1.23)<br>Red Hat Enterprise Linux 5 Desktop (CUPS Ver. 1.2.4) |

| プリンタードライバー | ページ記述言語 | 対応 OS |
|---|---|---|
| XPS コニカミノルタ製ドライバー（XPS ドライバー） | XPS | Windows Vista Business（SP2 以降）*<br>Windows Vista Enterprise（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Basic（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Premium（SP2 以降）*<br>Windows Vista Ultimate（SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 Standard（SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 Enterprise（SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 R2 Standard<br>Windows Server 2008 R2 Enterprise<br>Windows 7 Home Basic<br>Windows 7 Home Premium *<br>Windows 7 Professional *<br>Windows 7 Enterprise *<br>Windows 7 Ultimate *<br>* 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。 |

参考
- ページ記述言語は、印刷に使用するアプリケーションに応じて選択してください。
- Windows 用の PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバーはインストーラーでもプリンターの追加ウィザードでもインストールできます。

**参照**
ファクスドライバーについては、［ユーザーズガイド ファクス機能編］をごらんください。

## 3.3 各 OS で選択可能な接続方法

本機の接続方法はコンピューターの OS によって異なります。また、接続方法によってプリンタードライバーのインストール方法も異なります。接続方法には、ネットワーク接続と USB インターフェースでの接続があります。ネットワーク接続は、さらに使用するプロトコルによりプリンタードライバーのインストール方法が異なります。

ネットワーク接続（Ethernet）：
ネットワークプリンターとして使用する接続方法です。
本プリンティングシステムは、1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。
また、プロトコルは TCP/IP（LPD/LPR、IPP）、IPX/SPX（NetWare）、AppleTalk（EtherTalk）などに対応しています。
利用できるプロトコルはコンピューターの OS によって異なります。

USB インターフェース：
ローカルプリンターとして使用する接続方法です。Windows、Mac OS X または Linux のインストールされたコンピューターで接続できます。
本書では、USB 接続のセットアップ方法として、プラグアンドプレイの方法のみ説明しています。

### 3.3.1 Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2

| セットアップ方法 | 接続方法 | | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| インストーラーでセットアップが可能な接続方法 | Port 9100 | Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。 | p. 4-2<br>・ 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100 、USB の場合は ［標準印刷］、IPP の場合は［インターネット印刷］を選択してください。 |
| | IPP | IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。 | |
| | USB | USB ポートによる接続です。 | |
| プリンターの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法 | LPR | LPR （ ラインプリンターリモート）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに LPR を使用します。 | p. 5-2 |
| | Port 9100 | Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。 | |
| | IPP/IPPS | IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。 | |
| | Web サービスプリント | Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の Web サービス機能に対応した接続で、ネットワーク上のプリンターを自動的に検出して接続します。 | |
| | USB | USB ポートによる接続です。 | |
| プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法 | USB | USB ポートによる接続です。 | p. 5-13 |

参考

- Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。

**参照**

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

## 3.3.2 Windows XP/Server 2003

| セットアップ方法 | 接続方法 | | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| インストーラーでセットアップが可能な接続方法 | Port 9100 | Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。 | p. 4-2<br>・ 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100 、USB の場合は ［標準印刷］、IPP の場合は［インターネット印刷］を選択してください。 |
| | IPP | IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP （HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。 | |
| | USB | USB ポートによる接続です。 | |
| プリンターの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法 | LPR | LPR （ ラインプリンターリモート）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに LPR を使用します。 | Windows XP/ Server 2003：p. 5-16 |
| | Port 9100 | Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。 | |
| | IPP/IPPS | IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP （HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。 | |
| | USB | USB ポートによる接続です。 | |
| プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法 | USB | USB ポートによる接続です。 | Windows XP/ Server 2003：p. 5-20 |

参考

- Windows XP/Server 2003 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。
- インストーラーでは、Windows XP/Server 2003 の IPv6 環境でのインストールは対応していません。

**参照**

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

### 3.3.3 Mac OS X 10.2/10.3/10.4/10.5/10.6/10.7

| セットアップ方法 | 接続方法 | | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| セットアップが可能な接続方法 | Bonjour | Bonjour、Rendezvous によるネットワーク接続です。 | p. 6-2<br>・ インストーラーでインストールし、接続方法は、インストール後にプリンターの選択で指定します。 |
| | AppleTalk | AppleTalk によるネットワーク接続です。 | |
| | LPR | LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。 | |
| | IPP | IPP プリントサービスによるネットワーク接続です。 | |
| | USB | USB ポートによる接続です。 | p. 6-17 |

参考
- AppleTalk による接続は、Mac OS X 10.2/10.3/10.4/10.5 までの対応になります。

**参照**
ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

### 3.3.4 Linux

| セットアップ方法 | 接続方法 | | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| セットアップが可能な接続方法 | LPR | LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。 | p. 7-2 |
| | AppSocket/<br>HP JetDirect | AppSocket/HP JetDirect によるネットワーク接続です。 | |
| | IPP | IPP プリントサービスによるネットワーク接続です。 | |
| | USB | USB ポートによる接続です。 | |

**参照**
ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

### 3.3.5 NetWare について

| NetWare バージョン | 使用するプロトコル | 接続方法 |
|---|---|---|
| NetWare 4.x | IPX | Bindery Pserver<br>Nprinter/Rprinter |
| NetWare 5.x | IPX | NDS Pserver<br>Nprinter/Rprinter |
| | TCP/IP | NDPS |
| NetWare 6.x | IPX | NDS Pserver |
| | TCP/IP | NDPS |

**参照**
NetWare の機能の詳細は、NetWare の操作説明書をごらんください。
NetWare 環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

# 4 インストーラーによる簡易インストール（Windows）

# 4 インストーラーによる簡易インストール（Windows）

インストーラーを利用して Windows プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

## 4.1 インストーラーについて

本インストーラーを利用すると、コンピューターと同じ TCP/IP ネットワーク上の本機や、USB で接続されている本機が自動的に検出され、必要なプリンタードライバーがインストールされます。また、接続先を手動で指定してインストールすることもできます。

インストーラーでインストールできるプリンタードライバーは、PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバーです。

### 4.1.1 インストーラーの動作環境

| | |
|---|---|
| OS | Windows XP Home Edition（SP3 以降）<br>Windows XP Professional（SP3 以降）<br>Windows Server 2003, Standard Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003 R2, Standard Edition<br>Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition<br>Windows XP Professional ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Standard ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition<br>Windows Server 2003 R2, Enterprise ×64 Edition<br>Windows Vista Business（SP2 以降）*<br>Windows Vista Enterprise（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Basic（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Premium（SP2 以降）*<br>Windows Vista Ultimate（SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 Standard（SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 Enterprise（SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 R2 Standard<br>Windows Server 2008 R2 Enterprise<br>Windows 7 Home Basic<br>Windows 7 Home Premium *<br>Windows 7 Professional *<br>Windows 7 Enterprise *<br>Windows 7 Ultimate *<br>* 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。 |
| CPU | OS が推奨する環境以上 |
| メモリー | OS が推奨するメモリー容量<br>OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリーリソースが十分であること。 |

参考

- Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- USB で接続していて、新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックしてください。
- インストーラーはWindows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2の場合のみIPv4/IPv6環境の両方に対応しています。ただし、IPv6 環境での［インターネット印刷］（IPP）には対応していません。

# 4.2 インストーラーによる簡単インストール手順

## 4.2.1 本機の設定

ネットワーク接続の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

### 本機の TCP/IP 設定

本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。

**参照**

ネットワーク接続の場合は、本機を自動的に検出するため、あらかじめ本機に IP アドレスを設定しておく必要があります。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

### 本機の RAW ポート番号 /IPP 設定

接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。

- Port 9100：［TCP/IP 設定］で RAW ポートを有効に設定し、RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を設定しておきます。
- IPP：［IPP 設定］で IPP 印刷を有効に設定しておきます。

**参照**

本機の TCP/IP 設定、IPP 設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

## 4.2.2 プリンタードライバーをインストール

1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

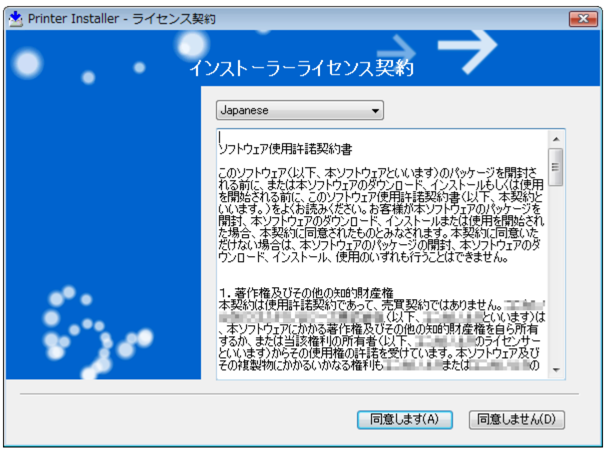
➔ インストールプログラムが起動するのを確認します。
➔ インストールプログラムが起動しない場合は、CD-ROM 内の［AutoRun.exe］をダブルクリックします。
➔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールする場合、［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［許可］または［続行］をクリックします。

2 ［プリンター / ファクス］をクリックします。

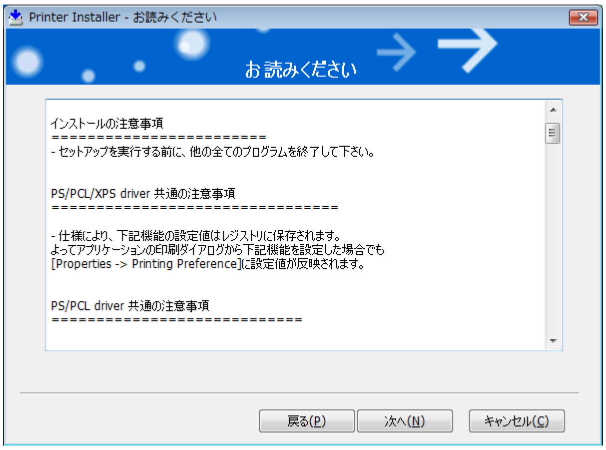
プリンター / ファクスドライバーのインストーラーが起動します。

3 使用許諾契約書の全ての条項に同意する場合は、［同意します］をクリックします。

➔ 同意していただけない場合は、インストールできません。
➔ 言語が表示されているボックスでインストーラーの表示言語を変更できます。




4 ［お読みください］画面で、内容を確認して［次へ］をクリックします。

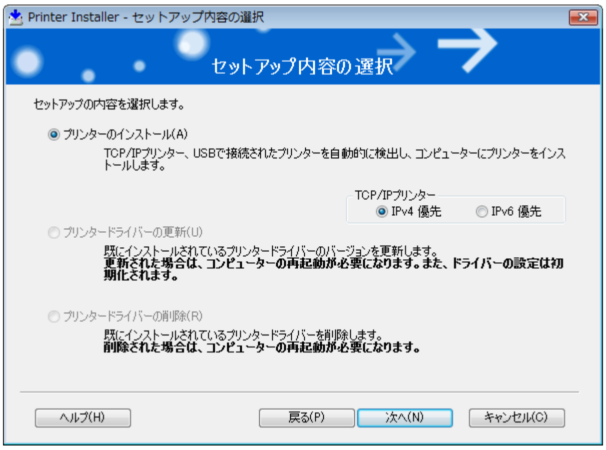



5　セットアップの内容を選択する画面が表示された場合は、［プリンターのインストール］を選択して［次へ］をクリックします。

接続されているプリンター・複合機が検出されます。

➔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、［IPv4 優先］/［IPv6 優先］を選択できます。検出するプリンター・複合機が IPv4 と IPv6 の両方で検出したとき、優先するアドレスになります。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。



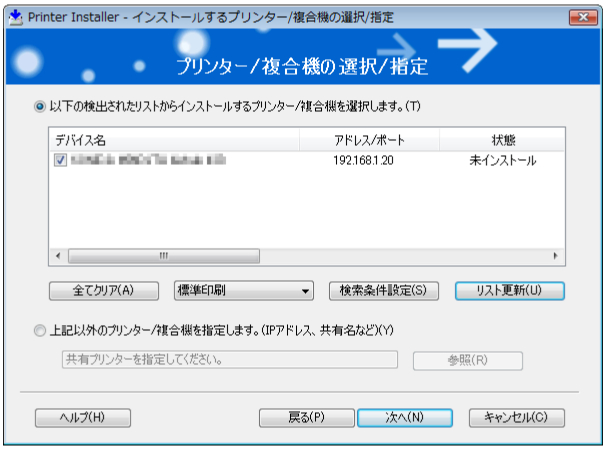

6　本機を選択して［次へ］をクリックします。

➔ 接続されているプリンター・複合機のうち、プリンタードライバーに対応した機種のみがリストに表示されます。複数台の対象機種が表示される場合は、IP アドレスで確認してください。

➔ 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、画面下部の［上記以外のプリンター / 複合機を指定します。（IP アドレス、共有名など）］を選択し、手動で指定してください。

➔ 印刷の方法として、［標準印刷］（Port 9100、USB）のほか、［インターネット印刷］（IPP）を選択できます。

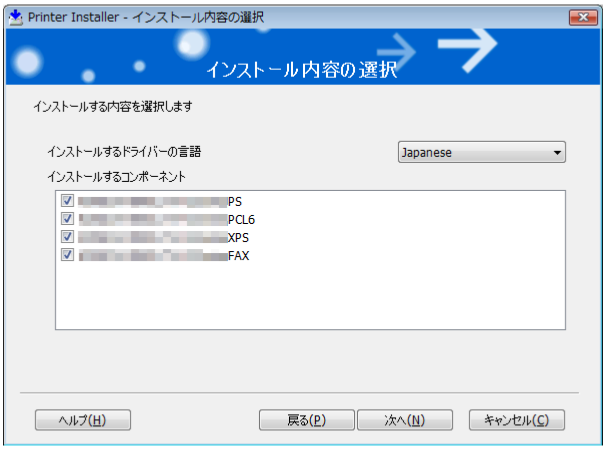
➔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、IPv4/IPv6 環境の両方に対応していますが、IPv6 環境での［インターネット印刷］（IPP）には対応していません。




7 インストールするコンポーネントを選択します。

➔ ［インストールするドライバーの言語］で、ドライバーの表示言語を変更できます。

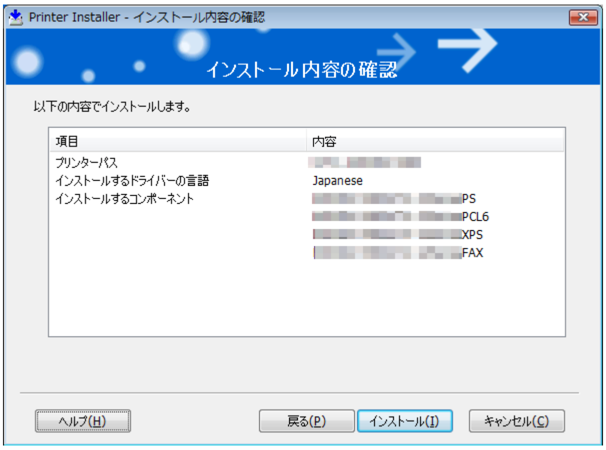
➔ ファクスドライバーについては、［ユーザーズガイド ファクス機能編］をごらんください。



8 インストール内容を確認します。

➔ 変更する場合は［戻る］をクリックし、手順 7 へ戻ります。

➔ 変更しない場合は手順 9 へ進みます。



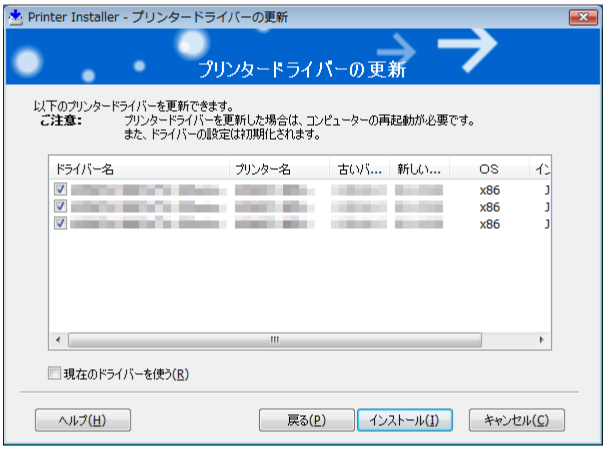

9 ［インストール内容の確認］画面で［インストール］をクリックします。

➔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバー ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

➔ Windows XP/Server 2003 で「Windows ロゴ テスト」、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

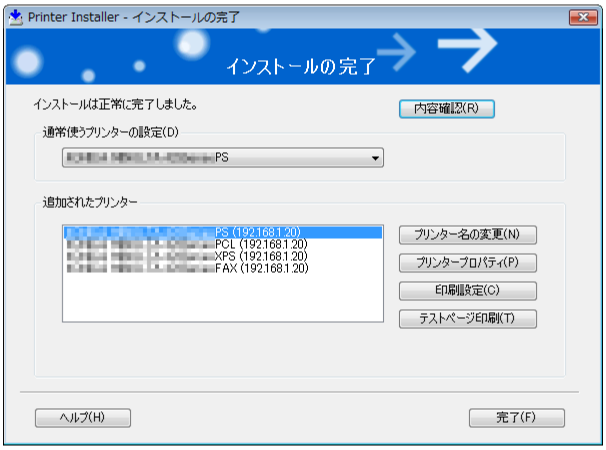
10 古いバージョンのドライバーが既にインストールされている場合は、［プリンタードライバーの更新］画面が表示されます。更新するドライバーを選択して、［インストール］をクリックしてください。

➔ プリンタードライバーの更新をすると、コンピューターの再起動が必要になります。
また、プリンタードライバーの設定は初期化されます。



11 ［インストールの完了］画面で［完了］をクリックします。

インストールが完了します。




［インストールの完了］画面では、インストール項目の確認や設定変更を行えます。

| 項目名 | 説明 |
|---|---|
| ［内容確認］ | インストール内容を確認します。 |
| ［プリンター名の変更］ | プリンター名を変更します。 |
| ［プリンタープロパティ］ | プリンタードライバーのプロパティ設定を行います。詳しくは、10-3 ページをごらんください。 |
| ［印刷設定］ | プリンタードライバーの［印刷設定］画面を表示し、各種機能を設定します。詳しくは、10-7 ページをごらんください。 |
| ［テストページ印刷］ | テスト印刷を行います。 |

12 ［終了］をクリックして、インストールプログラムを終了します。

13 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

# 5 プリンターの追加ウィザードによる手動インストール

# 5 プリンターの追加ウィザードによる手動インストール

インストーラーを利用せず、Windows 標準のプリンター追加機能で Windows プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

## 5.1 Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2

### 5.1.1 ネットワーク接続（LPR/Port 9100）の場合

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、ネットワーク上のプリンターを検索してインストールすることも、プリンターポートを作成してインストールすることもできます。

#### 本機の設定

Port 9100 印刷、LPR 印刷を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

| 設定する項目 | 説明 |
|---|---|
| IP アドレス | 本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。 |
| RAW ポート番号 | Port 9100 印刷を利用する場合：<br>本機の［TCP/IP 設定］で RAW ポートを有効に設定し、RAW ポート番号（初期設定では [9100]）を設定しておきます。 |
| LPD 設定 | LPR 印刷を利用する場合：<br>本機の［TCP/IP 設定］で LPD を有効に設定しておきます。 |

**参照**

本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

#### プリンターの追加でプリンターを検索してプリンタードライバーをインストール

✔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［コントロール パネル］をクリックします。

3 ［ハードウェアとサウンド］のプリンター機能を選択します。

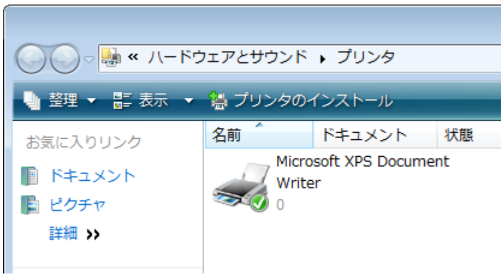
➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。［コントロール パネル］がアイコン表示になっている場合は、［デバイスとプリンター］をダブルクリックします。

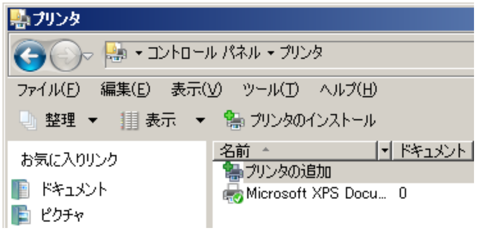
4 ツールバーのプリンターの追加機能を選択します。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、ツールバーの［プリンタのインストール］をクリックします。

Windows Vista の場合：




Windows Server 2008 の場合：

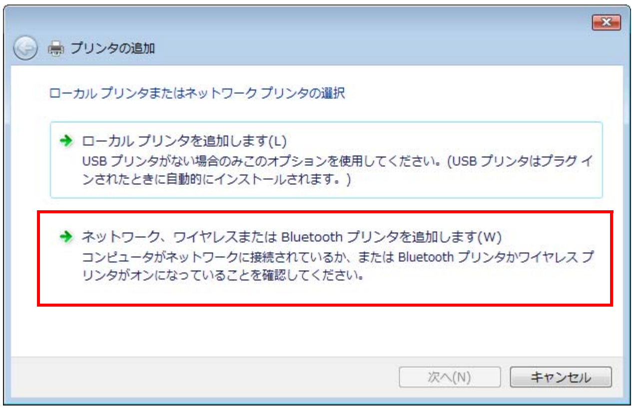



➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの［プリンターの追加］をクリックします。



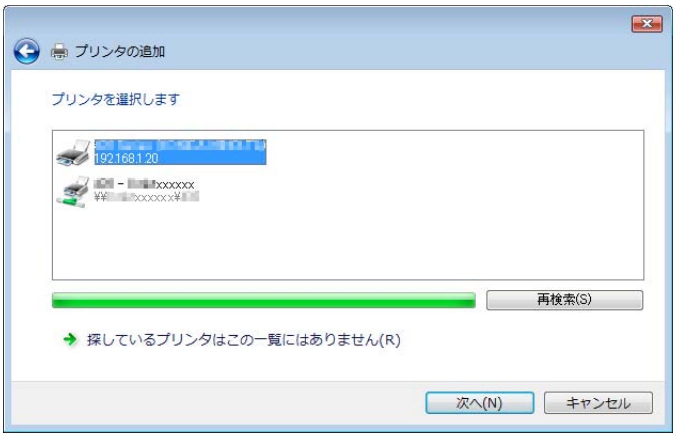

［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

5 ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］をクリックします。




接続されているプリンターが検出されます。
➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF したあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

6 一覧から本機を選択して、［次へ］をクリックします。
➔ LPR/Port 9100 接続の場合は、IP アドレスのプリンターを選択します。
➔ 全てのプリンターを検索するまでに時間がかかる場合があります。



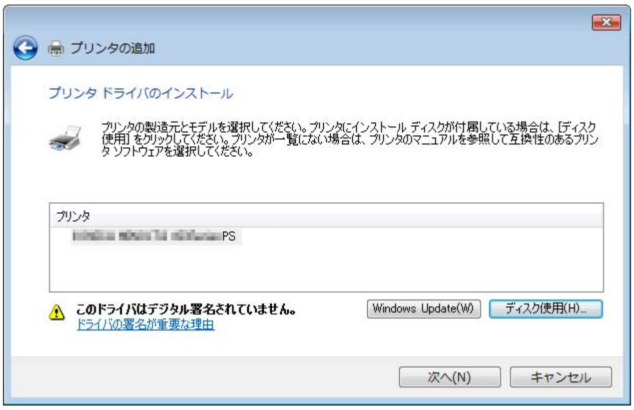

7 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

8 ［参照 ...］をクリックします。

9 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。
➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

10 ［OK］をクリックします。
［プリンタ］リストが表示されます。

11 ［次へ］をクリックします。




12 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。
➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。

14 インストール終了後、インストールしたプリンタードライバーのアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

15 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

## プリンターの追加でポートを作成してプリンタードライバーをインストール

✔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［コントロール パネル］をクリックします。

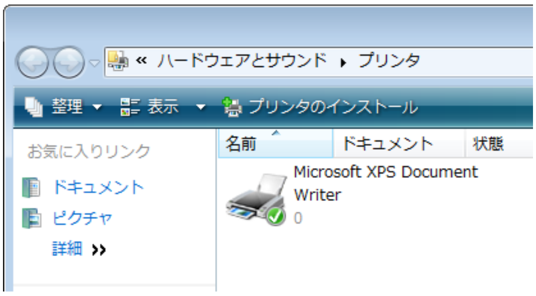
3 ［ハードウェアとサウンド］のプリンター機能を選択します。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。
➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。［コントロール パネル］がアイコン表示になっている場合は、［デバイスとプリンター］をダブルクリックします。

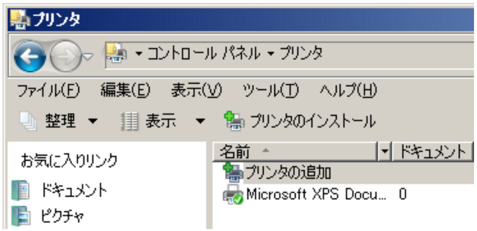
4　ツールバーのプリンターの追加情報を選択します。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、ツールバーの［プリンタのインストール］をクリックします。

Windows Vista の場合：




Windows Server 2008 の場合：

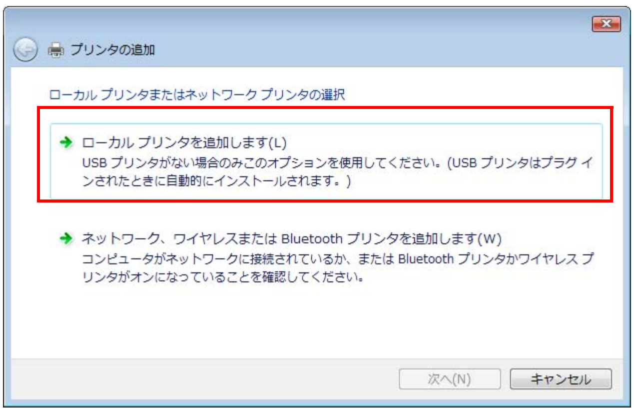



➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの［プリンターの追加］をクリックします。




［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

5　［ローカル プリンタを追加します］をクリックします。




［プリンタ ポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、ポートの種類を選択します。

➔ LPR/Port 9100 接続の場合は、［Standard TCP/IP Port］を選択します。

7 ［次へ］をクリックします。

8 IP アドレスやポートを設定します。

➔ LPR/Port 9100 接続の場合は、［TCP/IP デバイス］を選択し、IP アドレスを入力します。

9 ［次へ］をクリックします。

➔ ［ポート情報がさらに必要です］または［追加のポート情報が必要です］画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。

➔ ［プリンタ ドライバのインストール］ダイアログボックスが表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10 ［カスタム］をチェックし、［設定 ...］をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

➔ LPR 接続の場合は、［LPR］をチェックし、［キュー名 :］ボックスに「Print」と入力します。

➔ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

➔ Port 9100 の場合は、［Raw］をチェックし、［ポート番号 :］ボックスに RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を入力します。

➔ 本機で LPR と Port 9100 の両方が有効に設定されている場合、プリンタードライバーと本機は LPR で接続されます。

12 ［次へ］をクリックします。

［プリンタ ドライバのインストール］ダイアログボックスが表示されます。

13 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

14 ［参照 ...］をクリックします。

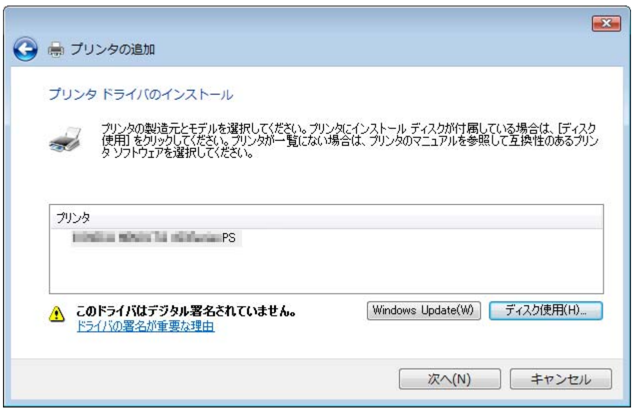
15 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー :
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

16 ［OK］をクリックします。

［プリンタ］リストが表示されます。

17 ［次へ］をクリックします。




18 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

19 ［完了］をクリックします。

20 インストール終了後、インストールしたプリンタードライバーのアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

21 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

## 5.1.2 ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合

### 本機の設定

IPP 印刷の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

| 設定する項目 | 説明 |
|---|---|
| IP アドレス | 本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。 |
| IPP 設定 | 本機の［IPP 設定］で IPP 印刷を有効に設定しておきます。 |

**参照**

本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。本機には自己証明書があらかじめインストールされており、利用することができます。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

### プリンターの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［コントロール パネル］をクリックします。

3 ［ハードウェアとサウンド］のプリンター機能を選択します。

［プリンタ］ウィンドウが開きます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。［コントロール パネル］がアイコン表示になっている場合は、［デバイスとプリンター］をダブルクリックします。

4 ツールバーのプリンターの追加情報を選択します。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、ツールバーの［プリンタのインストール］をクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの［プリンターの追加］をクリックします。

［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

5 ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します］をクリックします。

接続されているプリンターが検索されます。

6 検索された画面で、［探しているプリンターはこの一覧にはありません］をクリックします。

7 ［共有プリンターを名前で選択する］ボックスに、以下の形式で、本機の URL を入力し、［次へ］をクリックします。

➔ http:// <本機の IP アドレス> /ipp
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合 http://192.168.1.20/ipp

➔ IPPS 印刷に設定するときは「https:// <ホスト名> . <ドメイン名> /ipp」を入力してください。<ホスト名>. <ドメイン名>は、お使いの DNS サーバーに登録されているものを指定してください。

➔ 本機の証明書が証明機関により発行されたものでない場合は、Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 でコンピュータアカウント用の信頼されたルート証明機関の証明書として本機の証明書を登録しておく必要があります。

➔ 本機に証明書を登録する際、<ホスト名> . <ドメイン名>が証明書のコモンネームに表示されていることを確認してください。

8 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

9 ［参照 ...］をクリックします。

10 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

11 ［OK］をクリックします。

［プリンター］リストが表示されます。

12 ［OK］をクリックします。

13 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバー ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

14 ［完了］をクリックします。

15 インストール終了後、インストールしたプリンタードライバーのアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

16 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

## 5.1.3 ネットワーク接続（Web サービスプリント）の場合

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、ネットワーク上にある Web サービスプリント機能に対応したプリンターを検索してインストールできます。

**参照**

プリンタードライバーをインストールしたあとに、異なる種類のプリンタードライバーをインストールする場合は、先に既存のプリンタードライバーをパッケージごとアンインストールしてください。詳しくは、9-2 ページをごらんください。

### 本機の設定

Web サービスプリントを利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

| 設定する項目 | 説明 |
|---|---|
| IP アドレス | 本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。 |
| Web サービス設定 | 本機の［Web サービス設定］でプリント機能を有効にしておきます。 |

**参照**
本機のネットワーク設定については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

## ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で Web サービスプリントを利用する場合は、プリンタードライバーを先にインストールしてからプラグアンドプレイでプリンタードライバーを認識させます。

✔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 本機のプリンタードライバーをインストールします。

➔ インストーラーまたはプリンターの追加ウィザードでプリンタードライバーをインストールします。
インストールするポートはどのポートでも構いません。
詳しくは、4-3 ページまたは 5-2 ページをごらんください。

2 本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。
プリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

3 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの [ネットワークと共有センター] で [ネットワーク探索] が有効になっていることを確認します。

4 [ネットワーク] ウィンドウを開きます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、[スタート] をクリックして、[ネットワーク] をクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[コンピューター] を開いて、[ネットワーク] をクリックします。
[コンピューター] に [ネットワーク] が表示されないときは、[コントロール パネル] の [ネットワークとインターネット] カテゴリをクリックし、[ネットワークのコンピューターとデバイスの表示] をクリックします。

接続されているコンピューターとデバイスが検索されます。

5 本機のデバイス名を選択し、ツールバーの [インストール] をクリックします。

➔ デバイス名は、PageScope Web Connection の管理者モードの [ネットワーク] − [Web サービス設定] − [プリンター設定] で確認できます。初期設定では [プリンター名] の末尾 6 文字が MAC アドレス（ハードウェアアドレス）の後半 3 バイトに対応した値になっています。
MAC アドレス（ハードウェアアドレス）は、[設定情報リスト] で確認できます。[設定情報リスト] の出力方法について詳しくは、14-5 ページをごらんください。

本機のプリンタードライバーが検索され、印刷の準備が完了します。

6 インストール終了後、インストールしたプリンタードライバーのアイコンが [プリンタ] ウィンドウまたは [デバイスとプリンター] ウィンドウに表示されていることを確認します。

参考

- プリンタードライバーが正しくインストールされない場合は、[ドライバーの更新 ...] が必要です。詳しくは、5-14 ページをごらんください。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、先にプリンタードライバーをインストールしていない状態でも、引き続きプリンタードライバーのインストールディスクを指定してインストールできます。[新しいハードウェアが見つかりました] 画面が表示されたら、画面の指示にしたがって操作します。詳しくは、次項目の手順 11 〜 20 をごらんください。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定することができません。あらかじめプリンタードライバーをインストールしてください（手順 1）。

## プリンターの追加で IP アドレスを指定してプリンタードライバーをインストール

Windows Vista/Server 2008 の場合は、本機を接続してからプリンターの追加機能で Web サービスデバイスを追加できます。

参考

- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定する画面が表示されません。あらかじめプリンタードライバーをインストールし、「ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる」方法で接続してください。

✔ Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。
インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

2 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの［ネットワークと共有センター］で［ネットワーク探索］が有効になっていることを確認します。

3 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

4 ［スタート］をクリックして、［コントロール パネル］をクリックします。

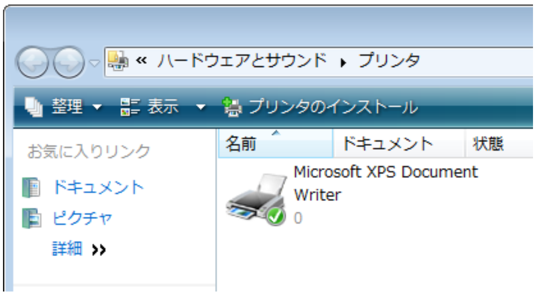
5 ［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが開きます。

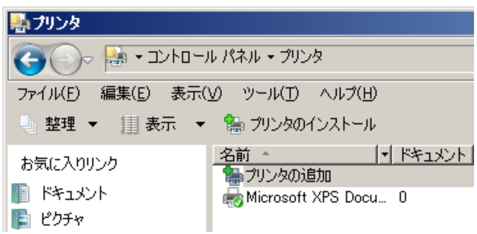
→ ［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

6 ツールバーの［プリンタのインストール］をクリックします。

Windows Vista の場合：

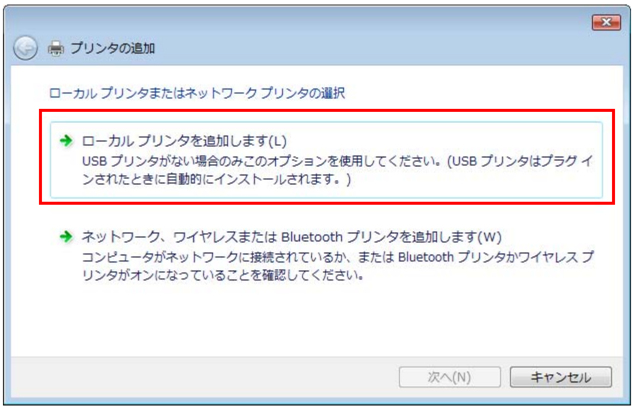



Windows Server 2008 の場合：




［プリンタの追加］ウィザードが表示されます。

7 ［ローカル プリンタを追加します］をクリックします。



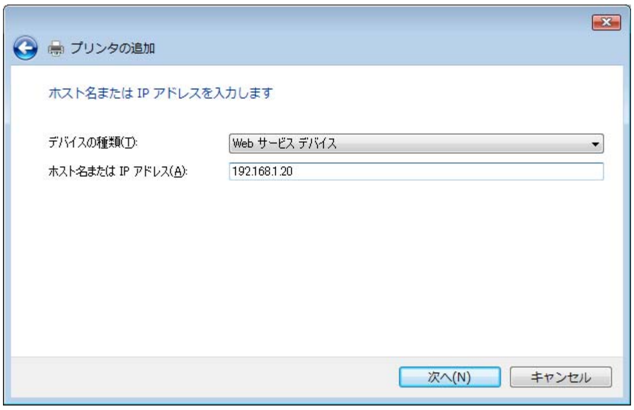

［プリンタ ポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

8 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、ポートの種類を選択します。

➔ ［Standard TCP/IP Port］を選択します。

9 ［次へ］をクリックします。

10 ［Web サービスデバイス］を選択し、IP アドレスを入力して［次へ］をクリックします。




入力した IP アドレスの Web サービスプリント機能に対応したプリンターが検索され、［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログボックスが表示されます。

11 ［ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。

12 オンラインで検索するかどうかを確認する画面が表示されるときは、［オンラインで検索しません］をクリックします。

13 ［コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します（上級）］をクリックします。

14 ［参照 ...］をクリックします。

15 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

16 ［次へ］をクリックします。

17 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。

➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

18 ［閉じる］をクリックします。

19 インストール終了後、インストールしたプリンタードライバーのアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

20 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

### 5.1.4 ローカル接続の場合

#### インストール済みのプリンタードライバーを認識させる

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で USB ポートに接続する場合は、プリンタードライバーを先にインストールしてからプラグアンドプレイでプリンタードライバーを認識させます。

1 本機のプリンタードライバーをインストールします。

➔ インストーラーまたはプリンターの追加ウィザードでプリンタードライバーをインストールします。
プリンターの追加ウィザードを利用する場合は、［プリンタ ポートの選択］で接続する USB ポートを選択してください。
詳しくは、4-3 ページまたは 5-5 ページをごらんください。

2 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

3 本機の主電源を入れます。

本機のプリンタードライバーが検索され、印刷の準備が完了します。

➔ プリンタードライバーが検索されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4 インストール終了後、インストールしたプリンタードライバーのアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

参考

- プリンタードライバーが正しくインストールされない場合は、［ドライバーの更新 ...］が必要です。
詳しくは、5-14 ページをごらんください。

#### 接続時にプリンタードライバーをインストールする

Windows Vista/Server 2008 の場合は、本機を接続してからプリンタードライバーをインストールできます。

参考

- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定する画面が表示されません。あらかじめプリンタードライバーをインストールし、「インストール済みのプリンタードライバーを認識させる」方法で接続してください。

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

**重要**
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 本機の主電源を入れます。

［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログが表示されます。

➔ ［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

3 ［ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。

ディスク（CD-ROM）を要求するダイアログが表示されます。

➔ ディスク（CD-ROM）がない場合は、［ディスクはありません。他の方法を試します］をクリックします。次の画面で［コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します（上級）］を選択して目的のプリンタードライバーフォルダーを指定してください。
➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

ディスク内の情報が検索され、本機に対応するソフトウェアの一覧が表示されます。

5 目的のプリンタードライバー名を指定し、［次へ］をクリックします。

➔ 選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

6 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。
➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

7 インストールが終了したら［閉じる］をクリックします。

8 インストール終了後、インストールしたプリンタードライバーのアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

9 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

## 接続後にドライバーを更新する

Windows 7/Server 2008 R2 でプリンタードライバーを先にインストールせずに本機を接続した場合、プリンタードライバーが正しく認識されません。この場合は、［ドライバーの更新 ...］が必要です。

1 ［デバイスとプリンター］ウィンドウを開きます。

➔ ［コントロール パネル］で［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。［コントロール パネル］がアイコン表示になっている場合は、［デバイスとプリンター］をダブルクリックします。

2 ［未指定］カテゴリに表示されている本機のデバイス名を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

➔ 本機のデバイス名でなく［不明なデバイス（Unknown Device）］と表示されているときは、右クリックでデバイスを削除してから、プリンタードライバーをインストールしてください。本機との接続は、「プリンタードライバーを認識させる」方法で接続してください。詳しくは、5-10 ページまたは 5-13 ページをごらんください。

3 ［ハードウェア］タブの［プロパティ］をクリックします。

4 ［全般］タブの［設定の変更］をクリックします。

5 ［ドライバー］タブの［ドライバーの更新 ...］をクリックします。

6 ドライバーソフトウェアの検索方法を選択する画面で［コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します］をクリックします。

7 ［参照 ...］をクリックします。

8 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［OK］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

9 ［次へ］をクリックします。

10 画面の指示にしたがって操作します。

➔［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバー ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

11 ［閉じる］をクリックします。

12 インストール終了後、インストールしたプリンタードライバーのアイコンが［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

13 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーの更新が完了しました。

参考

- Windows Vista/Server 2008 でも、［ドライバの更新 ...］を利用できます。Windows Vista/Server 2008 の場合は、［デバイスマネージャ］で［ほかのデバイス］に表示されている本機の［プロパティ］を開くと、［ドライバの更新 ...］が指定できます。
［デバイスマネージャ］は、［コンピュータ］を右クリックして［プロパティ］をクリックし、表示される［タスク］で選択できします。

# 5.2 Windows XP/Server 2003

## 5.2.1 ネットワーク接続（LPR/Port 9100）の場合

LPR/Port 9100 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

### 本機の設定

Port 9100 印刷、LPR 印刷を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

| 設定する項目 | 説明 |
|---|---|
| IP アドレス | 本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。 |
| RAW ポート番号 | Port 9100 印刷を利用する場合：<br>本機の［TCP/IP 設定］で RAW ポートを有効に設定し、RAW ポート番号（初期設定では [9100]）を設定しておきます。 |
| LPD 設定 | LPR 印刷を利用する場合：<br>本機の［TCP/IP 設定］で LPD を有効に設定しておきます。 |

**参照**
本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

### プリンターの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

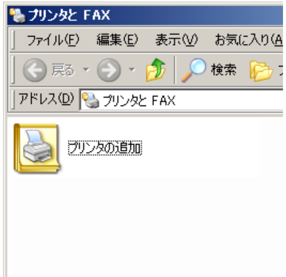
→ ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。

3 Windows XP の場合は、［プリンタのタスク］メニューから［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

Windows XP の場合：



Windows Server 2003 の場合：

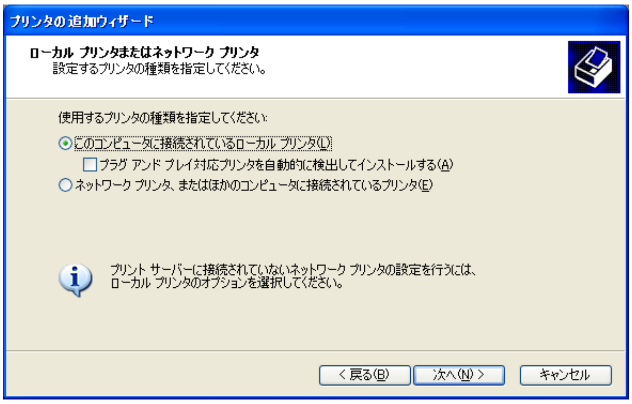



［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

4 ［次へ >］をクリックします。

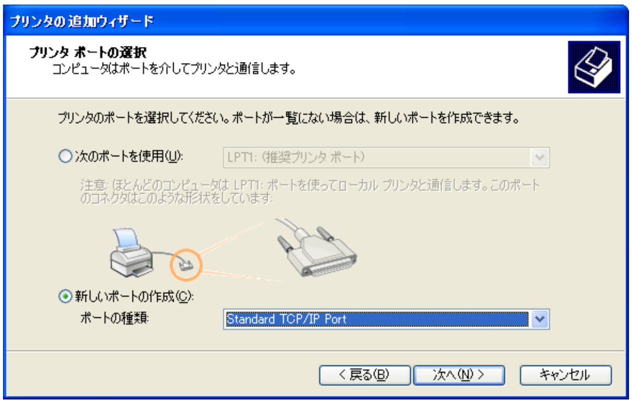
5 ［このコンピュータに接続されているローカル プリンタ］を選択し、［次へ >］をクリックします。

➔ ［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外しておきます。




［プリンタポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、［ポートの種類 :］で［Standard TCP/IP Port］を選択します。



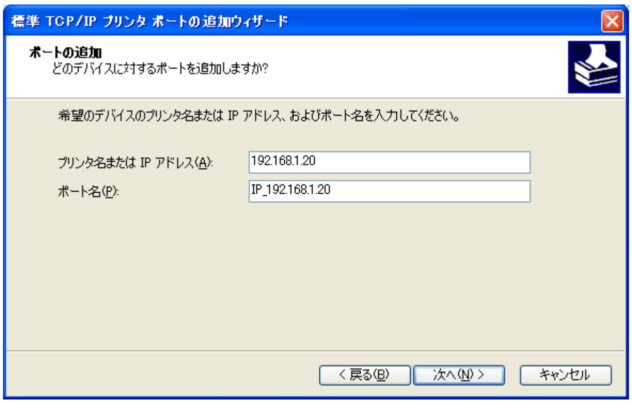

7 ［次へ >］をクリックします。

［標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザード］が起動します。

8 ［次へ >］をクリックします。

9 ［プリンタ名または IP アドレス :］ボックスに本機の IP アドレスを入力し、［次へ >］をクリックします。

➔ ［ポート情報がさらに必要です。］画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
➔ ［完了］画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。




10 ［カスタム］をチェックし、［設定 :］をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

➔ LPR 接続の場合は、［LPR］をチェックし、［キュー名 :］ボックスに「Print」と入力します。
➔ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。
➔ Port 9100 の場合は、［Raw］をチェックし、［ポート番号 :］ボックスに RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を入力します。

12 ［次へ >］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

14 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

15 ［参照 ...］をクリックします。

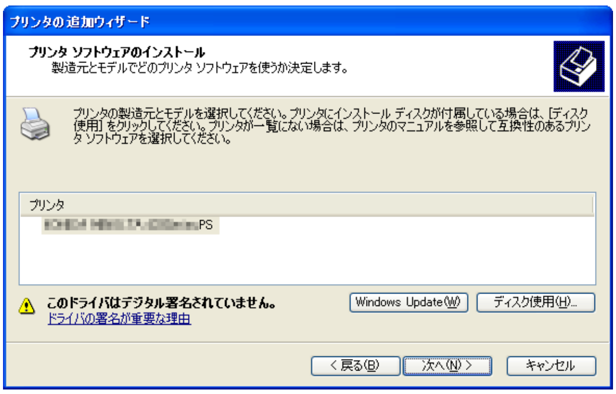
16 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

17 ［OK］をクリックします。

［プリンタ］リストが表示されます。

18 ［次へ >］をクリックします。




19 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテスト印刷を行ってください。

20 ［完了］をクリックします。

➔「Windows ロゴ テスト」、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

21 インストール終了後、インストールしたプリンタードライバーのアイコンが［プリンタと FAX］ウィンドウに表示されていることを確認します。

22 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

### 5.2.2 ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合

IPP 印刷の場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

#### 本機の設定

IPP 印刷の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

| 設定する項目 | 説明 |
|---|---|
| IP アドレス | 本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。 |
| IPP 設定 | 本機の［IPP 設定］で IPP 印刷を有効に設定しておきます。 |

**参照**

本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。本機には自己証明書があらかじめインストールされており、利用することができます。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

#### プリンターの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

➔［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。

3 Windows XP の場合は、［プリンタのタスク］メニューから［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

4 ［次へ >］をクリックします。

5 ［ローカル プリンタまたはネットワーク プリンタ］画面で、［ネットワーク プリンタまたはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ >］をクリックします。

6 ［プリンタの指定］画面で、［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択します。

7 ［URL:］フィールドに、以下の形式で、本機の URL を入力し、［次へ >］をクリックします。

➔ http:// ＜本機の IP アドレス＞ /ipp
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合 http://192.168.1.20/ipp

➔ IPPS 印刷に設定するときは「https:// ＜本機の IP アドレス＞ /ipp」を入力してください。

➔［次へ >］をクリックしたあとに、確認のダイアログが表示される場合は、［OK］をクリックします。

8 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

9 ［参照 ...］をクリックします。

10 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

11 ［OK］をクリックします。

［プリンタ］リストが表示されます。

12 ［OK］をクリックします。

13 画面の指示にしたがって操作します。

14 ［完了］をクリックします。

➔ 「Windows ロゴ テスト」、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

15 インストール終了後、インストールしたプリンタードライバーのアイコンが［プリンタと FAX］ウィンドウに表示されていることを確認します。

16 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

### 5.2.3 ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできます。

参考

- USB 接続の場合、プラグアンドプレイが簡単ですが、プリンターの追加ウィザードでもプリンタードライバーをインストールできます。プリンターの追加ウィザードを利用する場合は、［プリンタポートの選択］で接続する USB ポートを選択してください。

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

**重要**
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3 本機の主電源を入れます。

［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログが表示されます。

➔ ［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

➔ 「Windows アップデートに接続する」画面が表示された場合は、［いいえ、今回は接続しません］を選択します。

4 ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ >］をクリックします。

5 ［次の場所で最適のドライバを検索する］から［次の場所を含める :］を選択し、［参照］をクリックします。

6 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［OK］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

7 ［次へ >］をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。

8 ［完了］をクリックします。

➔「Windows ロゴ テスト」、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

9 インストール終了後、インストールしたプリンタードライバーのアイコンが［プリンタと FAX］ウィンドウに表示されていることを確認します。

10 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

# 6 Macintosh のインストール

# 6　Macintosh のインストール

Macintosh を使用する場合に必要な設定と Macintosh 用プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

## 6.1　プリンタードライバーのインストール

1　Macintosh を起動します。

2　Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

➔ アプリケーションソフトが起動しているときは、全て終了しておきます。

3　CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを開きます。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4　Mac OS のバージョンに合わせて、ドライバー用のファイルをデスクトップ上にコピーします。

➔ OS X 10.2：bizhub 42_36_102.pkg
➔ OS X 10.3：bizhub 42_36_103104.pkg
➔ OS X 10.4：bizhub 42_36_103104.pkg
➔ OS X 10.5：bizhub 42_36_105.pkg
➔ OS X 10.6：bizhub 42_36_106.pkg
➔ OS X 10.7：bizhub 42_36_106.pkg
➔ OS X 10.5/10.6/10.7 では使用する用紙サイズによってドライバー用フォルダーが異なります。使用環境に合わせて選択してください。
おもにメトリックサイズ（A4 など）で印刷する場合：「WW_A4」フォルダー
おもにインチサイズ（Letter、8 1/2 × 11）で印刷する場合：「WW_Letter」フォルダー

5　デスクトップ上にコピーしたファイルをダブルクリックします。

インストーラーが起動します。

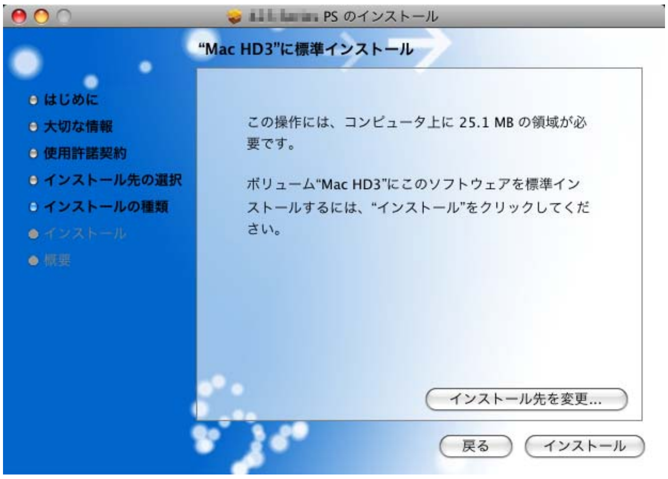
➔［キャンセル］を押すと、インストーラーは終了します。

6　［インストール］画面が表示されるまで、画面の指示にしたがって［続ける］をクリックします。

➔ 途中で、名前とパスワードを要求されますのでコンピューターの管理者名とパスワードを入力してください。

7　［インストール］画面で、［インストール］をクリックします。

プリンタードライバーがコンピューターにインストールされます。インストールが終了すると、メッセージが表示されます。




➔ OS X 10.2/10.3/10.4 の場合、2 回目以降のインストールでは、［インストール］ボタンが［アップグレード］に変わることがあります。

8 ［閉じる］をクリックします。

9 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

続いて、プリンターの選択をしてください。

# 6.2 プリンターの選択と接続

## 6.2.1 ネットワーク接続（OS X 10.4/10.5/10.6/10.7）

OS X 10.4/10.5/10.6/10.7 は、Bonjour、LPR（LPD）、IPP で接続できます。

OS X 10.4/10.5 は AppleTalk でも接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、［プリントとファクス］または［プリントとスキャン］で使用するプリンターとして選択すると、印刷できるようになります。

### 本機の設定

Bonjour、LPR（LPD）、IPP、AppleTalk を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

| 設定する項目 | 説明 |
|---|---|
| IP アドレス | 本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。 |
| Bonjour | 本機の［Bonjour 設定］で Bonjour を有効に設定し、Bonjour 名を入力しておきます。 |
| AppleTalk | 本機の［AppleTalk 設定］で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。 |
| LPR | 本機の［TCP/IP 設定］で LPD を有効に設定しておきます。 |
| IPP | 本機の［IPP 設定］で IPP 印刷を有効に設定しておきます。 |

**参照**
本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

### Bonjour を設定する

プリンターの追加

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

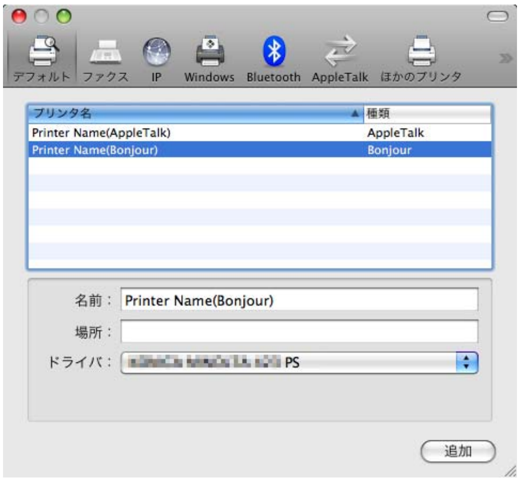
2 ［プリントとファクス］アイコンをクリックします。
➔ OS X 10.7 の場合は、［プリントとスキャン］アイコンをクリックします。

3 ［プリントとファクス］または［プリントとスキャン］画面で［+］をクリックします。
➔ OS X 10.7 の場合は、［+］をクリックして、接続されているプリンターを選択します。プリンター名が表示されない場合は、［ほかのプリンタまたはスキャナを追加 ...］をクリックします。

4 ［デフォルト］をクリックします。
接続されているプリンターが検出されます。
➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

5 ［プリンタ名］一覧から Bonjour 接続された目的の機種名を選択します。
選択したプリンター名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。
➔ プリンター名は、PageScope Web Connection の管理者モードの［ネットワーク］－［Bonjour 設定］で確認できます。初期設定では［Bonjour 名］の最後の（ ）内が MAC アドレス（ハードウェアアドレス）の後半 3 バイトに対応した値になっています。画面では「Printer Name(Bonjour)」に変更した例で説明しています。
➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 7 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 6 へ進みます。



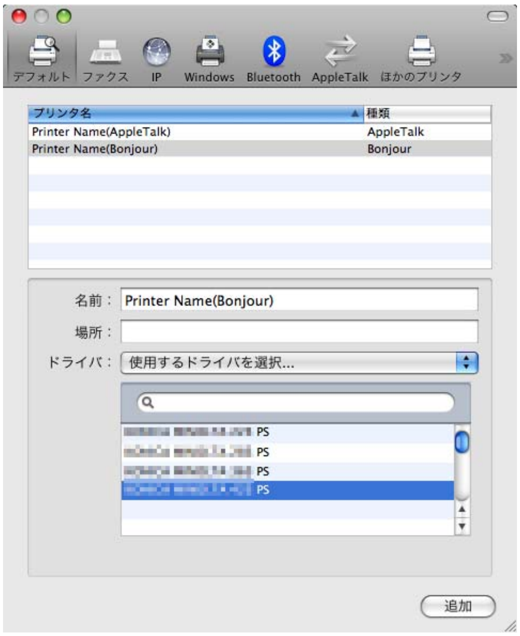

6　プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ OS X 10.6/10.7 の場合は、［ドライバ :］で［プリンタソフトウェアを選択 ...］を選択し、別ウィンドウで表示される一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［ドライバ :］で［使用するドライバを選択 ...］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

➔ OS X 10.4 の場合は、［使用するドライバ :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

画面は OS X 10.5 の例：




7　［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリントとファクス］または［プリントとスキャン］に登録されると、設定は終了です。

➔ ［インストール可能なオプション］画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、11-3 ページをごらんください。

参考

- OS X 10.4 の場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

## AppleTalk を設定する

コンピューターの［AppleTalk 設定］

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

1　［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2　［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3　Ethernet の設定画面を表示します。

→ OS X 10.5 の場合は、［Ethernet］を選択し、［詳細 ...］をクリックします。
→ OS X 10.4 の場合は、［内蔵 Ethernet］を選択し、［設定 ...］をクリックします。

4　［AppleTalk］タブをクリックし、AppleTalk を有効にします。

5　画面左上のクローズボタンをクリックします。

→［このサービスには未保存の変更があります］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1　［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2　［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

3　［プリントとファクス］画面で［＋］をクリックします。

4　［デフォルト］をクリックします。

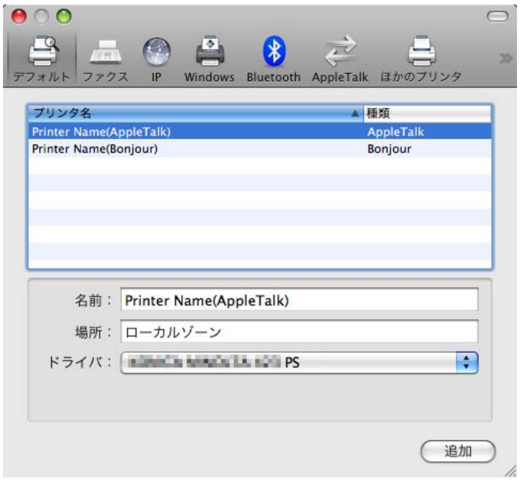
接続されているプリンターが検出されます。

→ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

5　［プリンタ名］一覧から AppleTalk 接続された目的の機種名を選択します。

選択したプリンター名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

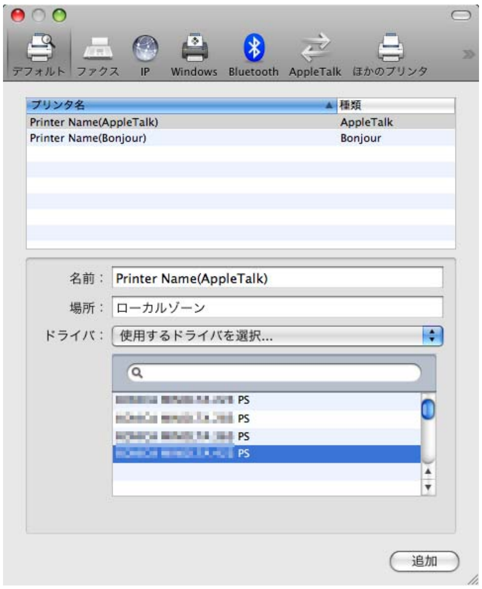
→ プリンター名は、PageScope Web Connection の管理者モードの［ネットワーク］－［AppleTalk 設定］で確認できます。初期設定では［プリンター名］の最後の（ ）内が MAC アドレス（ハードウェアアドレス）の後半 3 バイトに対応した値になっています。画面では「Printer Name(AppleTalk)」に変更した例で説明しています。
→ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 7 へ進みます。
→ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 6 へ進みます。



6　プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［ドライバ :］で［使用するドライバを選択 ...］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

➔ OS X 10.4 の場合は、［使用するドライバ :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。




7　［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリントとファクス］に登録されると、設定は終了です。

➔ ［インストール可能なオプション］画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、11-3 ページをごらんください。

参考

- OS X 10.4 の場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

## LPR を設定する

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1　［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2　［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3　Ethernet の設定画面を表示します。

➔ OS X 10.5/10.6/10.7 の場合は、［Ethernet］を選択し、［詳細 ...］をクリックします。

➔ OS X 10.4 の場合は、［内蔵 Ethernet］を選択し、［設定 ...］をクリックします。

4　［TCP/IP］タブをクリックします。

5　Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、設定方法と IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6　画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［このサービスには未保存の変更があります］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

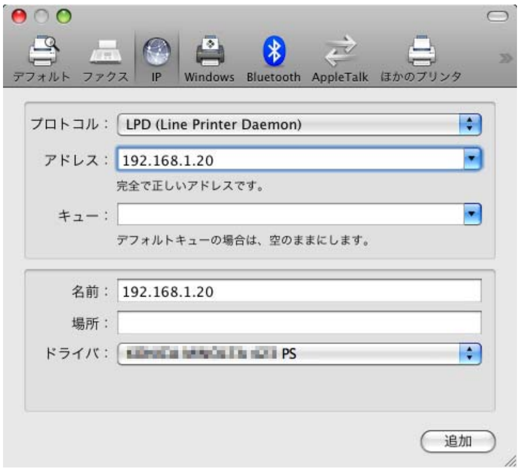
2 ［プリントとファクス］アイコンをクリックします。
➔ OS X 10.7 の場合は、［プリントとスキャン］アイコンをクリックします。

3 ［プリントとファクス］または［プリントとスキャン］画面で［+］をクリックします。
➔ OS X 10.7 の場合は、続けて［ほかのプリンタまたはスキャナを追加 ...］をクリックします。

4 ［IP］または［IP プリンタ］をクリックします。

5 ［プロトコル :］で［LPD（Line Printer Daemon）］を選択します。

6 ［アドレス :］に本機の IP アドレスを入力します。
IP アドレスで検出された本機に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。
➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 8 へ進みます。
➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 7 へ進みます。



7　プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ OS X 10.6/10.7 の場合は、[ドライバ :] で［プリンタソフトウェアを選択 ...］を選択し、別ウィンドウで表示される一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
➔ OS X 10.5 の場合は、[ドライバ :] で［使用するドライバを選択 ...］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
➔ OS X 10.4 の場合は、[使用するドライバ :] で［KONICA MINOLTA］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

画面は OS X 10.5 の例：




8　［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリントとファクス］または［プリントとスキャン］に登録されると、設定は終了です。

➔ ［インストール可能なオプション］画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、11-3 ページをごらんください。

参考

- OS X 10.4 の場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

## IPP を設定する

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 Ethernet の設定画面を表示します。
➔ OS X 10.5/10.6/10.7 の場合は、［Ethernet］を選択し、［詳細 ...］をクリックします。
➔ OS X 10.4 の場合は、［内蔵 Ethernet］を選択し、［設定 ...］をクリックします。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、設定方法と IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。
➔ ［このサービスには未保存の変更があります］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［プリントとファクス］アイコンをクリックします。
➔ OS X 10.7 の場合は、［プリントとスキャン］アイコンをクリックします。

3 ［プリントとファクス］または［プリントとスキャン］画面で［+］をクリックします。
➔ OS X 10.7 の場合は、続けて［ほかのプリンタまたはスキャナを追加 ...］をクリックします。
［プリンタブラウザ］が表示されます。

4 ［IP］または［IP プリンタ］をクリックします。

5 ［プロトコル :］で［IPP（Internet Printing Protocol）］を選択します。

6 ［アドレス :］に本機の IP アドレスを入力し、［キュー :］に「ipp」を入力します。
IP アドレスで検出された本機に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。
➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 8 へ進みます。
➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 7 へ進みます。



7 プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ OS X 10.6/10.7 の場合は、[ドライバ :] で [プリンタソフトウェアを選択 ...] を選択し、別ウィンドウで表示される一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
➔ OS X 10.5 の場合は、[ドライバ :] で [使用するドライバを選択 ...] を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
➔ OS X 10.4 の場合は、[使用するドライバ :] で [KONICA MINOLTA] を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

画面は OS X 10.5 の例：




8 [追加] をクリックします。

選択したプリンターが [プリントとファクス] または [プリントとスキャン] に登録されると、設定は終了です。

➔ [インストール可能なオプション] 画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、11-3 ページをごらんください。

参考

- OS X 10.4 の場合は、[プリンタ設定ユーティリティ] 画面から [追加] をクリックしてもプリンターを追加できます。

## 6.2.2 ネットワーク接続（OS X 10.2/10.3）

OS X10.2/10.3 は、Rendezvous、AppleTalk、LPR（LPD）、IPP で接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、[プリンタ設定ユーティリティ] または [プリントセンター] で使用するプリンターとして選択すると、印刷できるようになります。

### 本機の設定

Rendezvous、LPR（LPD）、IPP、AppleTalk を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

| 設定する項目 | 説明 |
|---|---|
| IP アドレス | 本機の [TCP/IP 設定] で IP アドレスを設定しておきます。 |
| Rendezvous | 本機の [Bonjour 設定] で Bonjour を有効に設定し、Bonjour 名を入力しておきます。 |
| AppleTalk | 本機の [AppleTalk 設定] で AppleTalk を有効に設定し、プリンター名を入力しておきます。 |
| LPR | 本機の [TCP/IP 設定] で LPD を有効に設定しておきます。 |
| IPP | 本機の [IPP 設定] で IPP 印刷を有効に設定しておきます。 |

**参照**
本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

## Rendezvous を設定する

プリンターの追加

1　インストールされた［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］内にある［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックして開きます。

2　［使用可能なプリンタがありません。］画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。［プリンタリスト］が表示された場合は、［追加］をクリックします。

➔ すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、［使用可能なプリンタがありません。］画面は表示されません。

3　接続方法に［Rendezvous］を選択します。

接続されているプリンターが検出されます。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4　［名前］一覧から目的の機種名を選択します。

選択したプリンター名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

➔ プリンター名は、**PageScope Web Connection** の管理者モードの［ネットワーク］－［Bonjour 設定］で確認できます。初期設定では［Bonjour 名］の最後の（ ）内が MAC アドレス（ハードウェアアドレス）の後半 3 バイトに対応した値になっています。画面では「Printer Name(Bonjour)」に変更した例で説明しています。

➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 6 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 5 へ進みます。



5 プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ ［プリンタの機種 :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択します。




6 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

## AppleTalk を設定する

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 ［表示 :］で［内蔵 Ethernet］を選択します。

4 ［AppleTalk］タブをクリックし、［AppleTalk 使用］チェックボックスを ON にします。

5 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［設定の変更を適用しますか？］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 インストールされた［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］内にある［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックして開きます。

2 ［使用可能なプリンタがありません。］画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。

➔ すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、［使用可能なプリンタがありません。］画面は表示されません。

3 接続方法に［AppleTalk］を選択し、本機が接続されているゾーンを選択します。

接続されているプリンターが検出されます。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4 ［名前］一覧から目的の機種名を選択します。

選択したプリンター名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

➔ プリンター名は、PageScope Web Connection の管理者モードの［ネットワーク］－［AppleTalk 設定］で確認できます。初期設定では［プリンター名］の最後の（ ）内が MAC アドレス（ハードウェアアドレス）の後半 3 バイトに対応した値になっています。画面では「Printer Name(AppleTalk)」に変更した例で説明しています。

➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 6 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 5 へ進みます。




5 プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ ［プリンタの機種：］で［KONICA MINOLTA］を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択します。




6 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

## LPR を設定する

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 ［表示］で［内蔵 Ethernet］を選択します。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する［設定 :］項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。
➔ ［設定の変更を適用しますか？］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 インストールされた［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］内にある［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックして開きます。

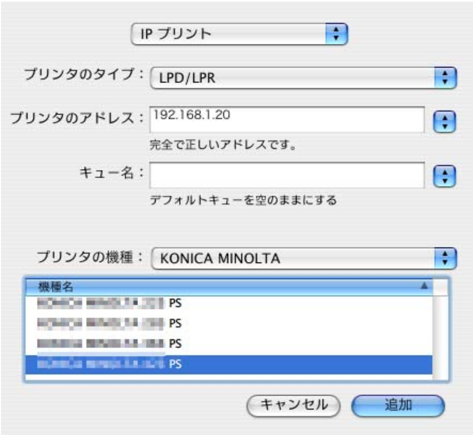
2 ［使用可能なプリンタがありません。］画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。
➔ すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、［使用可能なプリンタがありません。］画面は表示されません。

3 接続方法に［IP プリント］を選択します。

4 OS X 10.3 の場合は、［プリンタのタイプ :］で［LPD/LPR］を選択します。

5 ［プリンタのアドレス :］に本機の IP アドレスを入力します。

6 ［プリンタの機種 :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して［追加］をクリックします。




選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

## IPP を設定する

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 ［表示］で［内蔵 Ethernet］を選択します。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する［設定 :］項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［設定の変更を適用しますか？］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 インストールされた［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］内にある［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックして開きます。

2 ［使用可能なプリンタがありません。］画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。

➔ すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、［使用可能なプリンタがありません。］画面は表示されません。

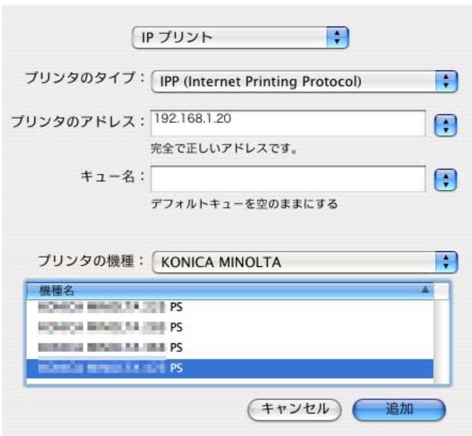
3 接続方法に［IP プリント］を選択します。

4 OS X 10.3 の場合は、［プリンタのタイプ :］で［IPP（Internet Printing Protocol）］を選択します。

5 ［プリンタのアドレス :］に本機の IP アドレスを入力します。

➔ ［キュー名 :］は空欄にします。

6 ［プリンタの機種 :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して［追加］をクリックします。




選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

## 6.2.3 USB 接続（OS X 10.5/10.6/10.7）

1 USB ケーブルで、本機とコンピューターを接続します。

2 アップルメニューから［システム環境設定］を開きます。

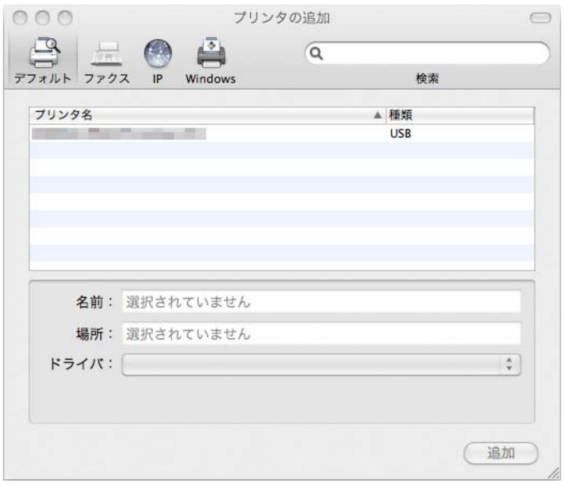
3 ［プリントとファクス］をクリックします。

➔ OS X 10.7 の場合は、［プリントとスキャン］アイコンをクリックします。

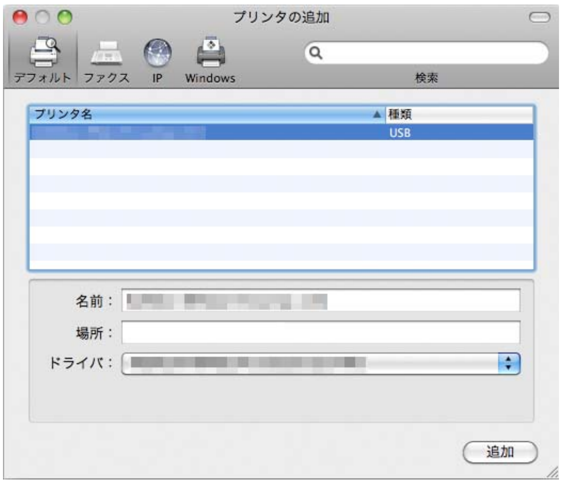
4 ［プリントとファクス］または［プリントとスキャン］画面で、［+］をクリックします。




プリンターブラウザー画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。



5 ［プリンタ名］リストから、［KONICA MINOLTA bizhub 36］を選択します。




➔ プリンター名が表示されないときは、本機の電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

6 ［KONICA MINOLTA bizhub 36 PPD］が、［ドライバ］ポップアップリストで選択されていることを確認します。

➔ 目的の機種名と同じ PPD が選択されていることを確認してください。

7 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリントとファクス］または［プリントとスキャン］に登録されると、設定は終了です。

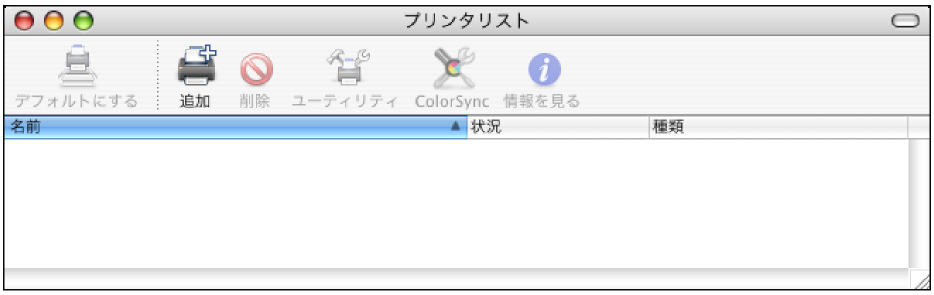
➔ ［インストール可能なオプション］画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、11-3 ページをごらんください。

## 6.2.4 USB 接続（OS X 10.4）

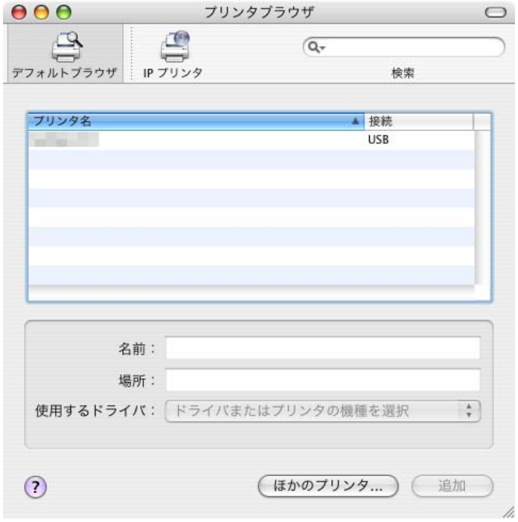
1 USB ケーブルで、本機とコンピューターを接続します。

2 ハードディスクから［アプリケーション］－［ユーティリティ］にある［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。

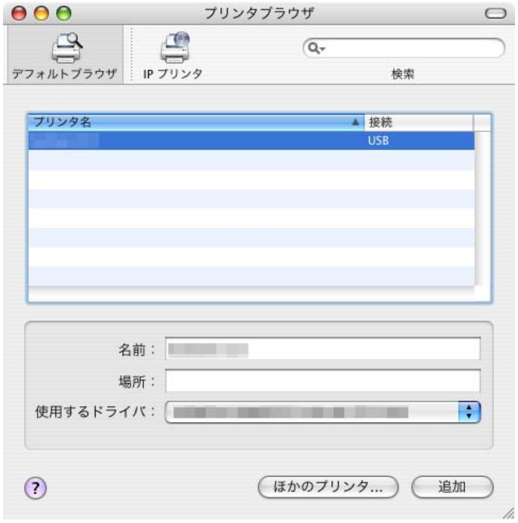
3 ［プリンタリスト］画面で、［追加］をクリックします。



［プリンタブラウザ］画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。




4　［プリンタブラウザ］画面の［プリンタ名］リストから、［42 Series］を選択します。




➔ プリンター名が表示されないときは、本機の電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

5　［KONICA MINOLTA bizhub 36 PPD］が、［ドライバ］ポップアップリストで選択されていることを確認します。

➔ 目的の機種名と同じ PPD が選択されていることを確認してください。

6　［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

➔ ［インストール可能なオプション］画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、11-3 ページをごらんください。

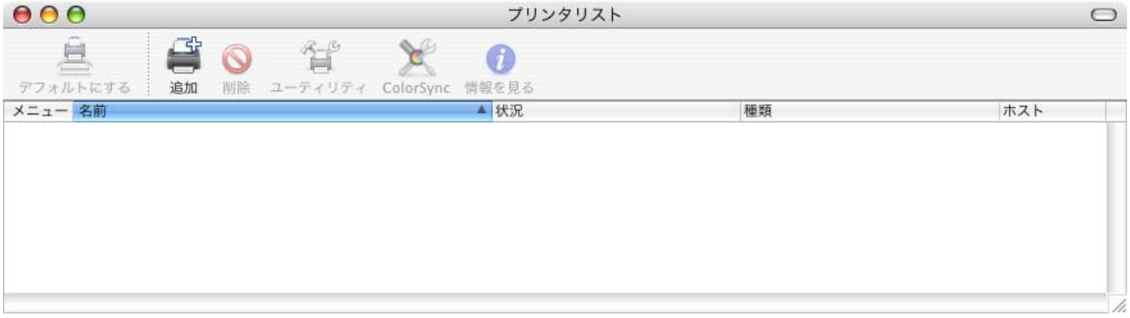
### 6.2.5　USB 接続（OS X 10.3/10.2）

1　USB ケーブルで、本機とコンピューターを接続します。

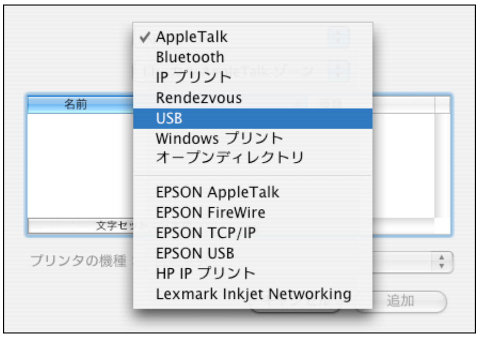
2　本機の電源がオンになっていることを確認し、コンピューターを再起動します。

3　ハードディスクから［アプリケーション］－［ユーティリティ］にある［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。

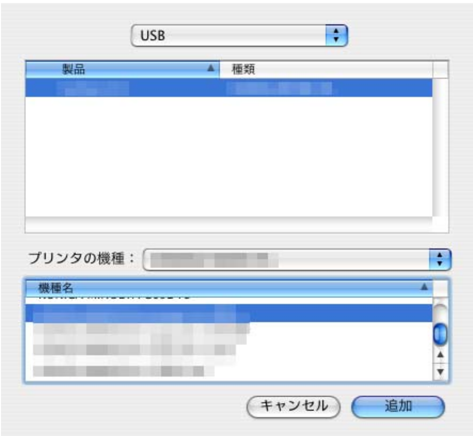
4　［プリンタリスト］画面で、［追加］をクリックします。




5　ポップアップリストから［USB］を選択します。




6　［製品］リストから、［42 Series］を選択します。




➔ プリンター名が表示されないときは、本機の電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

7　［プリンタの機種］ポップアップリストで［KONICA MINOLTA］が選択されていることを確認します。

8 ［KONICA MINOLTA bizhub 36 PPD］が、［ドライバ］ポップアップリストで選択されていることを確認します。

➔ 目的の機種名と同じ PPD が選択されていることを確認してください。

9 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

➔ ［インストール可能なオプション］画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、11-3 ページをごらんください。

# 7 Linux のインストール

# 7 Linux のインストール

Linux を使用する場合に必要な設定と Linux 用プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

参考

- ここでは、Red Hat Enterprise Linux 5 での操作を例に説明します。

## 7.1 プリンタードライバーのインストール

### 7.1.1 PPD ファイルをコマンドラインからインストールする

参考

- プリンタードライバーのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。
- PPD ファイルのインストールにはルート権限が必要です。

1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 Drivers CD-ROM から PPD ファイルを "/usr/share/cups/model" にコピーします。

➔ 各言語のPPDファイルはDrivers CD-ROMの"Drivers/LinuxPPD/<language>"フォルダーから取得することができます。言語に適した PPD ファイルを使用してください。

3 メインメニューから［アプリケーション］－［アクセサリ］－［GNOME 端末］を選択します。

4 "/etc/init.d/cups restart" と入力し、Enter キーを押します。

5 ［GNOME 端末］を終了します。

6 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

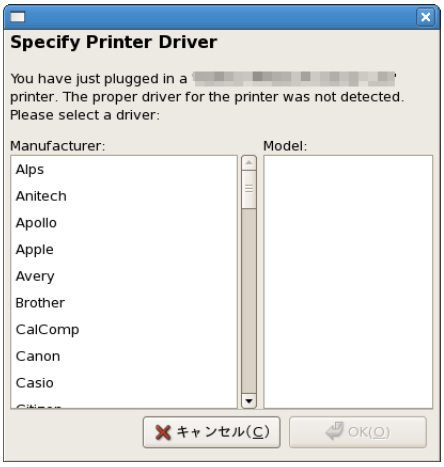
## 7.1.2　　プリンター設定でのプリンター追加

参考

- プリンタードライバーのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。
- プリンターを追加するにはルート権限が必要です。

1　本機をコンピュータまたはネットワークに接続してください。

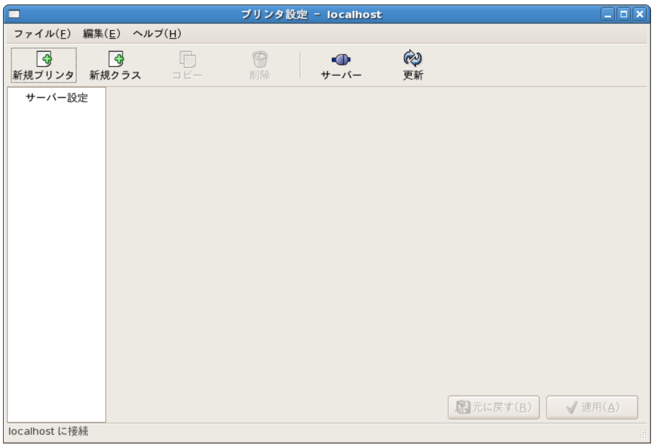
USB を接続すると、以下のダイアログボックスが表示されます。[キャンセル] をクリックしてダイアログボックスを閉じてください。




2　Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3　[システム] メニューから、[管理] － [印刷] を選択します。

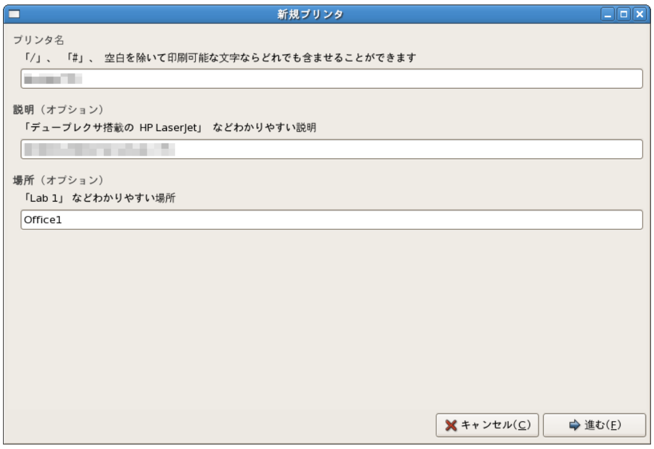
[プリンタ設定] ダイアログボックスが表示されます。



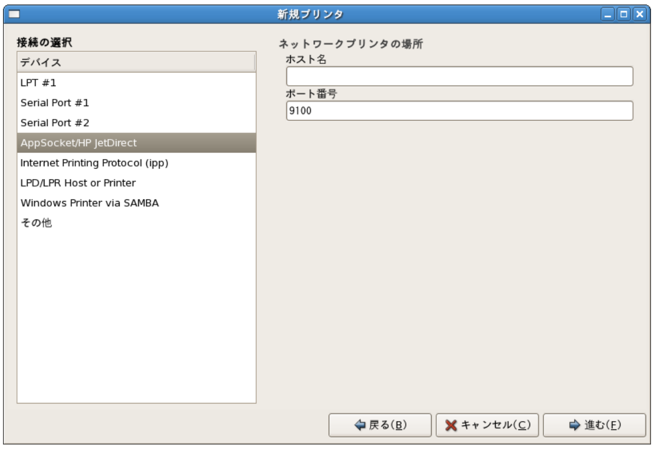

4　[新規プリンタ] をクリックします。

[新規プリンタ] ダイアログボックスが表示されます。

5　[プリンタ名]、[説明]、[場所] を入力してから、[進む] をクリックします。




ダイアログボックスの左側のパネルにプリンターが自動検出されます。




6　ダイアログボックスの左側のパネルから、ポートを選択します。

➔ USB 接続の場合は、[KONICA MINOLTA bizhub 42 USB #1] を選択します。

➔ ネットワーク接続の場合は、[KONICA MINOLTA bizhub 42 ] を選択します。

➔ リストに本機が無い場合、[デバイス] リストからデバイスポートを選択してください。
TCP/IP の場合：[AppSocket/HP jetDirect]、[Internet Printing Protocol (ipp)] または [LPD/LPR Host or Printer]
インターネット印刷プロトコルの場合：<IP アドレス >/ipp

7　[進む] をクリックします。

8　[PPD ファイルを提供する] を選択します。

9　フォルダーアイコンをクリックします。

[ファイルをひとつ選択する] が表示されます。

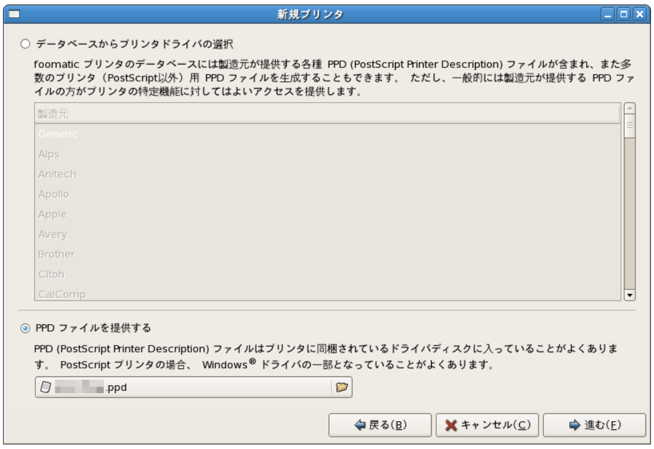
10　PPD ファイルを選択します。




➔ 各言語のPPDファイルはDrivers CD-ROMの"Drivers/LinuxPPD/<language>" フォルダーから取得することができます。言語に適した PPD ファイルを使用してください。

11 ［開く］をクリックします。

［ファイルをひとつ選択する］ダイアログボックスが閉じ、選択した PPD ファイル名が表示されます。




12 ［進む］をクリックします。

確認画面が表示されます。

13 ［適用］をクリックします。

14 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

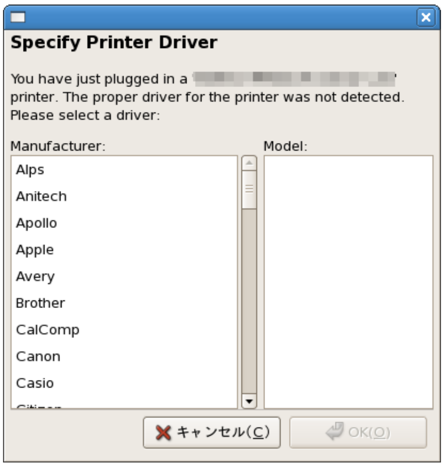
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

## 7.1.3 CUPS Administration Web Page でのプリンター追加

参考
- プリンタードライバーのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。
- プリンターを追加するにはルート権限が必要です。

1 本機をコンピュータまたはネットワークに接続してください。

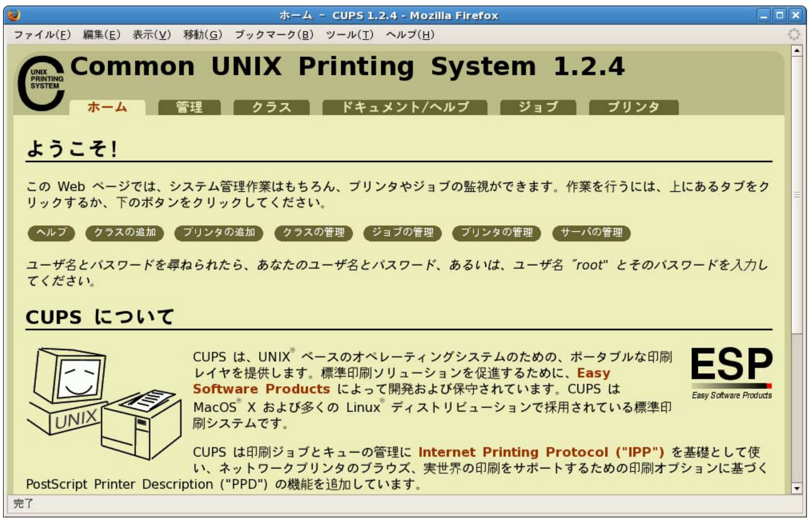
USB を接続すると、以下のダイアログボックスが表示されます。［キャンセル］をクリックしてダイアログボックスを閉じてください。




2 Web ブラウザーを起動します。

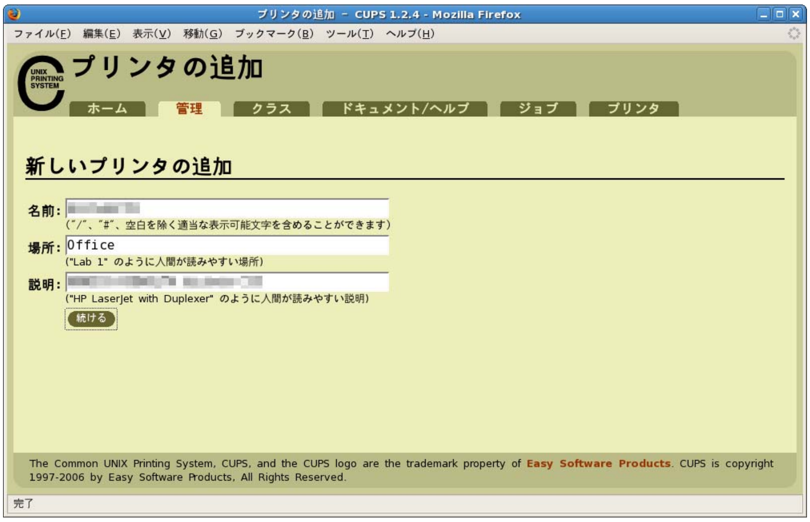
3 URL に http://localhost:631 と入力します。

CUPS Administration Web page が表示されます。




4 ［プリンタの追加］をクリックします。

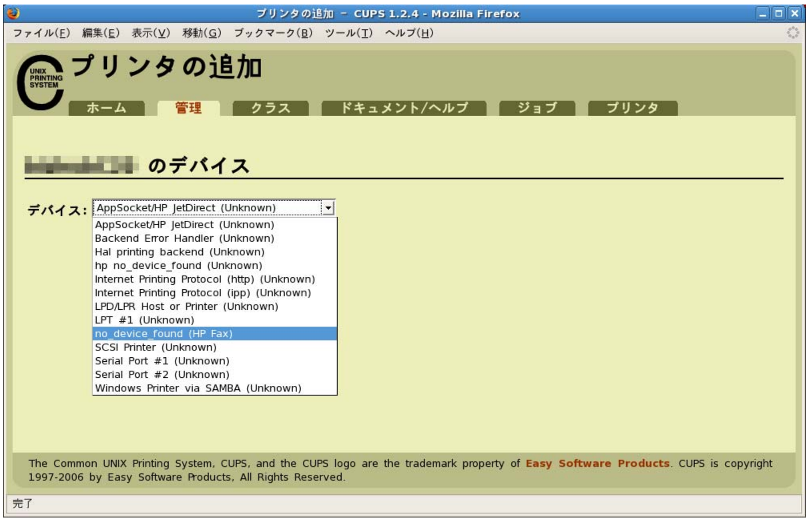
5 ［名前］、［場所］、［説明］を入力してから、［続ける］をクリックします。




6 ［デバイス］リストからデバイスポートを選択して、［続ける］をクリックします。

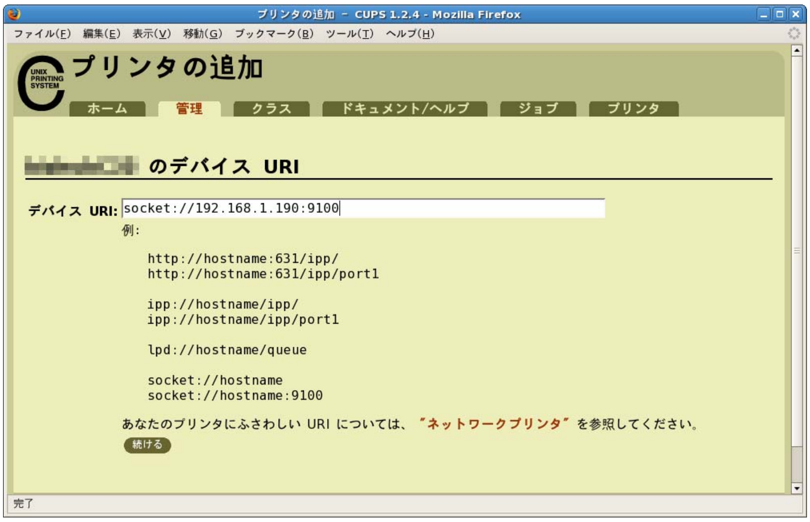
➔ TCP/IP の場合：［AppSocket/HP JetDirect］、［Internet Printing Protocol (http)］または［LPD/LPR Host or Printer］を選択します。

➔ USB 接続の場合：［USB Printer #1］を選択します。



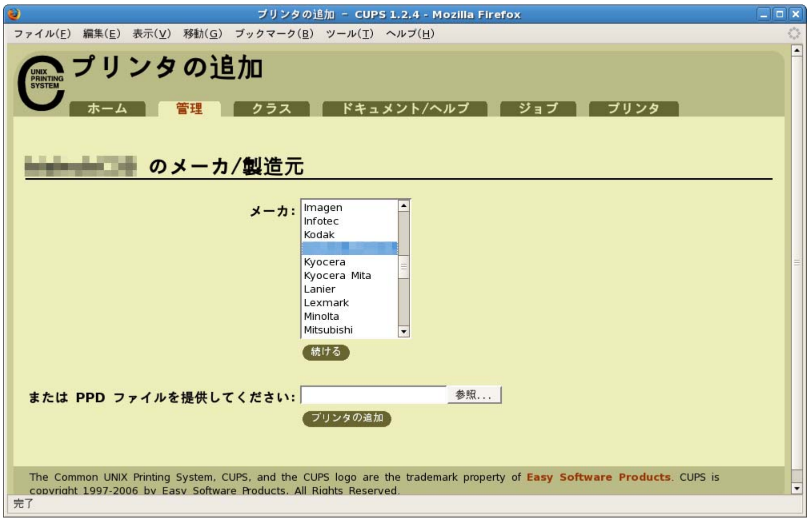
7　USB 接続の場合、手順９に進みます。
以下のようにデバイス URI を入力してください：
socket:// <プリンター名もしくは本機の IP アドレス>［：ポート番号］

→ IP アドレスの場合：socket://192.168.1.190:9100
→ プリンター名の場合：socket://Hostname:9100
プリンター名は IP アドレスで代用できます。また、ポート番号は省略することができます。



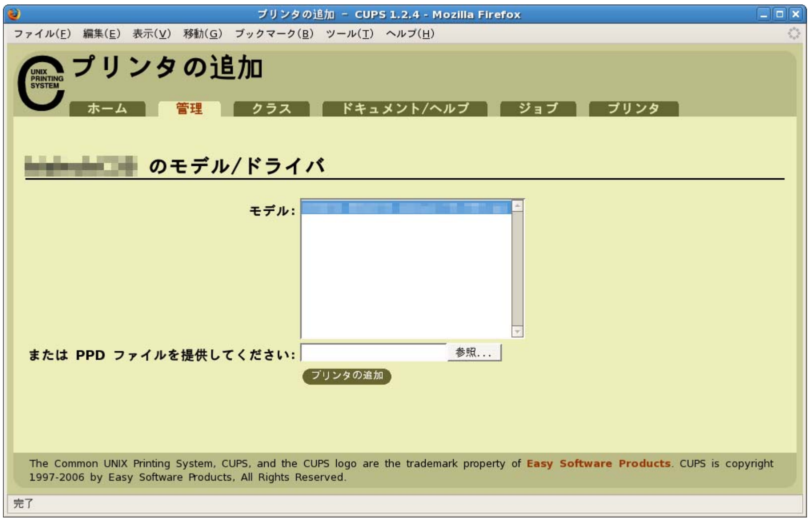

8　［続ける］をクリックします。

9　［KONICA MINOLTA］を選択して、［続ける］をクリックします。




→ 各言語のPPDファイルはDrivers CD-ROMの"Drivers/LinuxPPD/<language>" フォルダーから取得することができます。言語に適した PPD ファイルを使用してください。

10 ［KONICA MINOLTA bizhub 42 PPD (jp)］を選択したあと、［プリンタの追加］をクリックします。




ポップアップウィンドウが表示されます。

11 管理者権限を使用するために、ユーザ名とパスワードを入力したあと、［OK］をクリックします。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

# 8 NetWare を使用する場合のインストール

# 8 NetWare を使用する場合のインストール

NetWare を使用する場合に必要な設定と Windows クライアント用のプリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

## 8.1 NetWare

### 8.1.1 ネットワーク設定

本機の［NetWare 設定］で［IPX/SPX］、［NetWare プリントモード］を設定しておきます。

**参照**
本機の NetWare 設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

### 8.1.2 Windows クライアント設定

印刷を行う Windows クライアントでは、［プリンタの追加ウィザード］でプリンタードライバーをインストールします。

✔ インストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

3 ［プリンタのインストール］または［プリンタの追加］を実行します。
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

4 印刷先ポートの設定で、ネットワークを参照し、作成したキュー名（または NDPS プリンター名）を指定します。

5 プリンターのモデル一覧で、CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定します。
➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows XP/Server 2003：PCL ドライバー、PS ドライバー
Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2：PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー

6 画面の指示にしたがってインストールを完了します。

# 9 プリンタードライバーのアンインストール

# 9 プリンタードライバーのアンインストール

プリンタードライバーを削除する操作を説明します。

## 9.1 Windows

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

### 9.1.1 インストーラーによるアンインストール

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、インストーラーでも削除できます。

1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

➔ インストールプログラムが起動するのを確認します。

➔ インストールプログラムが起動しない場合は、CD-ROM 内の［AutoRun.exe］をダブルクリックします。

2 ［プリンター / ファクス］をクリックします。

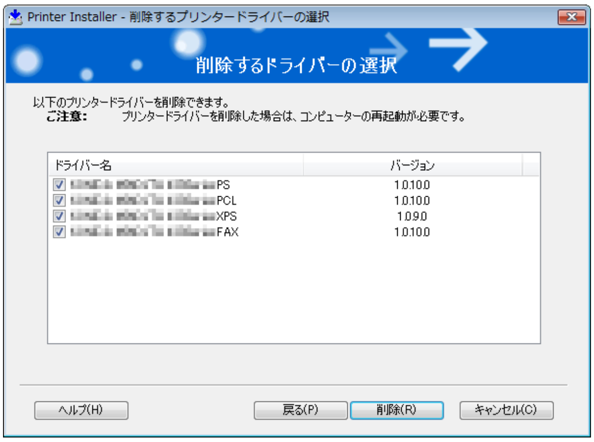
プリンター / ファクスドライバーのインストーラーが起動します。

3 使用許諾契約書の画面で［同意します］をクリックします。

4 セットアップの内容を選択する画面で［プリンタードライバーの削除］を選択して［次へ］をクリックします。

5 削除するコンポーネントを選択し、［削除］をクリックします。

➔ 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。




6 再起動する画面が表示されたら［OK］をクリックし、再起動します。

### 9.1.2 アンインストールプログラムによるアンインストール

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、プリンタードライバーの削除機能が組み込まれています。

1 ［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［KONICA MINOLTA］－［42Series］－［プリンタードライバーの削除］をクリックします。

2 削除するコンポーネントを選択し、［削除］をクリックします。

➔ 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。

3 再起動する画面が表示されたら［OK］をクリックし、再起動します。

### 9.1.3 手動アンインストール

インストーラーを使わずにプリンタードライバーをインストールした場合は、手動でプリンタードライバーを削除します。

1 ［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

2 削除したいプリンターのアイコンを選択します。

3 プリンタードライバーを削除します。

➔ Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008 の場合は、キーボードの **Delete** を押します。
➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの［デバイスの削除］をクリックします。

4 以降は、画面の指示にしたがって操作します。

削除が終了すると［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタと FAX］ウィンドウからアイコンが消えます。

Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7 の場合は、引き続きサーバーのプロパティでプリンタードライバーを削除します。

5 ［サーバーのプロパティ］を開きます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、［プリンタ］ウィンドウの何もない部分を右クリックし、［管理者として実行］－［サーバーのプロパティ］をクリックします。
➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、他のプリンターを選択し、ツールバーの［プリントサーバー プロパティ］をクリックします。
➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、［ファイル］メニューをクリックし、［サーバーのプロパティ］をクリックします。
➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

6 ［ドライバー］タブをクリックします。

7 ［インストールされたプリンター ドライバー :］一覧から、削除したいプリンタードライバーを選択し、［削除 ...］をクリックします。

➔ Windows Vista/Server 2008/7 の場合は、手順 8 へ進みます。
➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、手順 9 へ進みます。

8 削除の対象を確認する画面で［ドライバとドライバ パッケージを削除する］または［ドライバーとパッケージを削除する］を選択して、［OK］をクリックします。

9 削除を確認する画面で［はい］をクリックします。

➔ Windows Vista/Server 2008/7 の場合は、さらに削除を確認する画面が表示されますので［削除］をクリックします。

10 開いている画面を閉じ、コンピューターを再起動します。

➔ 必ず再起動してください。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

参考

- 先の手順でプリンタードライバーを削除しても、Windows XP/Server 2003 の場合は、機種情報ファイルがコンピューターに残ります。このため同一バージョンのプリンタードライバーを再インストールする場合、ドライバーが書き替えできない場合があります。この場合以下のファイルも削除してください。
  - 「C:￥WINDOWS￥system32￥spool￥drivers￥w32×86」フォルダー（×64 システムの場合は、「C:￥WINDOWS￥system32￥spool￥drivers￥×64」フォルダー）を確認し、該当機種のフォルダーがあれば削除します。ただし、PCL コニカミノルタ製ドライバーと PostScript コニカミノルタ製ドライバー、ファクスドライバーなど複数のドライバーがインストールされている場合は、全てのドライバーの機種情報が削除されます。ほかのドライバーを残す場合は削除しないでください。
  - 「C:￥WINDOWS￥inf」フォルダーにある「oem*.inf」と「oem*.PNF」を削除します（ファイル名の「*」は番号を示し、番号はコンピューターの環境により異なります）。
    削除する前に inf ファイルを開いて、最後の数行に記述してある機種名を確認し、該当機種のファイルであることを確認してください。PNF ファイルは inf ファイルと同じ番号となります。
  - Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で［ドライバとドライバ パッケージを削除する］または［ドライバーとパッケージを削除する］で操作した場合は、この作業は不要です。

## 9.2 Macintosh

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

### 9.2.1 OS X 10.5/10.6/10.7 の場合

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定］を開きます。

2 ［プリントとファクス］をクリックします。

➔ OS X 10.7 の場合は、［プリントとスキャン］をクリックします。

3 削除するプリンター名を選択し、［－］をクリックします。

4 確認メッセージが表示されたら、以下のボタンをクリックします。
Mac OS X 10.5 の場合：［OK］
Mac OS X 10.6/10.7 の場合：［プリンタを削除］

選択したプリンターが削除されます。

5 ［プリントとファクス］または［プリントとスキャン］画面を閉じます。

6 インストールした［Macintosh HD］の［ライブラリ］－［Printers］－［PPDs］－［Contents］－［Resources］内の［KONICAMINOLTA bizhub 42.gz］および［KONICAMINOLTA bizhub 36.gz］ファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

7 ［ライブラリ］－［Printers］－［KONICAMINOLTA］内の［42］フォルダーを［ゴミ箱］へドラッグします。

8 ［ライブラリ］－［Receipts］内の以下のファイルをゴミ箱へドラッグします。
Mac OS X 10.5 の場合：［bizhub 42_36_105.pkg］
Mac OS X 10.6 の場合：［bizhub 42_36_106.pkg］
Mac OS X 10.7 の場合：［bizhub 42_36_106.pkg］

9 コンピューターを再起動します。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

### 9.2.2 OS X 10.3/10.4 の場合

1 ［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］から［プリンタ設定ユーティリティ］画面を開きます。

2 削除するプリンター名を選択し、［削除］をクリックします。

選択したプリンターが削除されます。

3 ［プリンタ設定ユーティリティ］画面を閉じます。

4 インストールした［Macintosh HD］の［ライブラリ］－［Printers］－［PPDs］－［Contents］－［Resources］－［ja.lproj］内の［KONICAMINOLTA bizhub 42.gz］および［KONICAMINOLTA bizhub 36.gz］ファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

5 ［ライブラリ］－［Printers］内の不要なファイルを削除します。

➔ ［ライブラリ］－［Printers］－［KONICAMINOLTA］－［PDEs］内の［KONICA MINOLTA bizhub 42 Color.plugin］ファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。
➔ ［ライブラリ］－［Printers］－［KONICAMINOLTA］－［Icons］内の［KONICA MINOLTA bizhub 42.icns］ファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

6 ［ライブラリ］－［Receipts］内の［bizhub 42_36_103104.pkg］ファイルをゴミ箱へドラッグします。

7 コンピューターを再起動します。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

### 9.2.3 OS X 10.2 の場合

1 ［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］から［プリントセンター］画面を開きます。

2 削除するプリンター名を選択し、［削除］をクリックします。

選択したプリンターが削除されます。

3 ［プリントセンター］画面を閉じます。

4 インストールした［Macintosh HD］の［ライブラリ］－［Printers］－［PPDs］－［Contents］－［Resources］－［ja.lproj］内の［KONICAMINOLTA bizhub 42.gz］および［KONICAMINOLTA bizhub 36.gz］ファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

5 ［ライブラリ］－［Printers］内の不要なファイルを削除します。

➔ ［ライブラリ］－［Printers］－［PPDPlugins］内の［KONICAMINOLTA bizhub 42 Color.plugin］ファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

➔ ［ライブラリ］－［Printers］－［KONICAMINOLTA］－［Icons］内の［KONICA MINOLTA bizhub 42.icns］ファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

6 ［ライブラリ］－［Receipts］内の［bizhub 42_36_102.pkg］ファイルをゴミ箱へドラッグします。

7 コンピューターを再起動します。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

# 10 Windows 用 PCL/PS/XPS ドライバーの印刷機能

# 10　Windows 用 PCL/PS/XPS ドライバーの印刷機能

Windows 用の PCL/PS/XPS プリンタードライバーの機能について説明します。

## 10.1　印刷操作

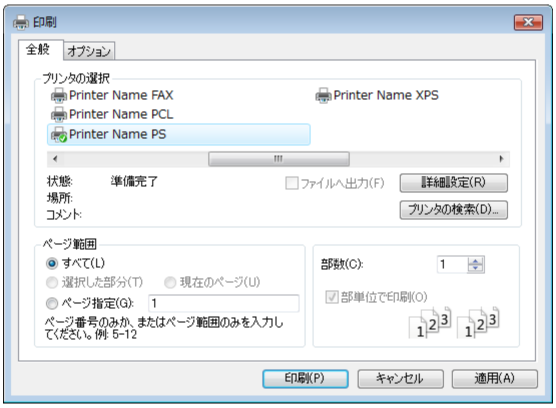
通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから［印刷］をクリックします。

➔ メニューがない場合は、［印刷］ボタンをクリックします。

2 ［プリンタ名］（または［プリンタの選択］）で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

➔ 目的のプリンターが選択されていないときは、クリックして選択します。
➔ ［印刷］画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。
➔ インストール方法によりプリンター名が異なります。また、プリンター名は変更することができます。画面ではプリンター名を「Printer Name PS」などに変更した例で説明しています。




3 印刷するページ範囲や部数を設定します。

4 必要に応じて［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックし、プリンタードライバーの設定を変更します。

➔ ［印刷］画面で［プロパティ］や［詳細設定］をクリックすると、プリンタードライバーの［印刷設定］画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、10-9 ページをごらんください。
➔ ［印刷］画面から変更したプリンタードライバーの［印刷設定］は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

5 ［印刷］をクリックします。

印刷が実行され、本機のデータランプが点滅します。

## 10.2　プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションやユーザー認証、部門管理機能などの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーの［印刷設定］画面から使用可能にする必要があります。

**重要**
本機の機種名や装着されているオプション、ユーザー認証、部門管理機能が［装置情報］タブで設定されていないと、プリンタードライバーの［印刷設定］画面でオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

### 10.2.1　プロパティ画面の表示方法

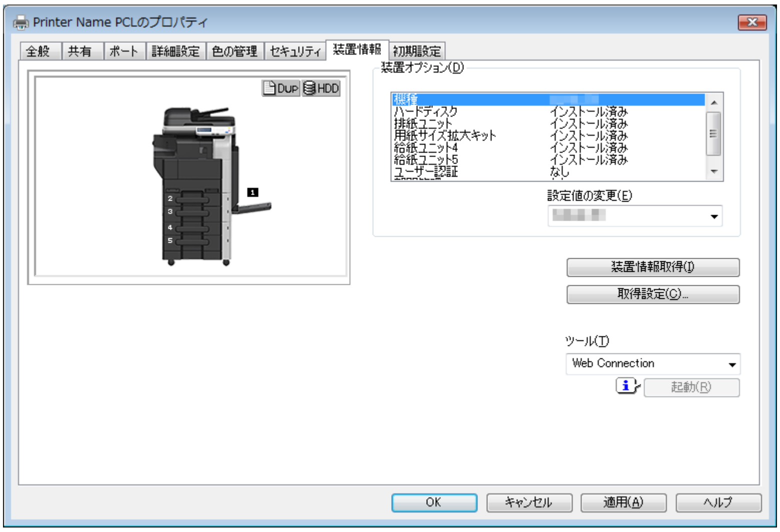
1 ［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、［スタート］をクリックして［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。
➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
➔ Windows 7/Server 2008 R2 で、［スタート］メニューに［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。
➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。
➔ Windows XP/Server 2003 で、［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタと FAX］をダブルクリックします。

2 ［プリンターのプロパティ］を開きます。

➔ Windows XP/Vista/Server 2003/Server 2008 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。
➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［プリンターのプロパティ］をクリックします。

## 10.2.2 ［装置情報］タブ




使用する機種名とオプションやユーザー認証、部門管理機能の有無を設定し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にします。

| 項目名 | 機能 |
|---|---|
| ［装置オプション］ | 本機の機種名と装着されているオプションやユーザー認証 / 部門管理の状態を設定します。各項目の状態は［設定値の変更］で設定します。 |
| ［装置情報取得］ | 本機と通信し、オプション装着の状態を読み取ります。 |
| ［取得設定 ...］ | ［装置情報取得］を実行する接続先などの条件を設定します。<br>装置情報を自動で取得する場合は［自動取得］を有効にします。 |
| ［ツール］ | PageScope Web Connection などの設定ツールを起動します。 |

参考

- ［装置オプション］の機種とオプションは、［取得設定 ...］が［自動取得］になっていれば自動的に設定されます。［自動取得］になっていない場合は、［装置情報取得］または手動で必ず設定してください。
- ［装置情報取得］の機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

### 10.2.3 ［初期設定］タブ




確認メッセージや認証設定入力画面の表示に関する初期設定を変更できます。

| 項目名 | 機能 |
|---|---|
| ［メタファイル（EMF）スプールを行う］ | 独自のシステム環境で使用する場合で、メタファイル（EMF）スプールが必要な場合にチェックします。 |
| ［禁則発生時に確認メッセージを表示する］ | プリンタードライバーで、同時に設定できない機能を有効にした場合にメッセージを表示します。 |
| ［サーバープロパティ用紙を使用する］ | プリンターウィンドウの［サーバーのプロパティ］で追加登録した用紙を使用します。 |
| ［不定形サイズの登録...］ | 不定形サイズの用紙を登録します。 |

参考

- ［メタファイル（EMF）スプールを行う］、［不定形サイズの登録］は PCL ドライバーのみの機能です。
- PS/XPS ドライバーで EMF スプール機能を利用する場合は、［詳細設定］タブにある［詳細な印刷機能を有効にする］を ON にして、EMF スプール機能を有効にしてください。
- ［サーバーのプロパティ］は、Windows Vista/Server 2008 の場合、［プリンタ］ウィンドウの何もない部分を右クリックし、［管理者として実行］－［サーバーのプロパティ］をクリックして開きます。Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、プリンターを選択し、ツールバーの［プリント サーバー プロパティ］をクリックします。Windows XP/Server 2003 の場合は、［ファイル］メニューをクリックし、［サーバーのプロパティ］をクリックします。
- My タブ上の機能の配置は、アプリケーション CD-ROM に含まれている、**Driver Packaging Utility** で設定することにより、各ユーザーが同じ配置で使用するようにもできます。
  **Driver Packaging Utility** でドライバーパッケージを作成するときに、パッケージの元となるプリンタードライバーを希望する My タブ配置に変更し、**Driver Packaging Utility** の設定でプリンターの設定をコピーするように設定してください。**Driver Packaging Utility** の設定については、**Driver Packaging Utility** のヘルプをごらんください。

**参照**
My タブの機能については、10-10 ページをごらんください。

## 10.2.4 デフォルト設定の登録

印刷時に設定するプリンタードライバーの設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの基準設定（初期設定）を変更します。

1 ［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、［スタート］をクリックして［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 で、［スタート］メニューに［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。

➔ Windows XP/Server 2003 で、［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタと FAX］をダブルクリックします。

2 インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［印刷設定 ...］をクリックします。

プリンターの［印刷設定］ダイアログが表示されます。

3 機能の設定を変更し、［OK］をクリックして終了します。

変更した設定が、全てのアプリケーションソフトウェアでプリンターを使用するときに適用されます。

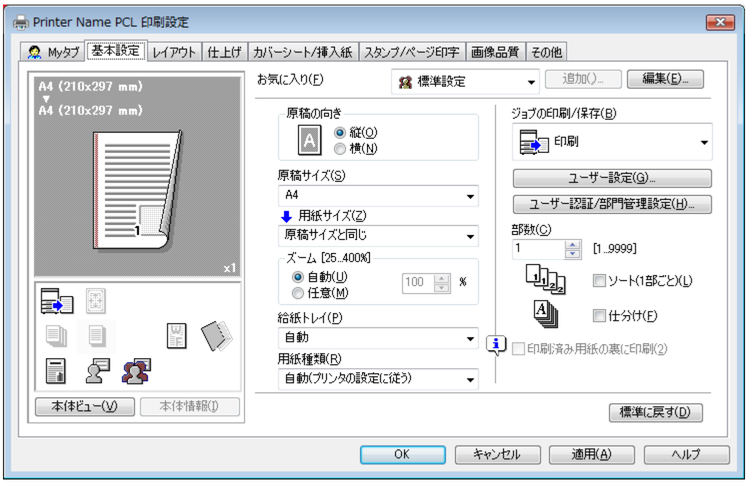
**参照**

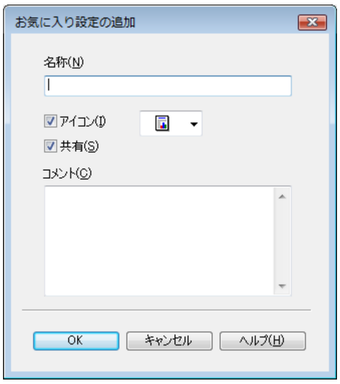
プリンタードライバーの機能や設定項目については、10-9 ページをごらんください。

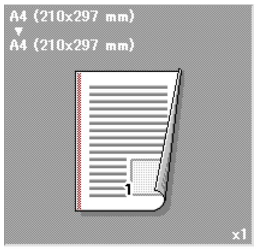
プリンタードライバーには、設定した内容を［お気に入り］として保存する機能もあります。詳しくは、10-7 ページをごらんください。

# 10.3　共通項目

各タブの画面で共通の設定やボタンについて説明します。




| 項目名 | 機能 |
|---|---|
| [OK] | このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。 |
| [キャンセル] | このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。 |
| [適用] | このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。 |
| [ヘルプ] | このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。 |
| [追加 ...]（お気に入り） | 現在の設定を保存する機能です。<br>任意の設定を行い、[追加] をクリックして名称、コメントを入力します。<br>アイコンを設定する場合は、[アイコン] チェックボックスをチェックし、アイコンを選択します。<br>保存する設定を共有にする場合は、[共有] チェックボックスにチェックします。<br>[OK] をクリックすると、現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。<br> |
| [編集 ...]（お気に入り） | お気に入り設定を編集する機能です。<br>[編集] をクリックすると、お気に入り設定の編集画面が表示され、保存した設定の編集ができます。<br>また、設定情報を設定ファイル（拡張子：KSF）として保存したり（エクスポート）、設定ファイルを読み込んで [お気に入り設定] に追加することもできます（インポート）。<br>ドロップダウンリストで [標準設定] を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。<br>また、あらかじめ登録されている設定を選択することもできます。あらかじめ登録されている設定には [2 in 1] があります。 |
| [標準に戻す] | このボタンをクリックすると、初期設定の内容に戻します。 |

| 項目名 | 機能 |
|---|---|
| ビュー | ［用紙ビュー］を選択すると、現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、印刷結果のイメージを確認できます。<br>［本体ビュー］を選択すると、現在本機に装着されている給紙トレイなどのオプションを含むプリンター構成の図が表示されます。<br>用紙：<br><br>本体：<br> |
| サブビュー | 代表的な設定の状態をアイコンで表示します。 |
| ［本体情報］ | PageScope Web Connection を起動し、本体情報を確認できます。本機と通信可能な状態で有効です。 |

参考

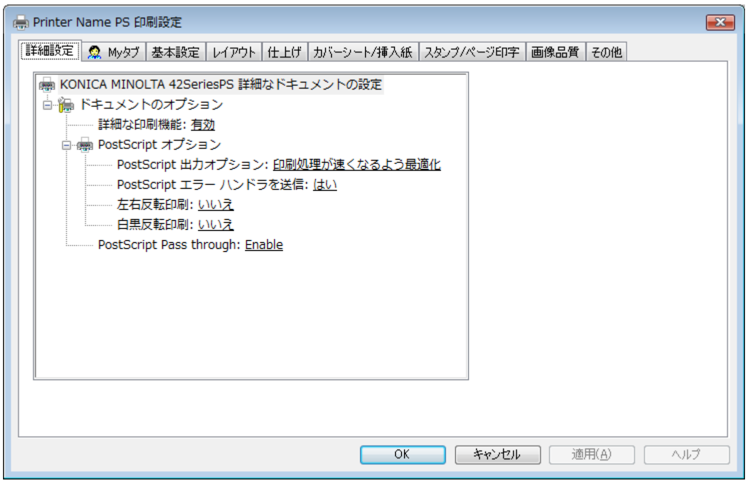
- お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されない場合があります。

# 10.4　設定項目詳細

印刷設定画面は、プリンタードライバーの機能を設定する画面です。印刷ダイアログボックスで［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックするか、［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタと FAX］ウィンドウのプリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定 ...］を指定して開きます。

## 10.4.1　詳細設定タブ

PostScript 関する詳細な設定を行います。この設定は PS ドライバーのみの機能です。



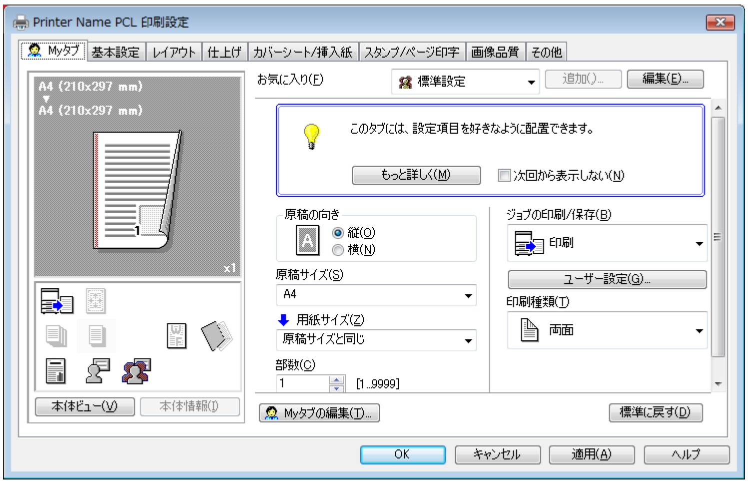

| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［詳細な印刷機能］ | 有効 / 無効 | 詳細な印刷機能（小冊子）の設定を有効にするか、無効にするかを選択します。 |
| ［PostScript オプション］ | PostScript 出力オプション | PostScript ファイルの出力形式を設定します。 |
| | PostScript エラーハンドラを送信 | PostScript エラーが発生した場合に、レポートを印刷するかしないかを設定します。 |
| | 左右反転印刷 | 左右反転印刷を行うか行わないかを設定します。 |
| PostScript Pass through | Enable/Disable | アプリケーションがプリンタードライバーを利用せずに直接印刷できるようにするかどうかを設定します。 |

参考

- ［詳細な印刷機能］はプリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して表示するプロパティ画面で、［詳細設定］タブにある［詳細な印刷機能を有効にする］チェックボックスがチェックされている場合に表示されます。

## 10.4.2　My タブ

My タブは、表示内容をカスタマイズできるタブです。プリンタードライバーの設定機能のうち、よく使う機能を My タブ画面に登録しておくことで、1 画面で設定変更ができるようになり、プリンタードライバーの使い勝手が良くなります。




| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| [もっと詳しく] | − | My タブのヘルプを表示します。 |
| [次回から表示しない] | オン / オフ | [もっと詳しく] を含む説明欄を表示しないようにします。 |
| [My タブの編集 ...] | − | My タブに表示する機能を登録 / 削除します。<br>詳しくは、10-11 ページをごらんください。 |

参考

- 上記以外の項目は、[My タブの編集 ...] でカスタマイズされている部分で、登録している内容によって異なります。

## ［My タブ］の編集

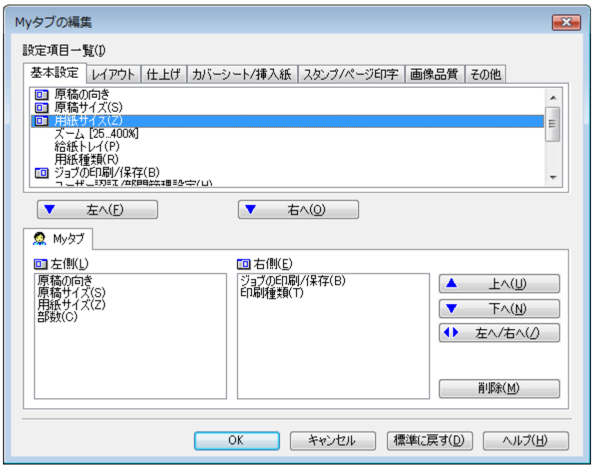
1 ［My タブ］で［My タブの編集 ...］をクリックします。

2 ［My タブ］に登録したい機能を選択し、［左へ］または［右へ］をクリックします。

➔ 機能は［設定項目一覧］の各タブに表示される内容から選択します。

➔ ［左へ］をクリックすると［My タブ］画面の左側に、［右へ］をクリックすると［My タブ］画面の右側に配置できます。

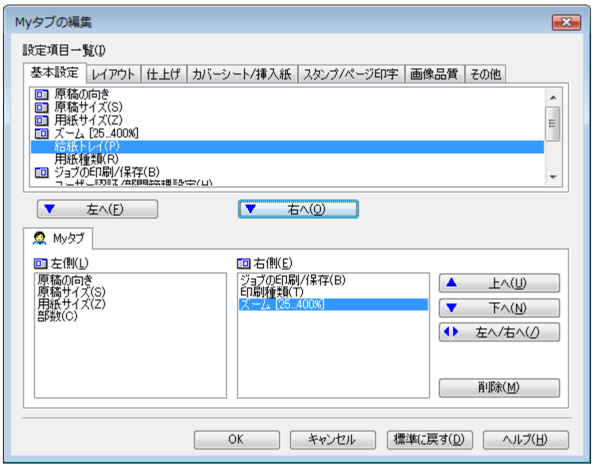
➔ 既に［My タブ］に登録されている機能の前には、［左側］/［右側］のアイコンが表示されます。




3 登録した機能の配置を変更します。

➔ 位置を変更する場合は、移動したい機能を選択し、［上へ］、［下へ］、［左へ / 右へ］をクリックします。

➔ ［My タブ］から削除する場合は、削除したい機能を選択し、［削除］をクリックします。



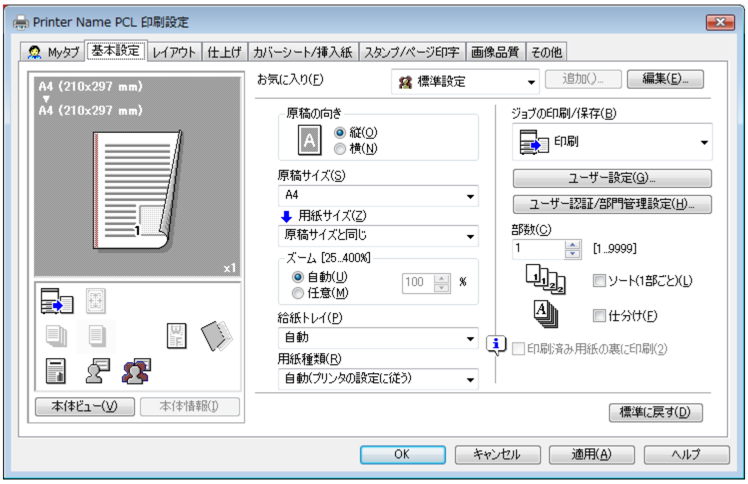

4 ［OK］をクリックします。

参考

- プリンタードライバーの各タブで機能を選択し右クリックすると、その機能を My タブに追加登録できます。

### 10.4.3 ［基本設定］タブ

用紙のサイズや種類、出力方法など、印刷の基本機能を設定します。



| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［原稿の向き］ | 縦、横 | 原稿の用紙方向を設定します。 |
| ［原稿サイズ］ | 定型用紙サイズと不定形サイズに登録してある用紙サイズ | 原稿の用紙サイズを設定します。 |
| | 不定形サイズ | サイズを登録します。 |
| ［用紙サイズ］ | 本機で利用できる定型用紙サイズと不定形サイズに登録してある用紙サイズ | 印刷する用紙サイズを設定します。原稿サイズと異なる場合で、ズームが［自動］のときは、サイズに合わせて拡大、縮小されます。 |
| | 不定形サイズ | サイズを登録します。 |
| ［ズーム］ | 25 ～ 400% | 拡大・縮小率を設定します。 |
| ［給紙トレイ］ | 自動、トレイ 1（手差し）、トレイ 1 ～ 5 | 使用する給紙トレイを選択します。<br>装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。 |
| ［用紙種類］ | 本機で利用できる用紙種類 | 印刷に使用する用紙種類を選択します。<br>［自動（プリンタの設定に従う）］を選択すると、操作パネルのユーザー設定 / プリンター設定 / 用紙メニュー / 給紙トレイ設定で設定した用紙種類で印刷を行います。 |
| ［ジョブの印刷 / 保存］ | ［印刷］ | 通常の印刷を行います。 |
| | ［保存］ | ハードディスクにプリントジョブを保存します。印刷は行いません。 |
| | ［保存＆印刷］ | 通常の印刷を行い、ハードディスクへの保存も行います。 |
| | ［機密印刷］ | プリントジョブをハードディスクにパスワードを設定して保存します。<br>［機密印刷］ジョブを印刷すると、機密印刷ジョブはハードディスクから削除されます。 |
| | ［試し印刷］ | 1 部のみ印刷を行い、ハードディスクへジョブを保存します。 |
| | ［認証＆プリント］ | ユーザー認証情報を付加したプリントジョブをハードディスク保存します。<br>ユーザー認証後にプリントジョブが出力されます。 |
| ［ユーザー設定 ...］ | － | ジョブ名や、機密印刷時のパスワードの設定などを行います。 |

| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| ［ユーザー認証 / 部門管理設定 ...］ | ー | 本機で［ユーザー認証］を設定している場合のユーザー名／パスワード、本機で［部門管理］を設定している場合の部門名／パスワードを設定します。 |
| ［部数］ | 1 ～ 9999 | 印刷する部数を設定します。 |
| ［ソート（1 部ごと）］ | オン / オフ | 複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。 |
| ［仕分け］ | オン / オフ | 複数部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。 |
| ［印刷済み用紙の裏に印刷］ | ー | 一度印刷した用紙の裏面に印刷するかどうかを設定します。<br>本設定は、［用紙トレイ］を［トレイ 1（手差し）］、［トレイ 1］、［トレイ 2］に設定した場合に有効です。 |

参考

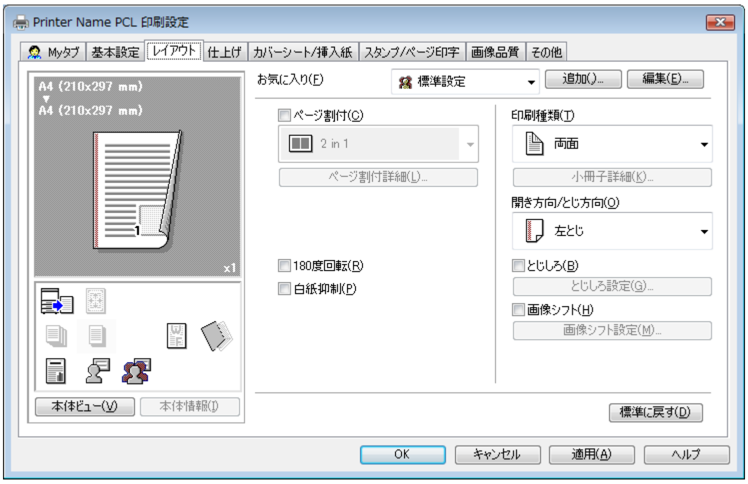
- トレイ 1 から印刷を行う場合、本体の用紙メニューのトレイ 1 で設定している用紙サイズ / 種類以外の用紙で印刷する場合は、［トレイ 1（手差し）］を選択し、印刷指示をした後に、手差しトレイに用紙がセットされていることを確認後、操作パネルのタッチパネルを操作して印刷を行ってください。
  トレイ 1 で設定している用紙以外の用紙を用いて［トレイ 1］で印刷を行うと、たとえ正しいサイズの用紙をセットしていても印字位置がずれ、排紙部で紙づまりの可能性があります。
- 給紙トレイで［自動］を選択すると、トレイ 1（手差し）、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5 の優先順位で用紙が給紙されます。
- 本機の電源をオフ / オンすると、［保存］ジョブ 、［認証＆プリント］ジョブ以外のジョブはハードディスクから削除されます。
- 用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズは、用紙サイズまたは原稿サイズの選択肢から［不定形サイズ］を選択するとサイズを指定して登録できます。
- 用紙種類の［2 面目］は、用紙の裏面に印刷するときに指定します。
- ［印刷済み用紙の裏に印刷］を行う場合は、本機で印刷した用紙の裏面をご使用ください。
  なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。

**参照**

トレイにセット可能な用紙サイズについては、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

ジョブの印刷 / 保存方法について詳しくは、13-2 ページをごらんください。

## 10.4.4 ［レイアウト］タブ

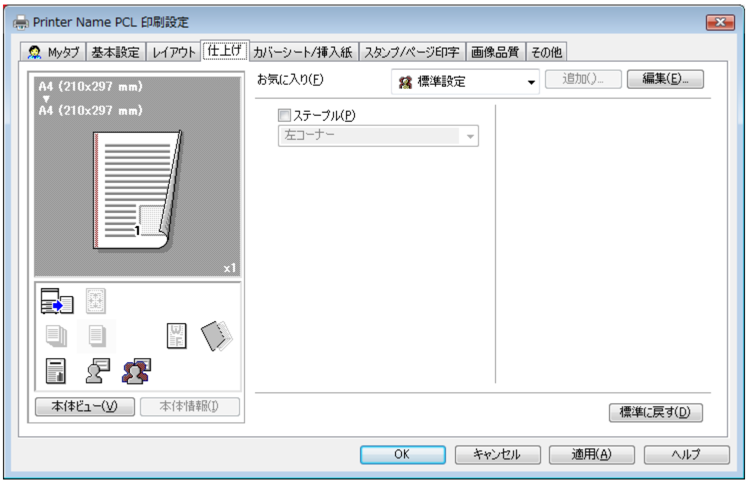



| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［ページ割付］ | 2 in 1、4 in 1、6 in 1、9 in 1 、16 in 1、2 × 2、3 × 3、4 × 4 | 複数ページの文書を 1 枚の用紙に割付ける、または 1 枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷します。［ページ割付詳細 ...］でページ順序や境界枠の有無が設定できます。 |
| ［ページ割付詳細 ...］ | ［ページ割付］ | ページ割付の条件を選択します。 |
| | ［順序］ | 割付順序を設定します。ページ割付で N in 1 が設定されているときに設定できます。 |
| | ［境界］ | 境界線の有無と線の種類を設定します。ページ割付で N in 1 が設定されているときに設定できます。 |
| | ［のりしろ線］ | のりしろの有無を設定します。ページ割付で N × N が設定されているときに設定できます。 |
| ［180 度回転］ | オン / オフ | 180゜回転して印刷します。 |
| ［白紙抑制］ | オン / オフ | データに白ページがある場合、印刷しません。 |
| ［印刷種類］ | ［片面］、［両面］、［小冊子］ | 片面 / 両面印刷や小冊子印刷を設定します。用紙節約のため、両面印刷が初期設定になっています。<br>［小冊子］を選択すると、［小冊子詳細］ボタンが有効になります。 |
| ［小冊子詳細］ | − | 小冊子印刷を行う場合の、開き方向や境界線の有無を設定します。 |
| ［開き方向 / とじ方向］ | ［左とじ］、［右とじ］、［上とじ］ | とじ位置を設定します。 |
| ［とじしろ］ | オン / オフ | とじしろ（余白）を設定します。［とじしろ設定 ...］で余白量を設定でます。 |
| ［とじしろ設定 ...］ | ［シフトモード］ | とじしろの余白を空けるために、画像をどのように処理するかを選択します。 |
| | ［表面］/［裏面］ | とじしろの値を設定します。両面印刷の場合、［表面と裏面を同じ値にする］のチェックボックスを OFF にすると、表面／裏面それぞれの値が設定できます。 |
| | ［単位］ | サイズを設定する単位を選択します。 |
| ［画像シフト］ | オン / オフ | 印刷イメージを全体にずらして印刷します。［画像シフト設定 ...］でずれ量の詳細が設定できます。 |
| ［画像シフト設定 ...］ | ［単位］ | サイズを設定する単位を選択します。 |
| | ［表面］/［裏面］ | ずらす方向と値を設定します。<br>文書の印刷位置を 0.1 ミリ単位または、0.01 インチ単位で設定します。 |

参考

- ［ページ割付］で 1 枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷する「2 × 2、3 × 3、4 × 4」の選択肢は PCL ドライバーのみの機能です。
- ［白紙抑制］の機能は PCL/XPS ドライバーのみの機能です。
- とじしろの位置は、［開き方向 / とじ方向］の設定に連動します。

## 10.4.5 ［仕上げ］タブ

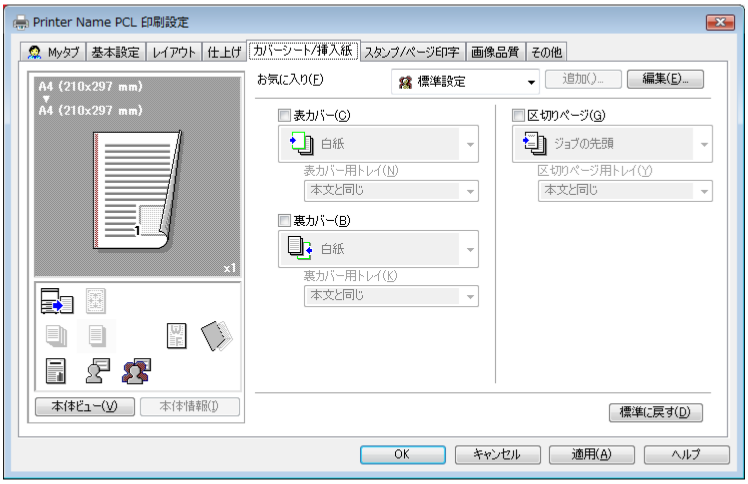



| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［ステープル］ | オン / オフ、［左コーナー］/［右コーナー］/［2 点（左）］/［2 点（右）］/［2 点（上）］ | ステープルを設定します。<br>ドロップダウンリストでステープルの数と位置を指定できます。 |

参考

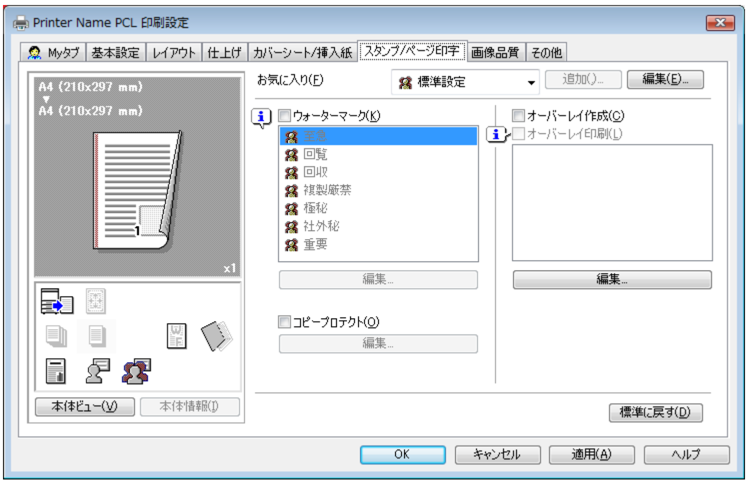
- ［ステープル］機能は、オプションのフィニッシャー FS-529 が装着されている場合のみ使用可能となります。

### 10.4.6 ［カバーシート / 挿入紙］タブ



| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［表カバー］ | オン / オフ、［白紙］ / ［片面のみ印刷］ / ［両面に印刷］ | 表紙を付けて印刷します。 |
| ［表カバー用トレイ］ | 自動、トレイ 1（手差し）、トレイ 1 ～ 5 | 表紙を給紙するトレイを選択します。<br>装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。 |
| ［裏カバー］ | オン / オフ、［白紙］ / ［片面のみ印刷］ / ［両面に印刷］ | 裏表紙を付けて印刷します。 |
| ［裏カバー用トレイ］ | 自動、トレイ 1（手差し）、トレイ 1 ～ 5 | 裏表紙を給紙するトレイを選択します。<br>装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。 |
| ［区切りページ］ | ［ジョブの先頭］ / ［部の先頭］ / ［部の末尾］ | ジョブまたは部ごとに挿入紙を挿入して印刷します。 |
| ［区切りページ用トレイ］ | 自動、トレイ 1（手差し）、トレイ 1 ～ 5 | 区切りページ用の挿入紙を給紙するトレイを選択します。<br>装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。 |

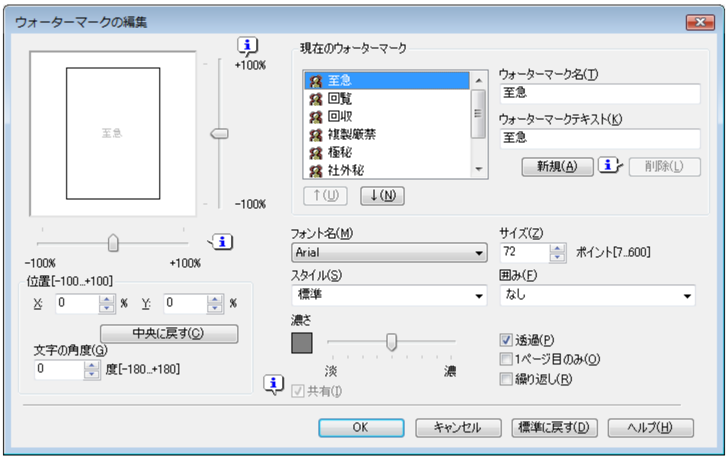
### 10.4.7 ［スタンプ / ページ印字］タブ



| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| [ウォーターマーク] | オン / オフ | 文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせて印刷します。[編集 ...] でウォーターマークの作成、変更、削除ができます。 |
| [編集 ...] | – | 詳しくは、10-17 ページをごらんください。 |
| [コピープロテクト] | オン / オフ | コピーを防止するため、指定した文字を背景に合成して印刷します。<br>印刷時には目立ちませんが、文書が不正コピーされたときに文字や背景が浮き出すような効果が得られます。 |
| [編集 ...] | – | 詳しくは 10-18 ページをごらんください |
| [オーバーレイ作成] | オン / オフ | 印刷を行うとオーバーレイファイル（拡張子：KFO）を作成します。<br>作成したオーバーレイファイルは、[スタンプ / ページ印字] タブのリストに追加されます。 |
| [オーバーレイ印刷] | オン / オフ | 印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷します。 |
| [編集 ...] | – | 詳しくは、10-19 ページをごらんください。 |

参考
- [コピープロテクト] 機能は PCL ドライバーのみの機能です。
- [オーバーレイ作成] 機能は PCL/XPS ドライバーのみの機能です。

## ウォーターマークの編集

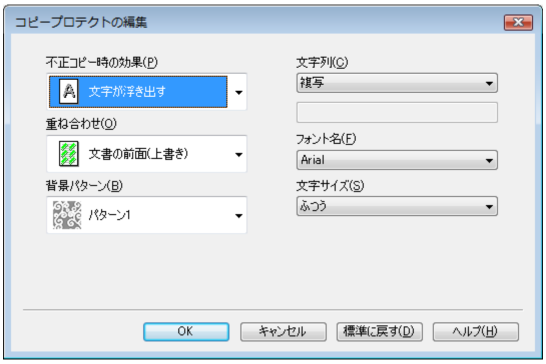



| 機能名称 | 説明 |
|---|---|
| [ウォーターマーク名] | 名称を入力します。<br>30 文字まで入力できます。 |
| [ウォーターマークテキスト] | ウォーターマークのテキストを入力します。<br>30 文字まで入力できます。 |
| [追加] | 新規ウォーターマークを作成して、リストへ追加します。 |
| [削除] | 選択しているウォーターマークを削除します。 |
| [上へ] / [下へ] | リストに表示する順番を入れ替えます。よく使う項目を上に移動できます。 |
| [位置] | 上下左右の位置を設定します。右側と下側のスクロールバーでも設定できます。 |
| [中央に戻す] | 位置を中央に戻します。 |
| [文字の角度] | 印刷角度を設定します。 |
| [フォント名] | フォントを設定します。 |

| 機能名称 | 説明 |
|---|---|
| [サイズ] | サイズを設定します。 |
| [スタイル] | フォントのスタイルを設定します。 |
| [囲み] | 囲みスタイルを設定します。 |
| [濃度] | 文字の濃度を設定します。 |
| [透過] | ウォーターマークを透過イメージで印刷します。 |
| [1 ページ目のみ] | ウォーターマークを 1 ページ目のみ印刷します。 |
| [繰り返し] | ウォーターマークを 1 ページの中で繰り返し印刷します。 |
| [共有] | ウォーターマークを公開で登録するか、プライベートにするかを設定します。 |

参考
- PS ドライバーで［レイアウト］タブの［印刷種類］を［小冊子］に設定している場合は、ウォーターマークを印刷できません。
- 64 ビット OS にポイントアンドプリントインストールをしている場合、PS/PCL ドライバーで 32 ビットアプリケーションから印刷を行うと、ウォーターマークを印刷できません。

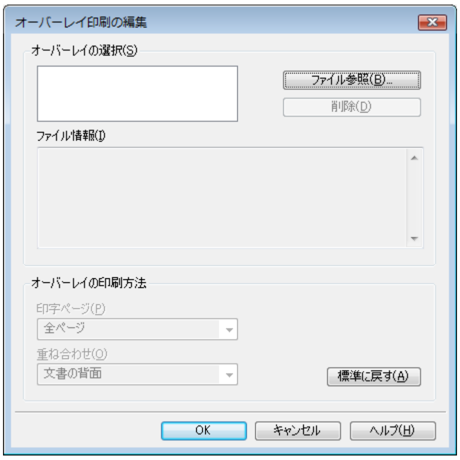
## コピープロテクトの編集




| 機能名称 | 説明 |
|---|---|
| [不正コピー時の効果] | 不正コピーが行われたときの効果を設定します。 |
| [重ね合わせ] | 印刷するときの原稿との重ね合わせ順を設定します。 |
| [背景パターン] | コピープロテクトの背景パターンを設定します。 |
| [文字列] | コピープロテクト用として印字する文字列を選択します。<br>［<カスタム>］を選択した場合、任意の文字列を設定できます。 |
| [フォント名] | コピープロテクトとして印字する文字列のフォントを指定します。 |
| [文字サイズ] | コピープロテクトとして印字する文字列の文字サイズを設定します。 |

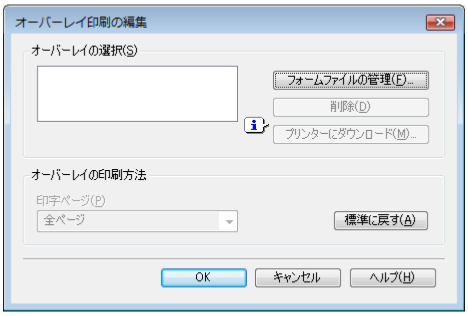
## オーバーレイの編集

PCL/XPS ドライバーの場合：




| 機能名称 | 説明 |
|---|---|
| ［ファイル参照 ...］ | オーバーレイファイルを読込みます。 |
| ［削除］ | 選択しているオーバーレイを削除します。 |
| ［ファイル情報］ | 選択しているオーバーレイの情報を表示します。 |
| ［印字ページ］ | 印刷するページを設定します。 |
| ［重ね合わせ］ | 印刷するときの原稿との重ね合わせ順を設定します。 |

PS ドライバーの場合：




| 機能名称 | 説明 |
|---|---|
| ［フォームファイルの管理］ | オーバーレイファイルの管理を行います。 |
| ［削除］ | 選択しているオーバーレイを削除します。 |
| ［プリンターにダウンロード］ | オーバーレイファイルをプリンターにダウンロードします。<br>ダウンロードマネージャをインストールしている場合に有効となります。 |
| ［印字ページ］ | 印刷するページを設定します。 |

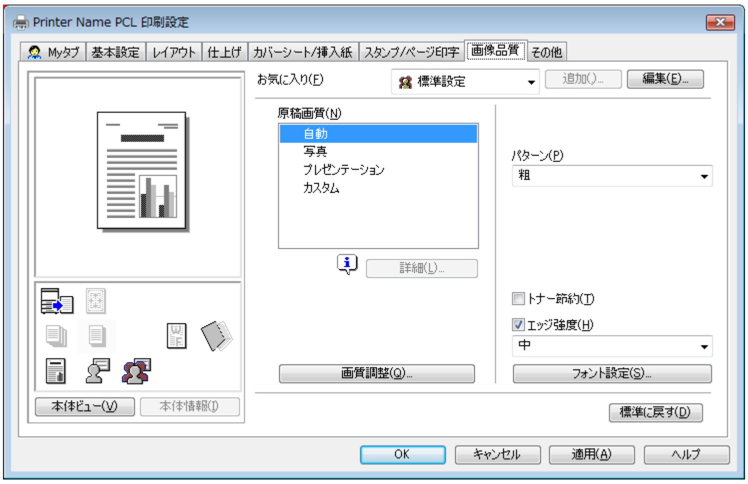
参考

- PostScript ドライバーでフォームを印刷する場合、あらかじめ本機にオーバーレイファイルをダウンロードしておく必要があります。

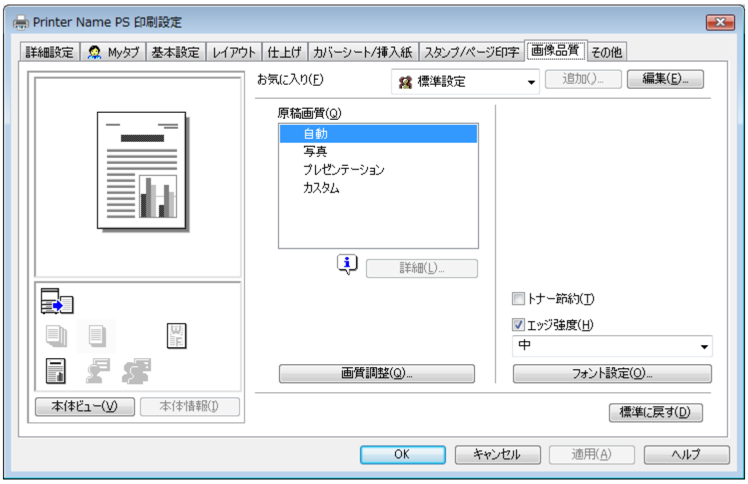
## 10.4.8 ［画像品質］タブ

表示される機能が、PCL/PS/XPS ドライバーで異なります。

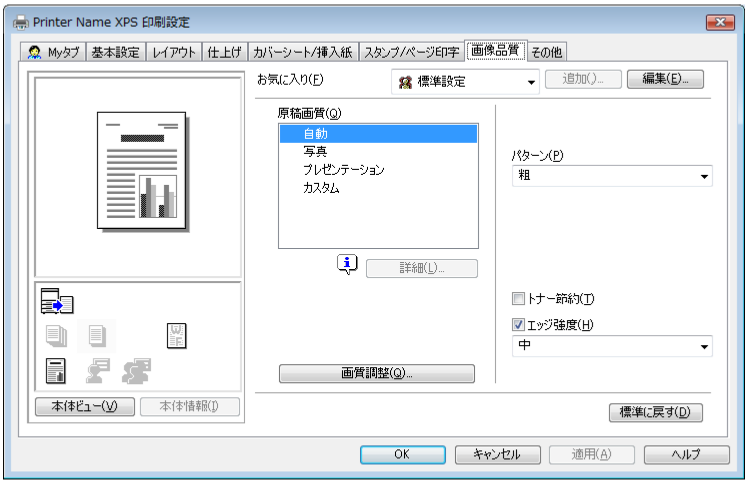
PCL ドライバー




PS ドライバー




XPS ドライバー

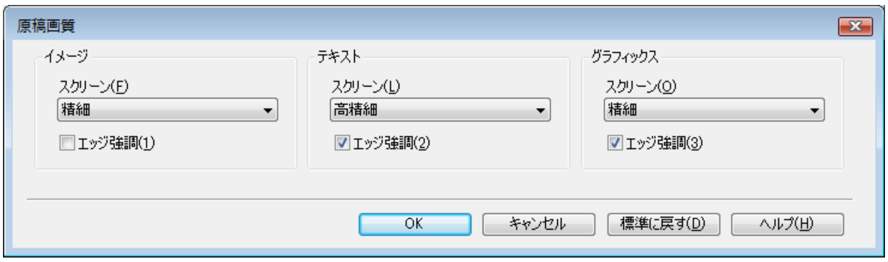


| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［原稿画質］ | ［自動］、［写真］、［プレゼンテーション］、［カスタム］ | 選択した原稿に適した画質で印刷します。<br>［自動］：原稿に最適な画質を自動で判別します。<br>［写真］：写真に適した処理です。<br>［プレゼンテーション］：テキストや、グラフの多い文書に適した処理です。<br>［カスタム］：画質を手動で調整します。［カスタム］を選択すると、［詳細］ボタンが有効になります。 |
| ［詳細］ | − | 詳しくは、10-21 ページをごらんください。 |
| ［画質調整］ | − | ［画質調整］をクリックすると、画質調整画面が表示されます。<br>印刷する画像の明るさ（明度）を設定します。 |
| ［パターン］ | ［密］、［粗］ | グラフィックパターンの細かさを設定します。 |
| ［トナー節約］ | オン / オフ | 印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。 |
| ［エッジ強度］ | ［オフ］、［弱］、［中］、［強］ | エッジを強調する場合、［エッジ強度］チェックボックスをチェックし、付加するエッジ強調ドットの強さを設定します。<br>［弱］：エッジ強調ドットを弱めに付加します。<br>［中］：エッジ強調ドットを付加します。<br>［強］：エッジ強調ドットを強めに付加します。 |
| ［フォント設定...］ | − | コンピューターから本機にダウンロードするフォントをビットマップかアウトラインかで選択します。また、印刷時に、TrueType をプリンターフォントに置き換えるかを設定します。<br>PCL ドライバーで印刷時に文字化けが発生する場合は、ダウンロードフォントをビットマップ、プリンターフォントを使用しない設定にすることをおすすめします。 |

参考
- ［パターン］の機能は PCL/XPS ドライバーの機能です。
- ［フォント設定］の機能は、PCL/PS ドライバーの機能です。

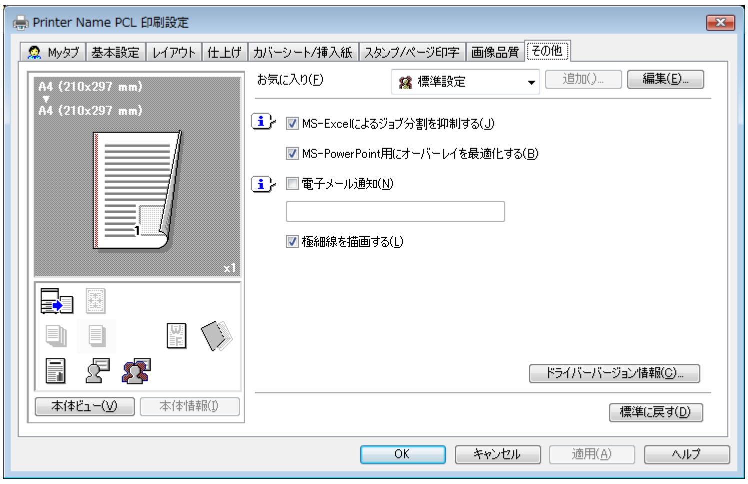
## 原稿画質 - カスタムの詳細

詳細設定では各オブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィック）ごとにスクリーンやエッジ強調の設定を行います。




| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［スクリーン］ | ［スムーズ］/［精細］/［高精細］ | イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。 |
| ［エッジ強調］ | オン / オフ | イメージ / テキスト / グラフィックスのエッジの強調を指定します。 |

## 10.4.9 ［その他］タブ




| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［MS-Excel によるジョブ分割を抑制する］ | オン / オフ | Microsoft Excel でページ設定の異なる複数のシートを同時に印刷する場合に、データによっては、シートごとのジョブに分割される場合があります。この機能にチェックすると、ジョブの分割をできるだけ抑制します。 |
| ［MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する］ | オン / オフ | Microsoft PowerPoint のデータにオーバーレイファイルを重ねて印刷する場合に、PowerPoint データの白背景がオーバーレイファイルを隠さないように、白色部分を除去します。チェックをはずすと、背景を除去せず、原稿データどおりに印刷します。 |
| ［電子メール通知］ | オン / オフ | ［電子メール通知］チェックボックスをチェックし、送信先のアドレスを設定すると、印刷終了時に印刷が正常に完了したことを電子メールで通知します。 |
| ［極細線を描画する］ | オン / オフ | 縮小印刷する場合に、細い線がかすれることがあります。この機能にチェックすると、細い線が消えてしまうことを防ぎます。 |
| ［バージョン情報...］ | － | プリンタードライバーのバージョン情報を表示します。 |

参考

- ［MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する］の機能は PCL/XPS ドライバーの機能です。
- ［極細線を描画する］の機能は PCL ドライバーのみの機能です。
- ［MS-Excel によるジョブ分割を抑制する］、［MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する］の設定は、Windows XP Professional ×64、Windows Vista ×64、Windows 7 ×64、Windows Server 2003 ×64、Windows Server 2008 ×64、Windows Server 2008 R2 では使用できません。
- ［MS-Excel によるジョブ分割を抑制する］は、［プリンタ］（Windows 7/Server 2008 R2 の場合は［デバイスとプリンター］、Windows XP/Server 2003 の場合は［プリンタと FAX］）ウィンドウで、プリンタードライバーの設定ダイアログを表示した場合のみ変更できます。

# 11 Mac OS X の印刷機能

# 11 Mac OS X の印刷機能

OS X 用の PS プリンタードライバーの機能について説明します。

## 11.1 印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

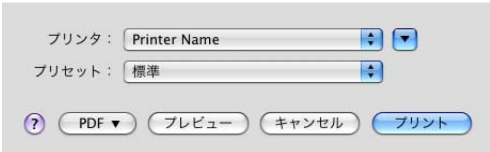
1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから [プリント] をクリックします。

➔ メニューがない場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

[プリント] 画面が表示されます。

2 [プリンタ :] で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

➔ 目的のプリンターが選択されていないときは、選択します。




➔ プリンターが表示されないときは、[プリントとファクス]、[プリントとスキャン]、[プリンタ設定ユーティリティ] または [プリントセンター] でプリンターを選択します。詳しくは、6-4 ページ、6-11 ページをごらんください。

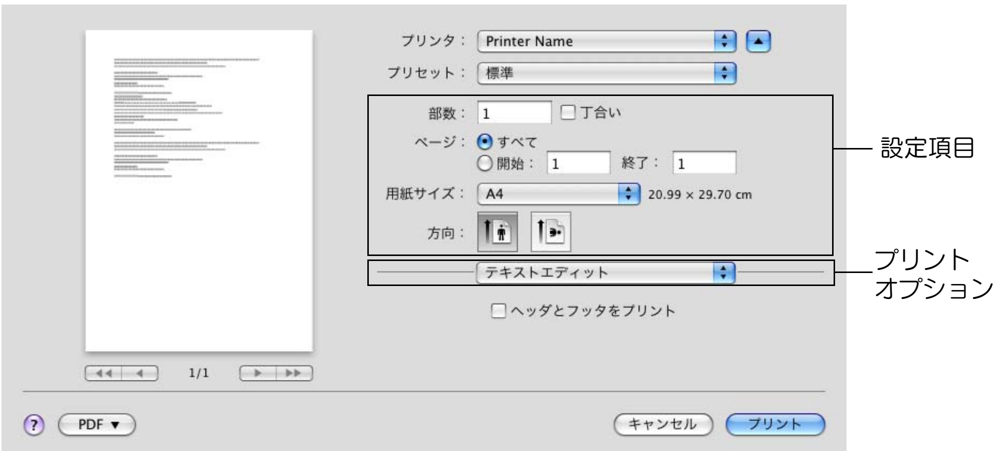
➔ [プリント] 画面は、OS のバージョンやアプリケーションソフトウェアによって異なります。

➔ プリンター名は変更することができます。画面ではプリンター名を「Printer Name」に変更した例で説明しています。

3 印刷するページ範囲や部数を設定します。

➔ OS X 10.5/10.6 で設定項目が表示されていない場合は、[プリンタ :] 右側の ▼ をクリックします。

➔ OS X 10.7 で設定項目がすべて表示されていない場合は、[ 詳細を表示 ] をクリックします。




4 必要に応じて設定画面を切換えて、プリンタードライバーの設定を変更します。

➔ プリントオプションのポップアップメニューを変更すると、プリンタードライバーのほかの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、11-6 ページをごらんください。

➔ [プリント] 画面で変更したプリンタードライバーの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

5 [プリント] をクリックします。

印刷が実行され、本機のデータランプが点滅します。

# 11.2　プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションなどの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

**重要**

本機に装着されているオプションが［プリンタ情報］で設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

## 11.2.1　オプション設定

1 ［プリントとファクス］画面（または［プリントとスキャン］/［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面）を開きます。

➔ ［プリントとファクス］/［プリントとスキャン］画面は、［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］から開きます（OS X 10.4/10.5/10.6/10.7）。

➔ ［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面は、［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］から開きます。

2 ［プリンタ情報］画面を表示します。

➔ ［プリントとファクス］/［プリントとスキャン］画面の場合は、［オプションとサプライ ...］（OS X 10.5/10.6/10.7）、［プリンタ設定 ...］（OS X 10.4）をクリックします。

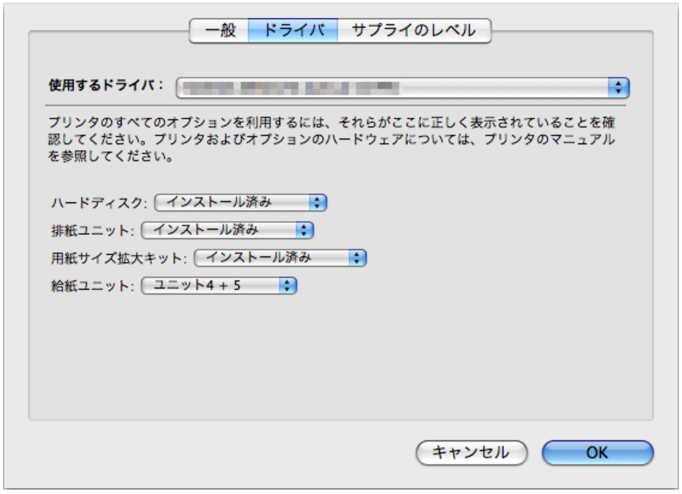
➔ ［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面の場合は、［プリンタ］メニューの［情報を見る］を選択します。

3 ［インストール可能なオプション］画面を表示します。

➔ OS X 10.5/10.6/10.7 の場合は、［ドライバ］をクリックします。

➔ OS X 10.2/10.3/10.4 の場合は、［インストール可能なオプション］を選択します。

4 装着しているオプションを設定します。




5 ［OK］または［変更を適用］をクリックしてから［プリンタ情報］画面を閉じます。

参考

- オプションの選択は必ず行ってください。

## 11.2.2　デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

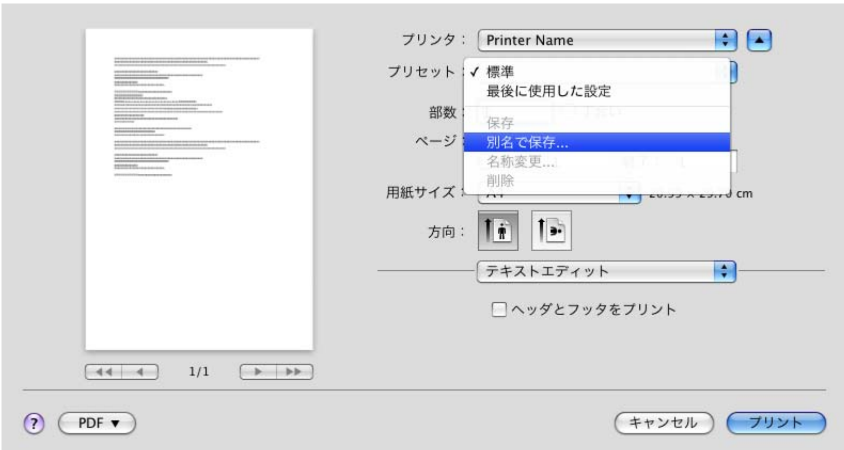
設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの設定を保存します。OS X の場合は、用紙の設定はデフォルト設定として登録できますが、そのほかの印刷機能の設定は［プリセット］機能で設定を保存し、必要に応じて呼出して利用します。

［ページ設定］画面の設定は、［設定 :］から［デフォルトとして保存］を選択することで保存します。




［プリント］画面から設定するプリンタードライバーの機能は、［プリセット :］から［別名で保存 ...］を選択することで保存します。
OS X 10.7 の場合は、［現在の設定をプリセットとして保存 ...］を選択します。

この設定は、使用するときに［プリセット :］から選択します。




**参照**
プリンタードライバーの機能や設定項目については、11-6 ページをごらんください。

## 11.3　カスタムサイズの追加方法

用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、カスタム用紙サイズを登録します。

1　［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

2　カスタムサイズの登録画面を開きます。

➔ OS X 10.4/10.5/10.6/10.7 の場合は、用紙サイズの一覧から［カスタムサイズを管理 ...］を選択します。

➔ OS X 10.2/10.3 の場合は、［設定 :］から［カスタム用紙サイズ］を選択します。

3　［+］（OS X 10.4/10.5/10.6/10.7）または［新規］（OS X 10.2/10.3）をクリックします。

4　用紙サイズの名称を入力します。

A4、Custom など、既存の定型紙の名称は使用できません。

5　各項目を設定します。

➔ ページサイズ（用紙サイズ）：任意の用紙サイズを設定します。

➔ プリンタの余白：用紙の余白を設定します。




6　［OK］（OS X 10.4/10.5/10.6/10.7）または［保存］（OS X 10.2/10.3）をクリックします。

カスタム用紙サイズが登録され、［ページ属性］の用紙サイズで選択できるようになります。

参考

- OS X 10.5/10.6/10.7 の場合は、［プリント］画面の［用紙サイズ :］でも［カスタムサイズを管理 ...］を選択できます。

# 11.4　設定項目詳細

プリンタードライバーの機能は、アプリケーションソフトウェアで［ファイル］メニューから［ページ設定］または［プリント］を選択した時に表示される各画面で設定します。

## 11.4.1　［ページ属性］

［ファイル］メニューの［ページ設定］で選択します。




| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［用紙サイズ :］ | 本機で利用できる定型用紙サイズとカスタムサイズに登録してある用紙サイズ | 印刷する用紙サイズを設定します。 |
| | カスタムサイズを管理（OS X 10.4/10.5/10.6/10.7） | |
| ［方向 :］ | 縦、横 | 原稿の用紙方向を設定します。 |
| ［拡大縮小 :］ | ー<br>（OS X のバージョンで異なります。） | 拡大・縮小率を設定します。 |

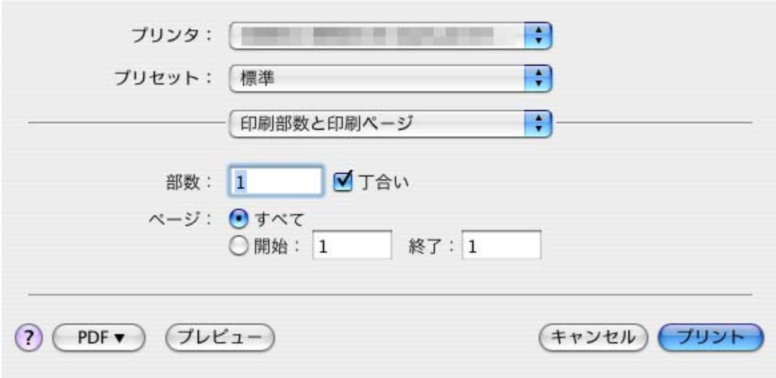
参考

- 用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズの登録については、11-5 ページをごらんください。
- OS X 10.5/10.6/10.7 の場合は、プリント画面でも［用紙サイズ］と［方向］を設定できます。

**参照**

トレイにセット可能な用紙サイズについては、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

## 11.4.2 ［印刷部数と印刷ページ］




| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［部数 :］ | 1 ～ 9999 | 印刷する部数を設定します。 |
| ［丁合い］ | オン / オフ | この機能は設定しないでください。<br>［プリンタの機能］の［ソート（1 部ごと）］で設定してください。 |
| ［ページ :］ | − | 印刷するページ範囲を設定します。 |

参考

- OS X 10.5/10.6/10.7 の場合は、［印刷部数と印刷ページ］の設定はありませんが、［部数：］、［ページ：］は常に表示される共通設定画面で設定ができます。
  また、［用紙サイズ :］、［方向 :］も表示されますが、［ページ属性］の機能と同じです。
- OS X 10.7 の場合は、［丁合い］は［用紙処理］に表示されます。
- OS X 10.5/10.6 で設定項目が表示されていない場合は、［プリンタ :］右側の をクリックします。
- OS X 10.7 で設定項目が表示されていない場合は、［詳細を表示］をクリックします。

## 11.4.3 ［レイアウト］



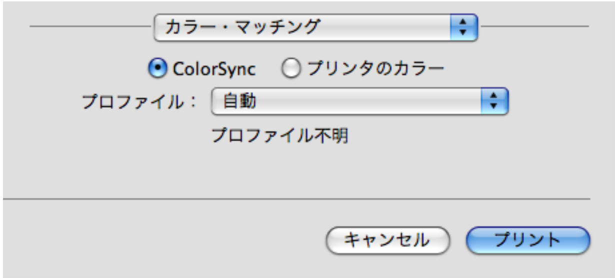

| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［ページ数／枚］ | − | 1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。例えば［2］を選択すると、1 枚の用紙に 2 ページ分が印刷されます。 |
| ［レイアウト方向］ | − | 1 枚の用紙に複数ページを印刷する場合に、ページをどのような方向、順番で印刷するかを選択します。 |
| ［境界線］ | ［なし］、［極細線］、［細線］、［極細 2 本線］、［細 2 本線］ | 1 枚の用紙に複数ページ印刷する際、各ページの周りに境界線を印刷する場合は、ポップアップメニューから境界線の種類を選択します。 |
| ［両面］ | − | このプリンタードライバーでは使用しません。 |

| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［ページの方向を反転］ | オン / オフ | 印刷する方向を上下反転させます。 |
| ［左右反転］ | オン / オフ | 左右反転して印刷するかどうか指定します。 |

参考
- ［ページの方向を反転］は OS X 10.5/10.6/10.7 のみ設定できます。
- ［左右反転］は OS X 10.6/10.7 のみ設定できます。

## 11.4.4 ［カラー・マッチング］

参考
- この機能は、OS X 10.5/10.6/10.7 のみ設定できます。




| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［カラー・マッチング］ | ［ColorSync］ | コンピューターでカラーマッチングを行います。 |
| | ［プリンタのカラー］ | プリンターでカラーマッチングを行います。 |
| ［プロファイル］ | ［自動］、［その他のプロファイル］ | カラーマッチングを行うためのプロファイルを選択します。 |

## 11.4.5 ［ColorSync］

参考
- この機能は、OS X 10.3/10.4 のみ設定できます。

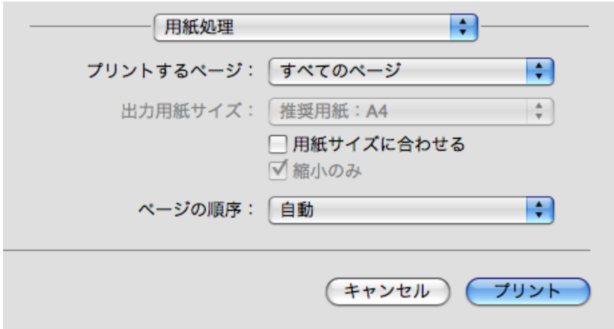



| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［カラー変換］ | ［標準］ | コンピューターでカラーマッチングを行います。 |
| | ［プリンタのカラー］ | プリンターでカラーマッチングを行います。 |
| ［Quartz フィルタ］ | ［Black & White］、［Blue Tone］、［Gray Tone］、［Lightness Decrease］、［Lightness Increase］、［Reduce File Size］、［Sepia Tone］、［フィルタを追加］ | Quartz フィルタを選択し、色調を変更できます。 |

## 11.4.6 ［用紙処理］

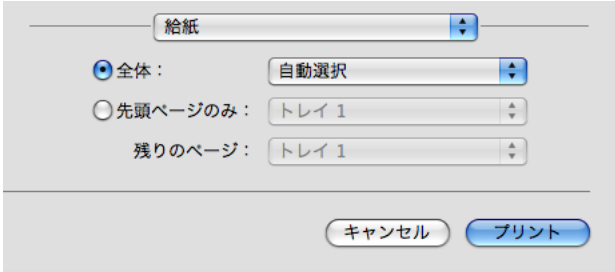
参考

- この機能は、OS X 10.3/10.4/10.5/10.6/10.7 のみ設定できます。




| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| ［丁合い］<br>（OS X 10.7） | オン / オフ | この機能は設定しないでください。<br>［プリンタの機能］の［ソート（1 部ごと）］で設定してください。 |
| ［プリントするページ］ | ［すべてのページ］、［奇数ページのみ］、［偶数ページのみ］ | 印刷するページを選択します。 |
| ［プリント］（OS X 10.3/10.4） | | |
| ［出力用紙サイズ］ | ［用紙サイズに合わせる］ | ソフトウェアが作成した書類のサイズを使用するときに選択します。<br>書類の用紙サイズを、本機で使用されている用紙サイズに合わせるときに選択します。本機で使用されている用紙サイズを指定します。 |
| | ［縮小のみ］ | 印刷サイズを縮小する場合に選択してください。 |
| ［ページの順序］ | ［自動］、［通常］、［逆送り］ | ［自動］：文書のページ順序で印刷するときに選択します。<br>［通常］：通常のページ順序で印刷するときに選択します。<br>［逆送り］：印刷するページの順番を逆にして印刷するときに選択します。 |

## 11.4.7 ［給紙］

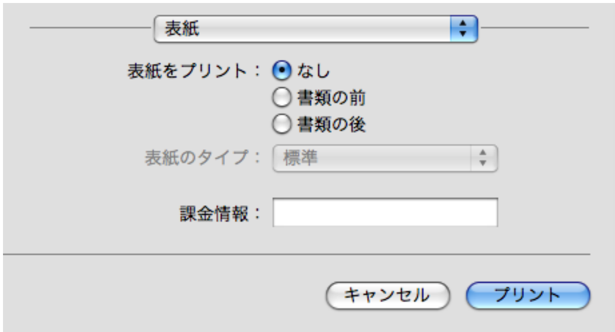



| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［全体］<br>［すべてのページ］（OS X 10.7） | 自動選択、トレイ 1（手差し）、トレイ 1 ～ 5 | すべてのページで使用する給紙トレイを選択します。<br>装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。 |
| ［先頭ページのみ］ | トレイ 1（手差し）、トレイ 1 ～ 5 | 最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページで使用する給紙トレイを選択します。<br>装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。 |
| ［残りのページ］ | トレイ 1（手差し）、トレイ 1 ～ 5 | 最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページ以外で使用する給紙トレイを選択します。<br>装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。 |

## 11.4.8 ［表紙］

参考

- この機能は、OS X 10.3/10.4/10.5/10.6/10.7 のみ設定できます。




| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［表紙をプリント］ | ［なし］、［書類の前］、［書類の後］ | 書類の前か、書類の後に表紙を印刷します。 |
| ［表紙のタイプ］ | ［社外秘］、［部外秘］、［機密］、［標準］、［最高機密］、［未分類］ | 表紙の種類を選択します。 |
| ［課金情報］ | － | 表紙に印刷される課金情報を設定します。 |

## 11.4.9 ［エラー処理］

参考

- この機能は、OS X 10.2/10.3/10.4 のみ設定できます。

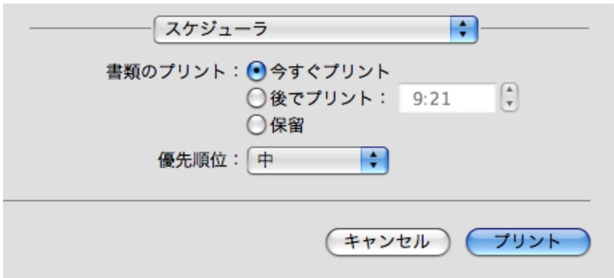



| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［PostScript エラー］ | ［特にレポートは行わない］、［詳細レポートをプリント］ | PostScript エラーを出力するかどうかを選択します。 |
| ［トレイの切り換え］ | − | このプリンタードライバーでは使用しません。 |

## 11.4.10 ［スケジューラ］

参考

- この機能は、OS X 10.2/10.3/10.4/10.5/10.6 のみ設定できます。




| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［書類をプリント］ | ［今すぐプリント］、［後でプリント］、［保留］ | ［今すぐプリント］：すぐに印刷を開始します。<br>［後でプリント］：印刷を開始する時刻を指定します。<br>［保留］：プリントジョブを保留します。 |
| ［優先順位］ | ［至急］、［高］、［中］、［低］ | 保留しているジョブを印刷する時の優先順位を設定します。 |

## 11.4.11 ［原稿画質］




| 機能名称 | | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|---|
| ［明度］ | | – | 明るさを設定します。 |
| ［スクリーン］ | ［イメージ］ | ［スムーズ］/［精細］/［高精細］ | イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。 |
| | ［テキスト］ | ［スムーズ］/［精細］/［高精細］ | |
| | ［グラフィックス］ | ［スムーズ］/［精細］/［高精細］ | |
| ［エッジ強調］ | ［イメージ］ | オン / オフ | イメージ / テキスト / グラフィックスのエッジの強調を指定します。 |
| | ［テキスト］ | オン / オフ | |
| | ［グラフィックス］ | オン / オフ | |
| ［トナー節約］ | | オン / オフ | 印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。 |
| ［エッジ強度］ | | ［オフ］、［弱］、［中］、［強］ | エッジを強調する場合、［エッジ強度］チェックボックスをチェックし、付加するエッジ強調ドットの強さを設定します。<br>［弱］：エッジ強調ドットを弱めに付加します。<br>［中］：エッジ強調ドットを付加します。<br>［強］：エッジ強調ドットを強めに付加します。 |

## 11.4.12 ［セキュリティ］




| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［ジョブの印刷 / 保存］ | ［印刷］ | 通常の印刷を行います。 |
| | ［機密印刷］ | プリントジョブをハードディスクにパスワードを設定して保存します。<br>［機密印刷］ジョブを印刷すると、機密印刷ジョブはハードディスクから削除されます。 |
| | ［試し印刷］ | 1 部のみ印刷を行い、ハードディスクへジョブを保存します。 |
| | ［認証＆プリント］ | ユーザー認証情報を付加したプリントジョブをハードディスク保存します。<br>ユーザー認証後にプリントジョブが出力されます。 |
| ［機密プリント］ | − | 機密印刷を行うときに、機密印刷パスワードを設定します。 |
| ［ユーザー認証］ | − | 本機で［ユーザー認証］を設定している場合のユーザー名／パスワードを設定します。チェックボックスをオンにすると入力できます。 |
| ［部門管理］ | − | 本機で［部門認証］を設定している場合の部門名／パスワードを設定します。チェックボックスをオンにすると設定画面が表示されます。 |

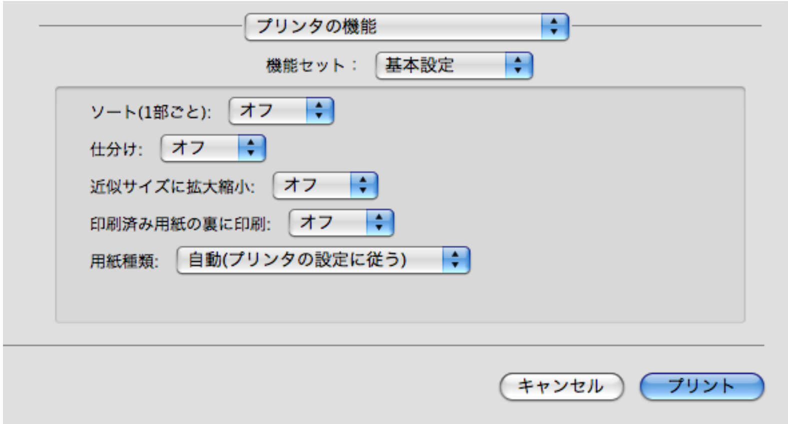
参考

- OS X 10.3/10.4 から機密印刷を行う場合、パスワードに「+」または「"」（ダブルクォーテーション）を含む文字列を入力して印刷や保存をおこなうと、本機側でエラーとなり、プリントジョブは破棄されます。

## 11.4.13［プリンタの機能］

［基本設定］設定画面、［レイアウト］設定画面または［仕上げ］設定画面を切換えて表示します。

### ［基本設定］

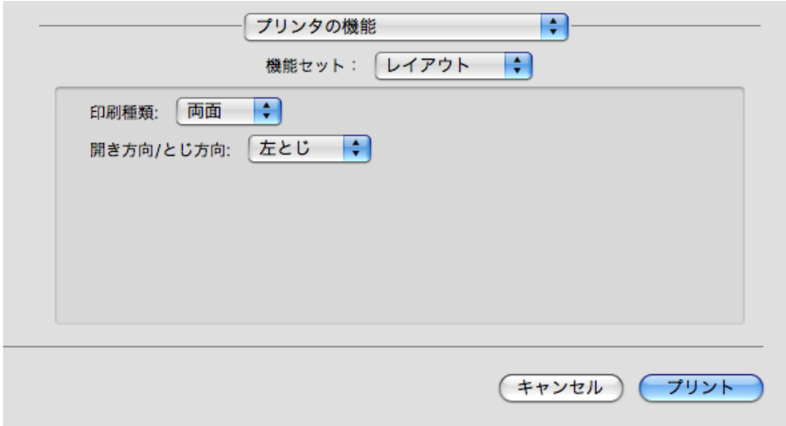



| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［ソート（1 部ごと)］ | ［オン］/［オフ］ | 複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。 |
| ［仕分け］ | ［オン］/［オフ］ | 複数部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。 |
| ［近似サイズに拡大縮小］ | ［オン］/［オフ］ | トレイにある用紙サイズがページサイズに合わない場合、自動的にページを縮小もしくは拡大して、適切な用紙を選択します。 |
| ［印刷済み用紙の裏に印刷］ | ［オン］/［オフ］ | 用紙の裏面に印刷するときは、この項目を設定します。 |
| ［用紙種類］ | 自動、本機で利用できる用紙種類 | 用紙の種類を選択します。 |

参考

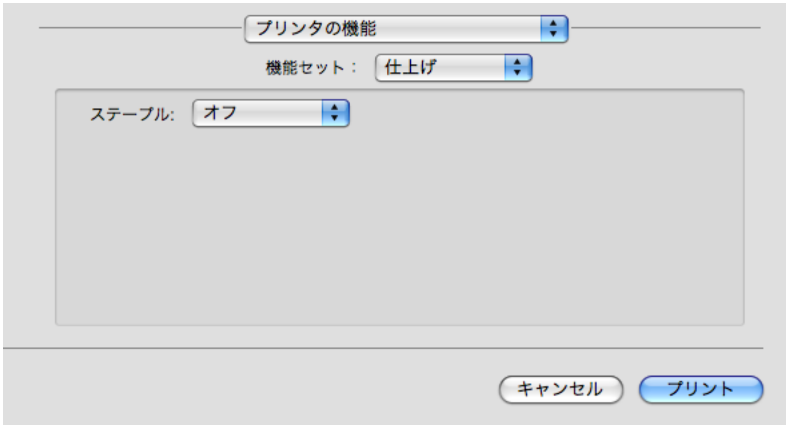
- ［印刷済み用紙の裏に印刷］を行う場合は、本機で印刷した用紙の裏面をご使用ください。
  なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。

## ［レイアウト］




| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［印刷種類］ | ［片面］／［両面］ | 片面 / 両面印刷を設定します。用紙節約のため、両面印刷が初期設定になっています。 |
| ［開き方向 / とじ方向］ | ［左とじ］／［上とじ］／［右とじ］ | とじ位置を設定します。 |

## ［仕上げ］




| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［ステープル］ | ［オフ］、［左コーナー］、［右コーナー］、［2 点］ | ステープルを設定します。 |

参考

- ［ステープル］機能は、オプションのフィニッシャー FS-529 が装着されている場合のみ使用可能となります。

# 12 Linux の印刷機能

# 12　Linux の印刷機能

Linux 用の PS プリンタードライバーの機能について説明します。

参考

- ここでは、Red Hat Enterprise Linux 5 での操作を例に説明します。

## 12.1　印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

アプリケーションによって、印刷ダイアログおよび印刷設定ダイアログの内容が異なります。

### OpenOffice の場合

参考

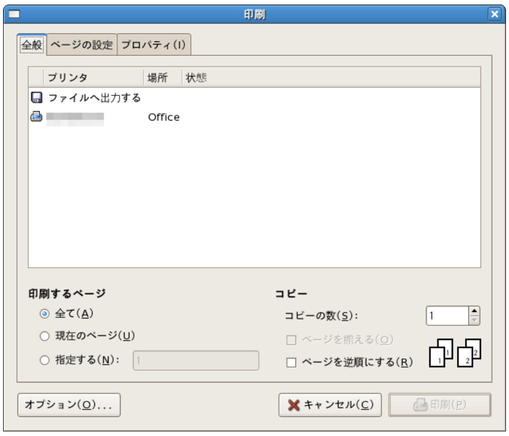
- 下記は、Red Hat Enterprise Linux 5 上で OpenOffice 2.0.4 を使用した場合の手順です。お使いの OS のバージョンによっては下記の手順と操作が異なる場合があります。

1 ［アプリケーション］メニューから、［オフィス ］－［Word Processor］を選択します。

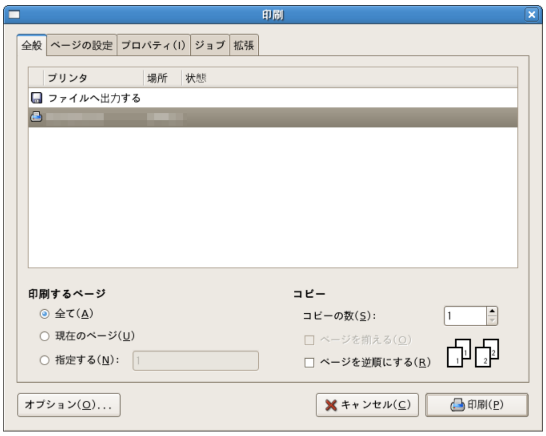
2 印刷するドキュメントを開きます。

3 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。




4 プリンター名を選択します。




5 ［印刷］をクリックしてドキュメントを印刷します。

印刷が実行され、本機のデータランプが点滅します。

## 12.2　プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションなどの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

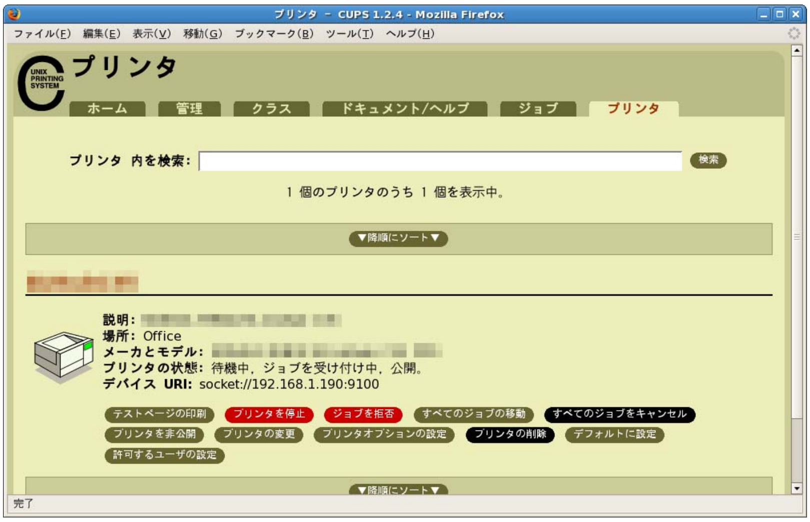
**重要**
本機の機種名や装着されているオプションが設定されていないと、オプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

参考
- 設定項目の名称や表示順序は、お使いの OS やそのバージョン、または CUPS のバージョンによって異なります。
- ここでは、本機固有の印刷機能について説明します。

### 12.2.1　設定ページの表示方法

1　Web ブラウザーを起動します。

2　URL に http://localhost:631 と入力したあと、［プリンタの管理］をクリックします。
　設定ツールのプリンター管理用 Web ページが表示されます。




3　［プリンタオプションの設定］をクリックします。
　プリンタードライバーの設定ページが表示されます。

### 12.2.2　［インストールされたオプション］

| 項目名 | 機能 |
|---|---|
| ［給紙ユニット］ | 本機にオプションの**給紙キャビネット PC-211** が装着されている場合は、［給紙ユニット 4 + 給紙ユニット 5］を選択します。 |
| ［ハードディスク］ | 本機では［インストール済み］を選択します。 |
| ［排紙ユニット］ | 本機にオプションの**フィニッシャー FS-529** が装着されている場合は、［インストール済み］を選択します。 |
| ［用紙サイズ拡大キット］ | 本機では［インストール済み］を選択します。 |

## 12.2.3 ［General］

| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［近似サイズに拡大縮小］ | ［オン］/［オフ］ | ［オン］が選択されている場合、トレイにある用紙サイズがページサイズに合わないときに、自動的にページを縮小もしくは拡大して適切な用紙を選択します。 |
| ［解像度］ | ［高品質］ | 印刷するときの解像度を表示しています。 |
| ［用紙種類］ | 本機で利用できる用紙種類 | 印刷に使用する用紙種類を選択します。 |
| ［用紙トレイ］ | 自動、トレイ 1（手差し）、トレイ 1 ～ 5 | 使用する給紙トレイを選択します。<br>装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。 |
| ［方向］ | ［縦］/［横］ | 原稿の用紙方向を設定します。 |
| ［印刷済み用紙の裏に印刷］ | ［オン］/［オフ］ | 一度印刷した用紙の裏面に印刷するかどうかを設定します。 |
| ［用紙サイズ］ | 本機で利用できる定型用紙サイズとカスタムサイズに登録してある用紙サイズ | 用紙サイズを設定します。 |
| ［ソート（1 部ごと）］ | ［オン］/［オフ］ | 複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。 |
| ［開き方向 / とじ方向］ | ［左とじ］、［上とじ］、［右とじ］ | とじ位置を設定します。 |
| ［仕分け］ | ［オン］/［オフ］ | 複数部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。 |
| ［印刷種類］ | ［片面］/［両面］ | 片面 / 両面印刷を設定します。用紙節約のため、両面印刷が初期設定になっています。 |
| ［ステープル］ | ［オフ］、［左コーナー］、［右コーナー］、［2 点］ | ステープルを設定します。 |
| ［明度］ | [-15%]、[-10%]、[-5%]、[0%]、[5%]、[10%]、[15%] | 印刷する画像の明るさ（明度）を設定します。 |
| ［エッジ強度］ | ［オフ］、［低］、［中］、［高］ | エッジを強調する場合、付加するエッジ強調ドットの強さを設定します。<br>［低］：エッジ強調ドットを弱めに付加します。<br>［中］：エッジ強調ドットを付加します。<br>［高］：エッジ強調ドットを強めに付加します。 |
| ［トナー節約］ | ［オン］/［オフ］ | 印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。 |

参考

- ［ステープル］機能は、オプションの**フィニッシャー FS-529** が装着されている場合のみ使用可能となります。

## 12.2.4 ［イメージ設定］

| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
|---|---|---|
| ［イメージ スクリーン］ | ［高精細］、［精細］、［スムーズ］ | 画像データの中間色の再現方法を設定します。 |
| ［イメージ エッジ強調］ | ［オン］/［オフ］ | イメージのエッジ強調を行うかどうかを設定します。 |

## 12.2.5 ［テキスト設定］

| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| ［テキスト スクリーン］ | ［高精細］、［精細］、［スムーズ］ | テキストの中間色の再現方法を設定します。 |
| ［テキスト エッジ強調］ | ［オン］／［オフ］ | テキストのエッジ強調を行うかどうかを設定します。 |

## 12.2.6 ［グラフィックス設定］

| 機能名称 | 選択肢 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| ［グラフィックス スクリーン］ | ［高精細］、［精細］、［スムーズ］ | グラフィックスの中間色の再現方法を設定します。 |
| ［グラフィックス エッジ強調］ | ［オン］／［オフ］ | グラフィックスのエッジ強調を行うかどうかを設定します。 |

# 13 機能詳細説明

# 13 機能詳細説明

プリンタードライバーと本機のパネル操作を組み合わせる必要があるなど、特に注意が必要な機能について説明します。

## 13.1 試し印刷

試し印刷機能は、複数部数を印刷するときに、1 部のみ出力して残り部数を待機する機能です。印刷結果を確認してから残り部数を出力できるので、大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に便利です。

試し印刷は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで残り部数の出力を実行します。

### 13.1.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー（XPS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD コニカミノルタ製プリンタードライバー

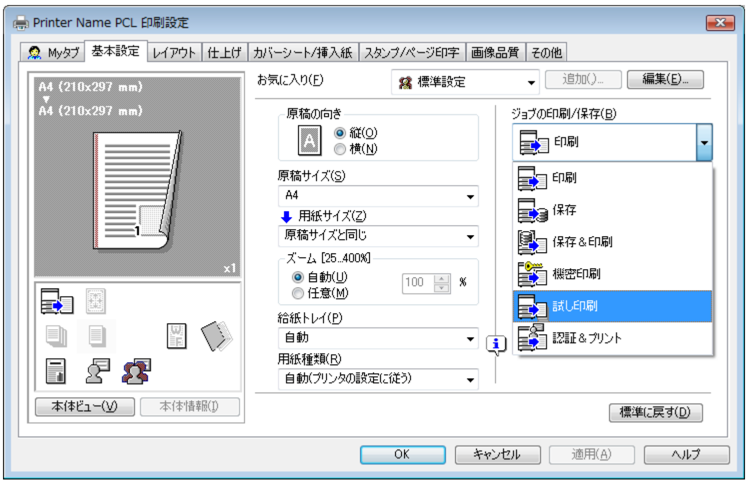
以下の設定で印刷します。

- ジョブの印刷 / 保存：［試し印刷］
- 印刷部数：複数部数

#### Windows の場合

1 ［基本設定］タブを表示します。

2 ［ジョブの印刷 / 保存］で［試し印刷］を選択します。




3 目的の部数を指定して印刷します。

1 部のみ出力され、内容を確認できます。

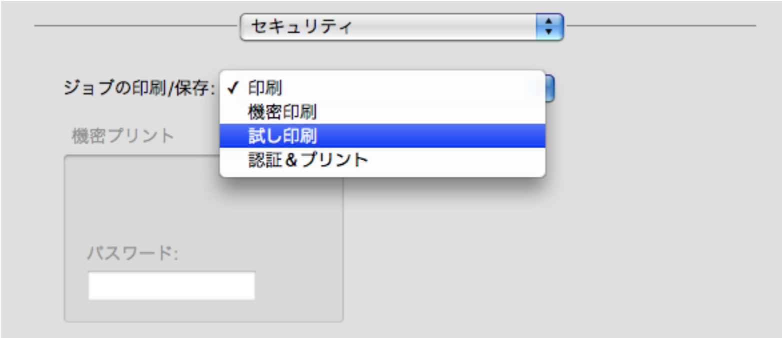
**参照**

本機に保存されたジョブの出力方法については、13-8 ページをごらんください。

## Mac OS X の場合

1 ［セキュリティ］画面を表示します。

2 ［ジョブの印刷 / 保存］で［試し印刷］を選択します。




3 目的の部数を指定して印刷します。

1 部のみ出力され、内容を確認できます。

**参照**

本機に保存されたジョブの出力方法については、13-8 ページをごらんください。

# 13.2 機密印刷

機密印刷機能は、印刷ジョブを本機のハードディスクに保存する機能です。操作パネルからパスワードを入力することで出力するので、機密性の高い文書の出力に便利です。

また、機密印刷はパスワードが暗号化されて送信されるため、高い安全性が確保できます。

機密印刷は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで出力を実行します。

**参照**

プリンタードライバーの設定は、10-12 ページをごらんください。

セキュリティー強化設定については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。

## 13.2.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー(PCL ドライバー)
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー(PS ドライバー)
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー(XPS ドライバー)
- Mac OS X 用 PostScript PPD コニカミノルタ製プリンタードライバー

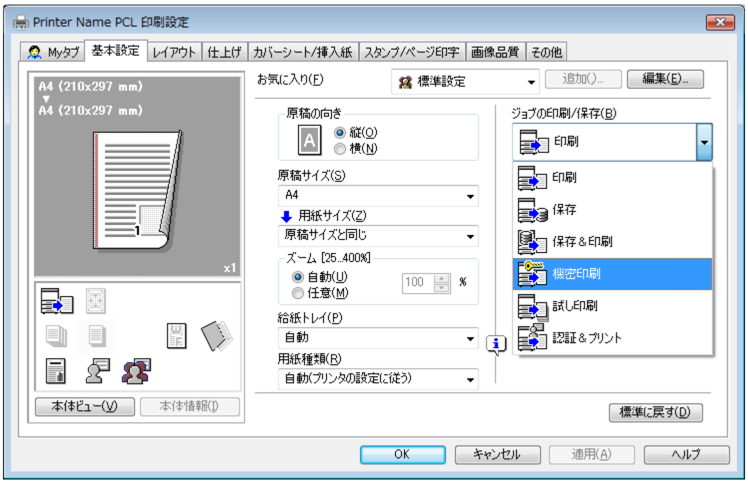
以下の設定で印刷します。

- ジョブの印刷 / 保存:[機密印刷]

### Windows の場合

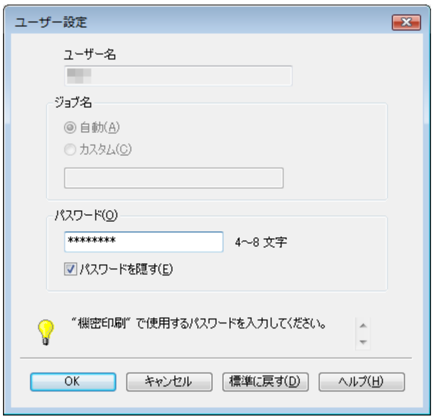
1 [基本設定]タブを表示します。

2 [ジョブの印刷 / 保存]で[機密印刷]を選択します。




3 [ユーザー設定]をクリックします。

4　パスワードボックスに機密印刷パスワードを入力します。




➔ 本機側で［パスワード規約］が有効の場合、セキュリティー印刷で使用可能なパスワードに制限があり、パスワード規約を満たさないパスワードを入力するとジョブが消去されます。［パスワード規約］については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
➔ 本機でユーザー認証機能を有効にしている場合は、［ユーザー認証 / 部門管理設定］をクリックし、ユーザー名とパスワードを入力してください。
➔ 本機でユーザー認証機能を有効にしているとき、プリンタードライバーから、ユーザー名に「"」（ダブルクォーテーション）を含むユーザーを指定して、印刷や保存をおこなうと、本機側でログインエラーとなり、プリントジョブは破棄されます。

5　印刷します。

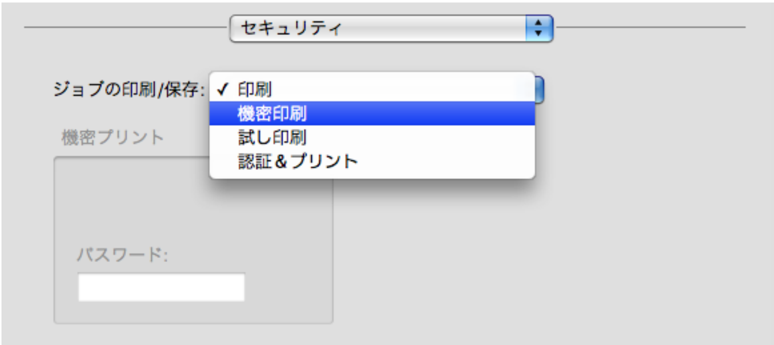
➔ 入力されたユーザー名に対してユーザーパスワードが一致していない場合、機密印刷ジョブは本機に保存されず消去されます。

**参照**
本機に保存されたジョブの出力方法については、13-8 ページをごらんください。

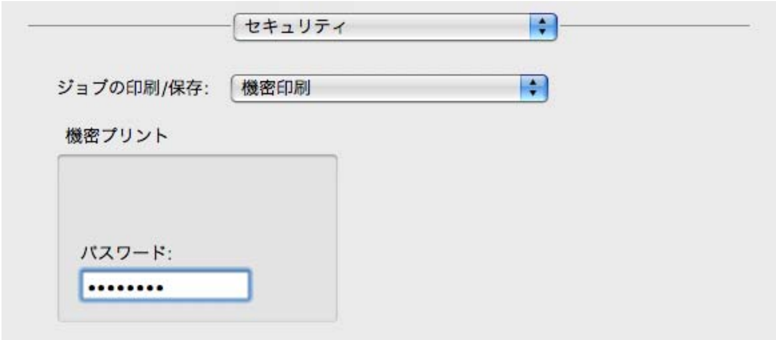
## Mac OS X の場合

1　［セキュリティ］画面を表示します。

2　［ジョブの印刷 / 保存］で［機密印刷］を選択します。



3　パスワードボックスに機密印刷パスワードを入力します。




→ 本機側で［パスワード規約］が有効の場合、セキュリティー印刷で使用可能なパスワードに制限があり、パスワード規約を満たさないパスワードを入力するとジョブが消去されます。［パスワード規約］については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
→ 本機でユーザー認証機能を有効にしている場合は、［ユーザー認証］のチェックボックスをオンにして、ユーザー名とパスワードを入力してください。
→ 本機でユーザー認証機能を有効にしているとき、プリンタードライバーから、ユーザー名に「"」（ダブルクォーテーション）を含むユーザーを指定して、印刷や保存をおこなうと、本機側でログインエラーとなり、プリントジョブは破棄されます。
→ OS X 10.3/10.4 から機密印刷を行う場合、パスワードに「+」または「"」（ダブルクォーテーション）を含む文字列を入力して印刷や保存をおこなうと、本機側でエラーとなり、プリントジョブは破棄されます。

4　印刷します。

→ 入力されたユーザー名に対してユーザーパスワードが一致していない場合、機密印刷ジョブは本機に保存されず消去されます。

**参照**

本機に保存されたジョブの出力方法については、13-8 ページをごらんください。

## 13.3　保存、保存＆印刷

保存、保存＆印刷機能は、印刷ジョブを本機のハードディスクに保存する機能です。

保存、保存＆印刷は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで出力を実行します。

### 13.3.1　プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 3 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー（XPS ドライバー）

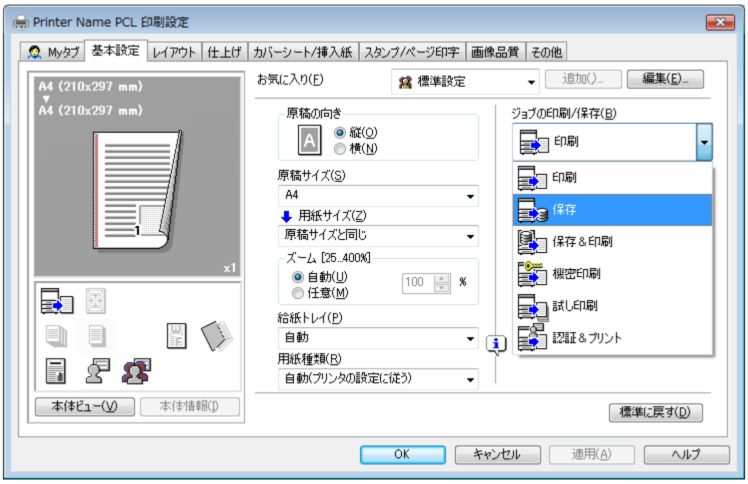
以下の設定で印刷します。

- ジョブの印刷 / 保存：[保存］または［保存＆印刷］

1　[基本設定］タブを表示します。

2　[ジョブの印刷 / 保存］で［保存］または［保存 & 印刷］を選択します。

➔ 保存と印刷を同時に実行したいときは［保存＆印刷］を選択します。




3　印刷します。

**参照**

本機に保存されたジョブの出力方法については、13-8 ページをごらんください。

## 13.4　操作パネルからのジョブ呼び出し

［試し印刷］、［機密印刷］、［保存］、［保存＆印刷］の各機能で本機に保存されたジョブは、共通の手順で操作パネルから呼び出し、印刷することができます。

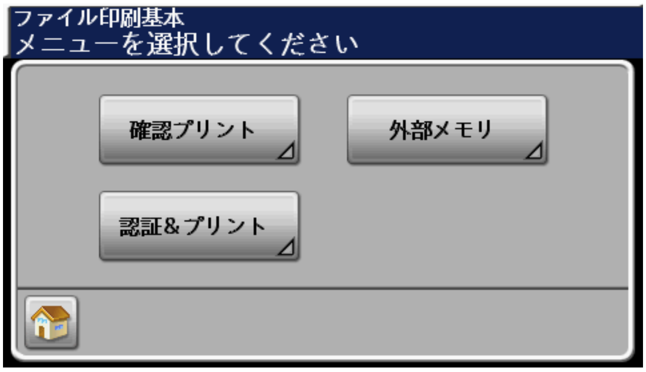
参考

- 操作パネルの各キーのはたらきについては、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

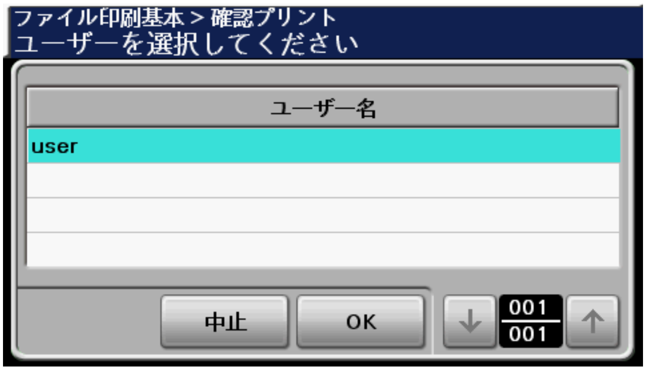
1 ［ユーザー認証］が設定されている場合は、登録ユーザーまたはパブリックユーザーでログインします。

2 ホーム画面で［USB/HDD］を押します。

3 ［確認プリント］を押します。

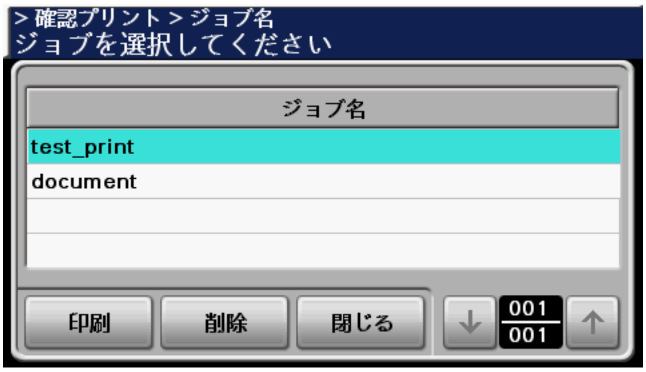



4 ジョブを送信したユーザーを一覧から選択します。




5 ［OK］を押します。

6 印刷するジョブを選択します。



7　［印刷］を押します

➔ 印刷をせずにジョブを削除する場合は、［削除］を押します。
➔［機密印刷］ジョブの場合は、パスワード画面が表示されます。パスワードを入力してください。

8　印刷部数を設定し、［OK］を押します。



# 13.5　ユーザー認証を設定している本機で印刷する

本機側で［ユーザー認証］が設定されている場合、印刷時にユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー（XPS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD コニカミノルタ製プリンタードライバー

参考

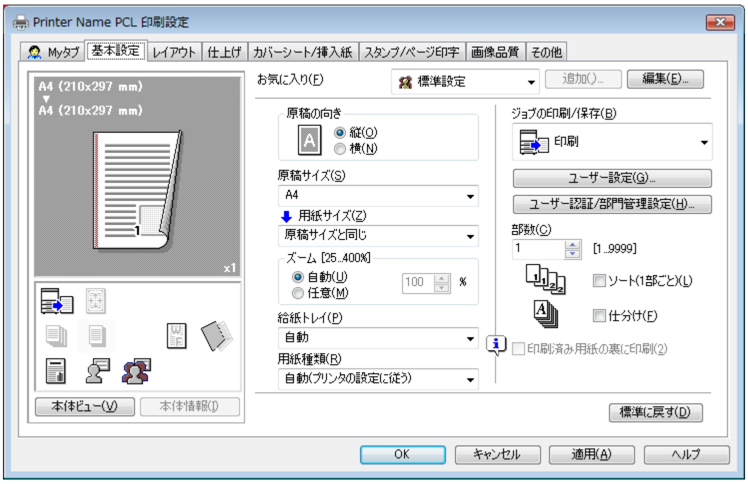
- 本機側の［ユーザー認証］で有効ではないユーザー名やパスワードを入力して印刷したり、または［ユーザー認証］を設定しないで印刷した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。
- 登録ユーザーであっても、印刷が許可されていない場合は印刷できません。［ユーザー認証］については、本機の管理者にお問合わせください。
- オプションの**認証装置**による［ユーザー認証］を行っている場合も、ユーザー名とパスワードを入力してください。詳しくは、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

## 13.5.1　プリンタードライバーの設定

### Windows の場合

1 ［基本設定］タブを表示します。

2 ［ユーザー認証 / 部門管理設定 ...］をクリックします。



3　［登録ユーザー］を選択し、本機で登録されている［ユーザー名］、［パスワード］を入力します。

→ ユーザー名は半角 64 文字 / 全角 32 文字まで、パスワードは半角 64 文字まで入力できます。
→ 本機でユーザー認証機能を有効にしているとき、プリンタードライバーから、ユーザー名に「"」（ダブルクォーテーション）を含むユーザーを指定して、印刷や保存をおこなうと、本機側でログインエラーとなり、プリントジョブは破棄されます。
→ パスワードはジョブごとではなく、デフォルト値としてプリンタードライバーに設定しておいても使用できます。




→ PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、サーバー管理者により指定されているユーザー情報の入力が必要です。設定により、表示される画面や入力項目が異なります。詳しくはサーバーの管理者にお問合せください。

4　［OK］をクリックして設定後、印刷します。

入力したユーザー名が本機側で有効になっているユーザー名である場合、ジョブは印刷され、指定したユーザーにカウントされます。

参考

- ユーザー認証が［装置情報］タブで設定されていないと、ユーザー認証が行えません。ユーザー認証を利用している場合は、必ず［装置オプション］で設定してください。詳しくは、10-4 ページをごらんください。
- ユーザー認証をサーバーで行っている場合は、サーバーの設定が必要です。［ユーザー認証サーバー設定 ...］をクリックし、サーバーを選択してください。
- ［検証］をクリックすると、本機と通信し入力したユーザーで認証可能かどうかを確認できます。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。
- PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、PageScope Web Connection の管理者モードで［ネットワーク］－［OpenAPI 設定］－［認証］を［オフ］に設定してください。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

## Mac OS X の場合

1 ［セキュリティ］画面を表示します。

2 ［ユーザー認証］のチェックボックスをオンにします。

3 ［登録ユーザー］を選択し、本機で登録されている［ユーザー名］、［パスワード］を入力します。

➔ ユーザー名は半角 64 文字 / 全角 32 文字まで、パスワードは半角 64 文字まで入力できます。

➔ 本機でユーザー認証機能を有効にしているとき、プリンタードライバーから、ユーザー名に「"」（ダブルクォーテーション）を含むユーザーを指定して、印刷や保存をおこなうと、本機側でログインエラーとなり、プリントジョブは破棄されます。




➔ PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、サーバー管理者により指定されているユーザー情報の入力が必要です。設定により、表示される画面や入力項目が異なります。詳しくはサーバーの管理者にお問合せください。

4 ［プリント］をクリックして印刷します。

入力したユーザー名が本機側で有効になっているユーザー名である場合、ジョブは印刷され、指定したユーザーにカウントされます。

参考

- PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、PageScope Web Connection の管理者モードで［ネットワーク］－［OpenAPI 設定］－［認証］を［オフ］に設定してください。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

## 13.6　部門管理機能を使用している本機で印刷する

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー（XPS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD コニカミノルタ製プリンタードライバー

参考

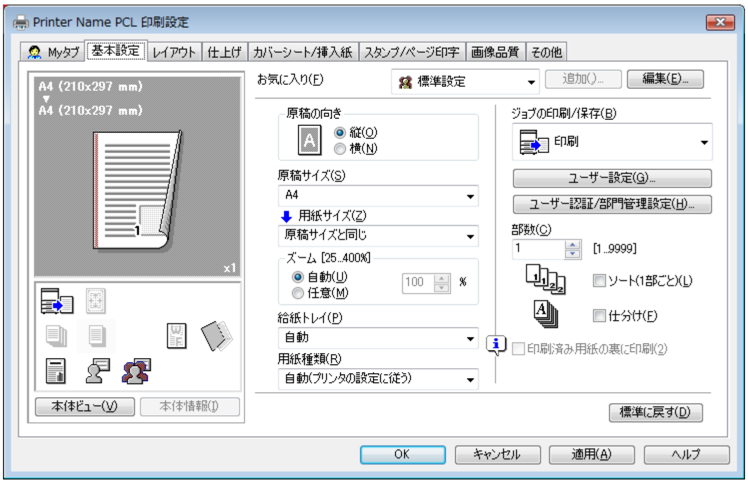
- 本機側の［部門管理］機能で有効ではない暗証番号を入力して印刷した、または［部門管理］を設定しないで印刷した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。
- 登録部門であっても、印刷が許可されていない場合は印刷できません。
- 部門管理については、本機の管理者にお問合わせください。

### 13.6.1　プリンタードライバーの設定

#### Windows の場合

1　［基本設定］タブを表示します。

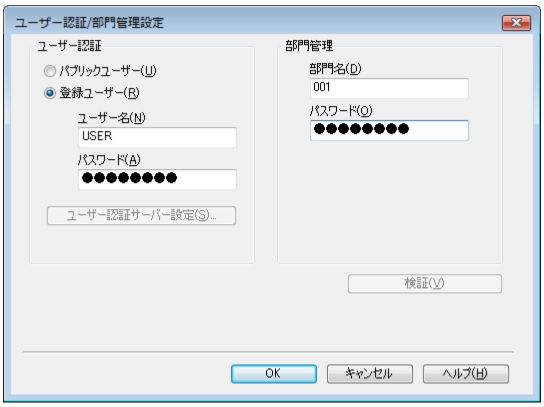
2　［ユーザー認証 / 部門管理設定 ...］をクリックします。




3　本機で登録されている［部門名］、［パスワード］を入力します。

➔ 部門名とパスワードは半角 8 文字まで入力できます。

➔ パスワードはジョブごとではなく、デフォルト値としてプリンタードライバーに設定しておいても使用できます。




4　［OK］をクリックして設定後、印刷します。

入力した暗証番号が本機側で有効になっている暗証番号である場合、ジョブは印刷され、指定した部門番号にカウントされます。

参考
- 部門管理が［装置情報］タブで設定されていないと、部門管理が行えません。部門管理を利用している場合は、必ず［装置オプション］で設定してください。詳しくは、10-4 ページをごらんください。
- ［検証］をクリックすると、本機と通信し入力した部門で認証可能かどうかを確認できます。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

## Mac OS X の場合

1 ［セキュリティ］画面を表示します。

2 ［部門管理］のチェックボックスをオンにします。

3 本機で登録されている［部門名］、［パスワード］を入力します。

➔ 部門名とパスワードは半角 8 文字まで入力できます。




4 ［プリント］をクリックして印刷します。

入力した暗証番号が本機側で有効になっている暗証番号である場合、ジョブは印刷され、指定した部門番号にカウントされます。

# 13.7　認証＆プリント

認証＆プリント機能を選択してプリントすると、本機の操作パネルでユーザー名とパスワードを入力して認証が成功してはじめてプリントが開始されるため、文書の機密性を保持することができます。

認証 & プリントを使用するには、本機でユーザー認証を行っている必要があります。

コンピューターから印刷する時は、プリンタードライバーでユーザー名とパスワードを入力した上で、認証＆プリントを指定します。

認証 & プリントの印刷データは、ハードディスクに保存され、プリント後にハードディスクから自動的に削除されます。本機の操作パネルからユーザー名とパスワードを入力して、本機にログインし、ハードディスクに保存されている印刷データをプリントすることもできます。

オプションの**認証装置 AU-201** による［ユーザー認証］を行っている場合は、認証装置に IC カードでタッチするだけで印刷またはログインできます。

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー（XPS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD コニカミノルタ製プリンタードライバー

**参照**

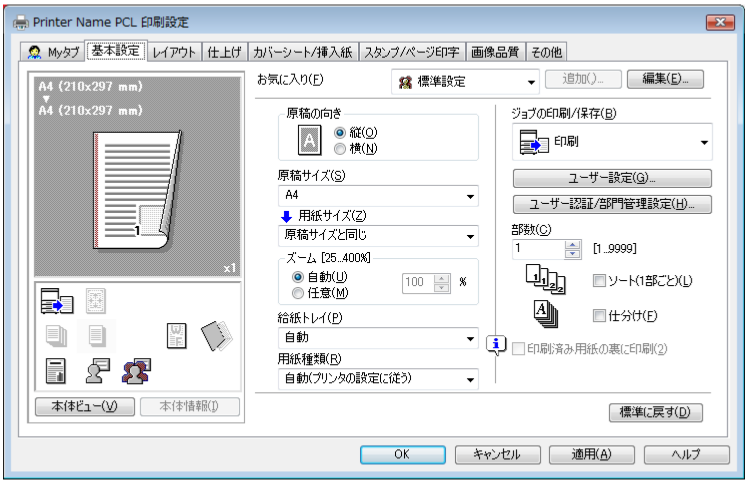
コンピューターから印刷する時に認証＆プリント機能を有効にするには、プリンタードライバーで設定します。詳しくは、13-15 ページをごらんください。

## 13.7.1　プリンタードライバーの設定

### Windows の場合

1　［基本設定］タブを表示します。

2　［ユーザー認証 / 部門管理設定 ...］をクリックします。

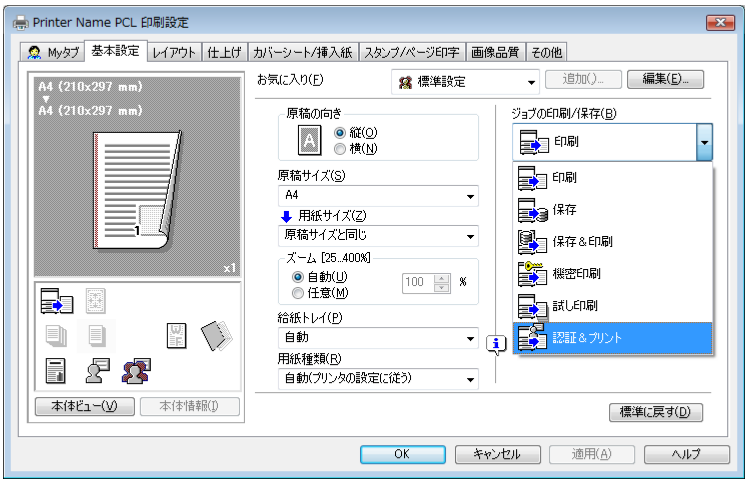


3 ［登録ユーザー］を選択し、本機で登録されている［ユーザー名］、［パスワード］を入力して［OK］をクリックします。



➔ ユーザー認証については、13-10 ページをごらんください。
➔ 本機でユーザー認証機能を有効にしているとき、プリンタードライバーから、ユーザー名に「"」（ダブルクォーテーション）を含むユーザーを指定して、印刷や保存をおこなうと、本機側でログインエラーとなり、プリントジョブは破棄されます。

4 ［ジョブの印刷 / 保存］で［認証＆プリント］を選択します。



5 印刷します。

## Mac OS X の場合

1 ［セキュリティ］画面を表示します。

2 ［ジョブの印刷 / 保存］で［認証＆プリント］を選択します。

3 ［ユーザー認証］のチェックボックスをオンにします。

4 ［登録ユーザー］を選択し、本機で登録されている［ユーザー名］、［パスワード］を入力します。




→ ユーザー認証については、13-10 ページをごらんください。
→ 本機でユーザー認証機能を有効にしているとき、プリンタードライバーから、ユーザー名に「"」（ダブルクォーテーション）を含むユーザーを指定して、印刷や保存をおこなうと、本機側でログインエラーとなり、プリントジョブは破棄されます。

5 ［プリント］をクリックして印刷します。

## 13.7.2　操作パネルからのジョブ呼び出し

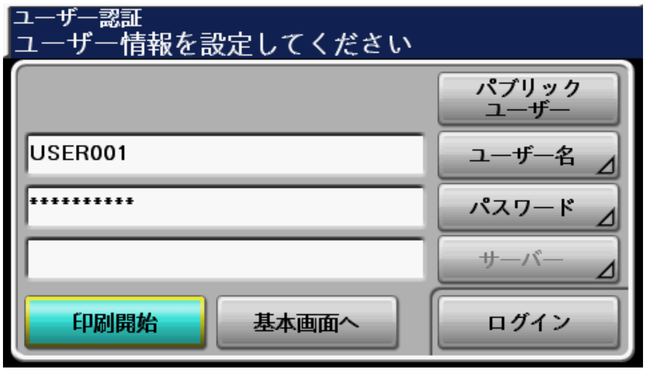
参考

- 認証＆プリントで一括印刷時、割り込みコピーはできません。

### ログインと同時に印刷する

1 本体操作パネルで［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

→ ログイン後の画面が表示されているときは、ID を押してログアウトするとログイン画面が表示されます。




2 ［印刷開始］を選択し、［ログイン］を押します。

ユーザーが認証されるとジョブが出力されます。

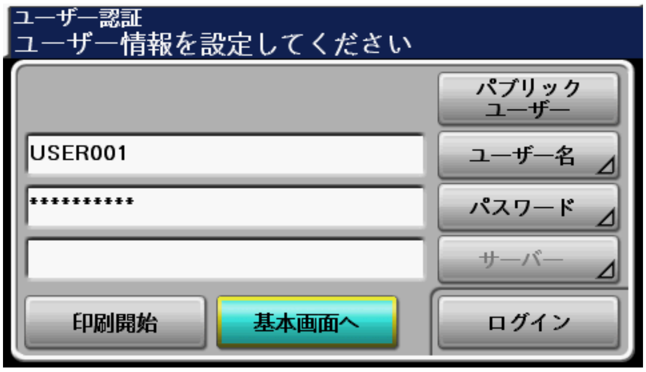
→ パブリックユーザーの場合は、ユーザー名とパスワードを入力せずに、［印刷開始］を選択して［パブリックユーザー］を押します。

→ 複数のジョブがある場合は、全てのジョブが出力されます。文書を選択して印刷したい場合は、［基本画面へ］を選択して［ログイン］を押し、［認証＆プリント］から文書を印刷してください。

→ オプションの**認証装置**を装着している場合は、［本体認証］と［IC カード認証］が表示されます。キーを選択することで、認証方法を本体認証または認証装置のどちらかに切換えて利用できます。

### ジョブを指定して印刷する

1 本体操作パネルで［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

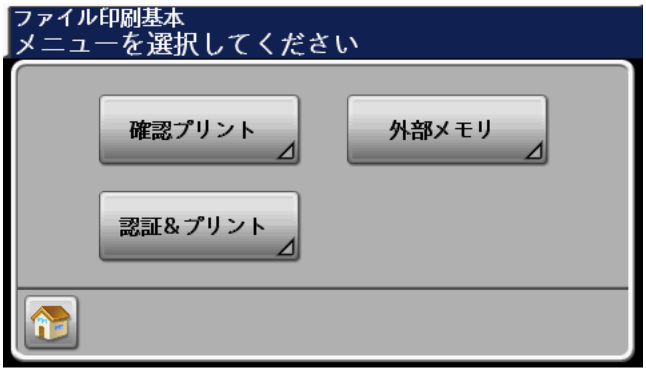



2 ［基本画面へ］を選択し、［ログイン］を押します。

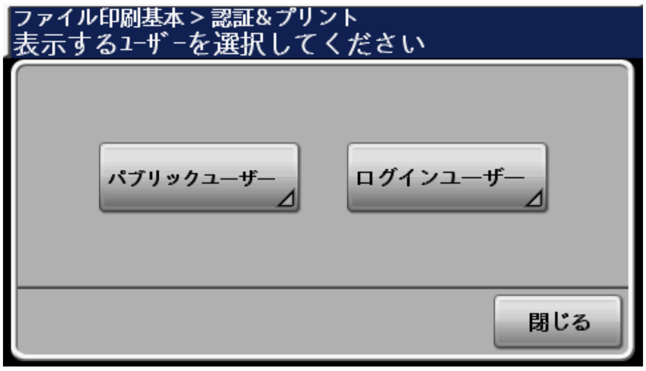
本機にログインします。

3 ホーム画面で［USB/HDD］を押します。

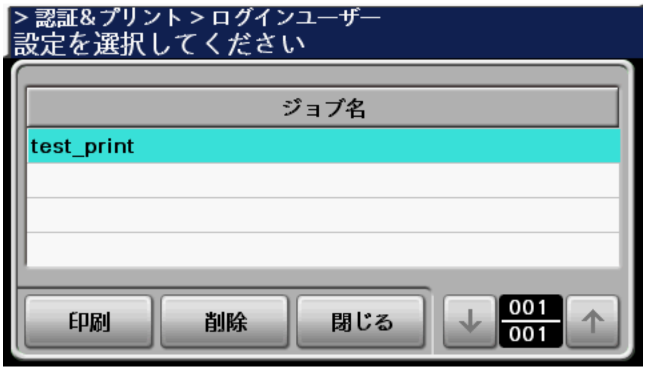
4　［認証＆プリント］を押します。




5　パブリックユーザーかログインユーザーかを選択します。



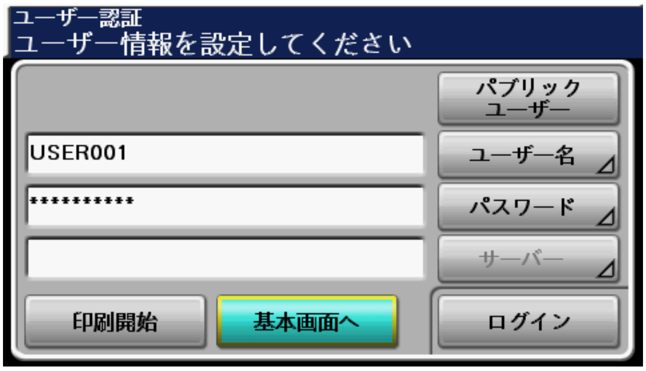

6　印刷したいジョブを選択し、［印刷］を押します。




➔ 操作を中止する場合は、［閉じる］を押します。
➔ 認証＆プリントファイルは、印刷が正常に終了した時点で自動で削除されます。

## ジョブを削除する

1　本体操作パネルで［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

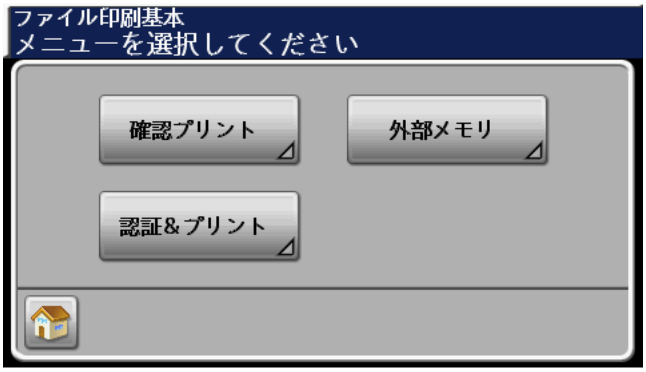



2　［基本画面へ］を選択し、［ログイン］を押します。

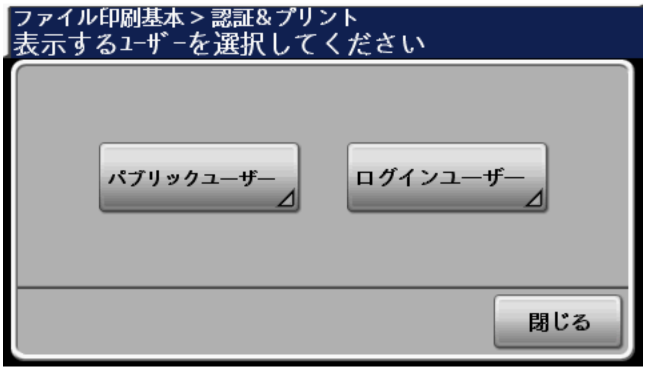
本機にログインします。

3　ホーム画面で［USB/HDD］を押します。

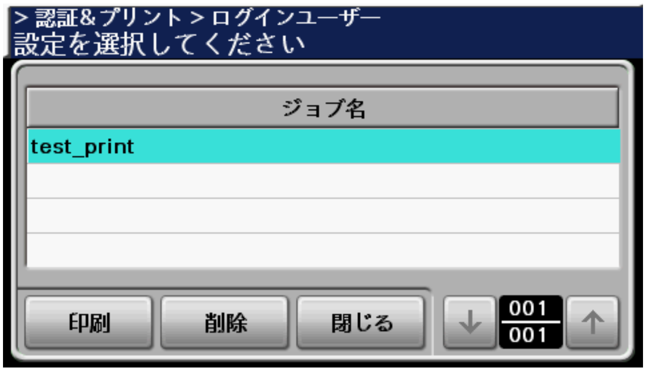
4　［認証＆プリント］を押します。




5　パブリックユーザーかログインユーザーかを選択します。



6 削除したいジョブを選択し、［削除］を押します。




7 ［はい］を選択し、［OK］を押します。



# 13.8 外部メモリープリント

本機に外部メモリーを差し込むと、外部メモリーに保存されたファイルを直接指定して印刷できます。

印刷できるファイル形式は、PDF、XPS、JPEG、TIFF 形式です。

## 13.8.1 外部メモリーについて

### 使用できる外部メモリー

本機で使用できる外部メモリーの条件は以下のとおりです。

- USB（1.1/2.0）インターフェース対応の USB フラッシュメモリー
- FAT32 形式でフォーマットされていること
- セキュリティー機能が付加されていないか、またはセキュリティー機能を OFF できること
- メモリー容量が 8GB 未満であること
- コンピューター上で複数のドライブとして認識されないもの

参考

- 条件を満たした外部メモリーでも、動作しない場合があります。

### 外部メモリーの接続

参考

- 外部メモリーへの保存中や文書の印刷中には、外部メモリーを抜かないでください。
- USB フラッシュメモリー以外の USB 機器（ハードディスク、USB マウスなど）は使用しないでください。
- 外部メモリーを差し込んだ直後に抜かないでください。

## 13.8.2 外部メモリーから印刷する

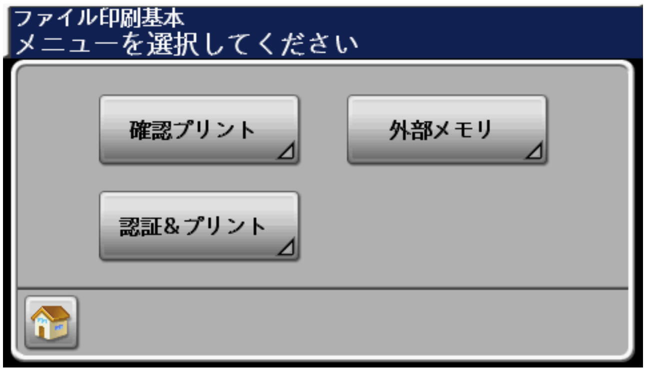
1 外部メモリーを本機の USB ポート（タイプ A）に差し込みます。

外部メモリーを差し込むと、画面にアイコンが表示されます。

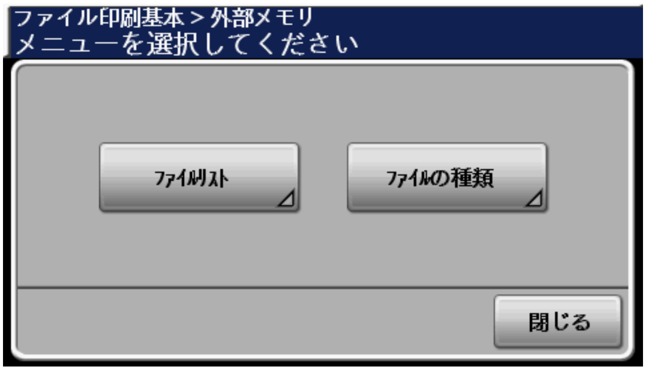



2 ホーム画面で［USB/HDD］を押します。

3 ［外部メモリ］を押します。




4 ［ファイルリスト］を押します。




5 印刷するファイルを選択します。

➔ ファイルがフォルダーに保存されているときは、フォルダーを選択し、［開く］を押して開きます。




6 ［OK］を押します。

7 必要に応じて、用紙サイズや部数などの印刷設定を変更します。

➔ 印刷開始までに、使用するサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。

8 ［印刷］を押します。

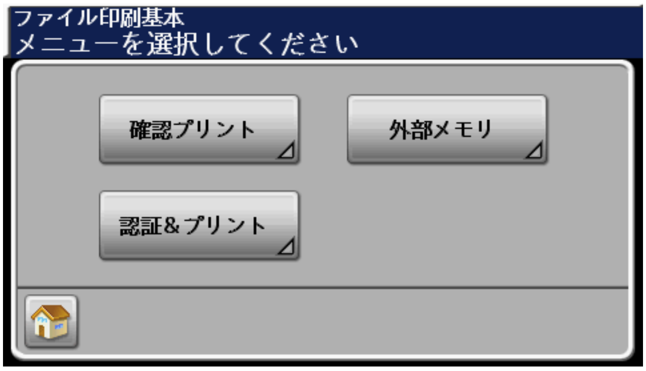
参考

- 表示できるファイルおよびフォルダー数は 99 件までです。
- ファイルおよびフォルダーは名前順に表示します。
- 表示できるフォルダーの階層は 8 階層までです。
- ［ファイルの種類］で、表示するファイルの種類を設定できます。
- 印刷中は外部メモリーを抜かないでください。

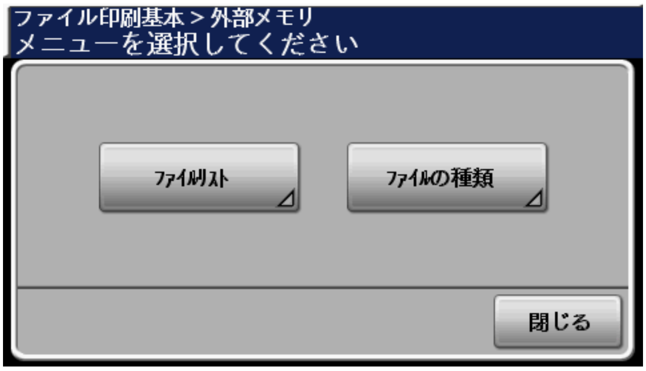
### 13.8.3 リストに表示されるファイルの種類を設定する

1 ホーム画面で［USB/HDD］を押します。

2 ［外部メモリ］を押します。




3 ［ファイルの種類］を押します。




4 表示するファイルの種類を選択します。




5 ［OK］を押します。

# 14 操作パネルでの各種設定

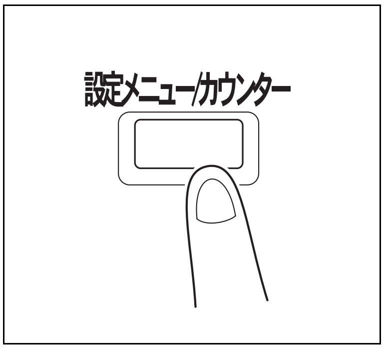
# 14 操作パネルでの各種設定

操作パネルで設定できるプリンター関連の機能を説明します。

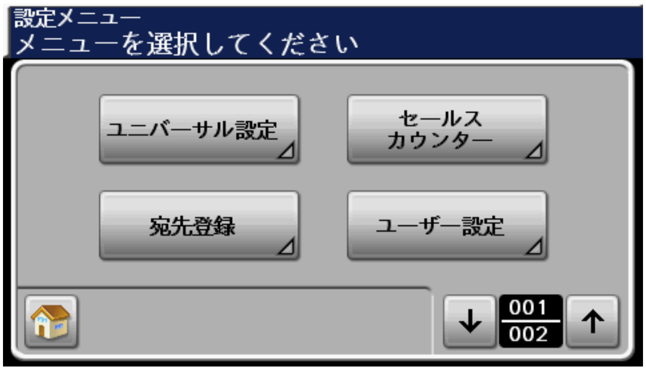
## 14.1 ユーザー設定の基本操作

### 14.1.1 ユーザー設定画面を表示させるには

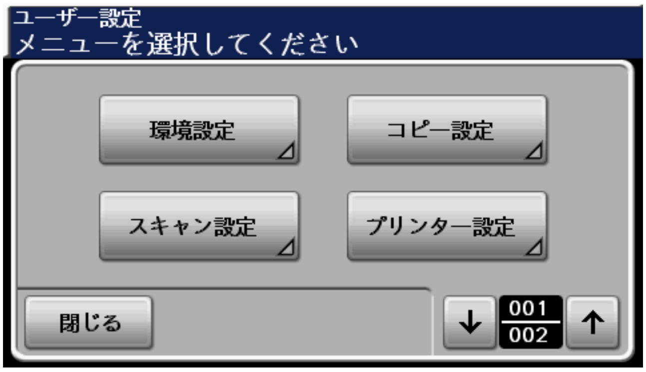
1 **設定メニュー / カウンター**を押します。




2 ［ユーザー設定］を押します。




ユーザー設定画面が表示されます。




➔ 設定メニューの設定を終了するときは、**設定メニュー / カウンター**を押します。
➔ 設定メニューの階層を戻るときは、目的の画面になるまで［閉じる］を押します。

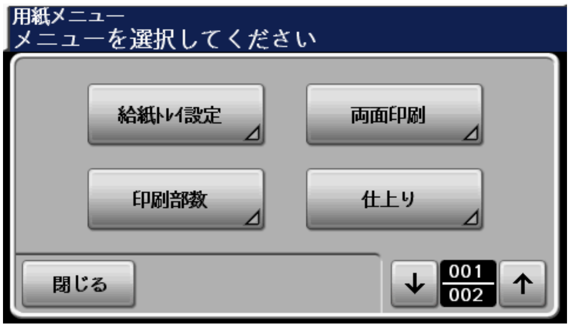
# 14.2 ユーザー設定

## 14.2.1 ［プリンター設定］

### ［用紙メニュー］

用紙や給紙トレイの設定をします。

➔ 設定メニュー / カウンター ▸▸ ［ユーザー設定］ ▸▸ ［プリンター設定］ ▸▸ ［用紙メニュー］を押します。







**設定**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ［給紙トレイ設定］ | ［初期設定トレイ］ | 優先する給紙トレイを設定します。<br>**給紙キャビネット PC-211** を装着している場合は、［トレイ 4］、［トレイ 5］も選択できます。 | |
| | ［トレイ 1］ | ［サイズ検出モード］ | トレイ 1 にセットされた用紙のサイズを自動で検出するかを設定します。 |
| | | ［用紙サイズ］ | 用紙サイズを設定します。<br>［サイズ検出モード］が［自動］に設定されている場合、トレイ 1 にセットされている用紙のサイズが自動で選択されるため、操作パネルでの他のサイズへの変更はできません。 |
| | | ［不定形サイズ］ | ［幅］と［長さ］に任意の値を入力して、カスタムサイズを登録します。［用紙サイズ］で［不定形サイズ］を選択した場合に設定できます。 |
| | | ［用紙種類］ | 用紙種類を設定します。 |
| | ［トレイ 2］ | ［用紙サイズ］ | 用紙サイズを表示します。<br>検出された用紙サイズが自動で選択されるため、操作パネルでの他のサイズへの変更はできません。 |
| | | ［用紙種類］ | 用紙種類を設定します。 |
| | ［トレイ 3］ | ［用紙サイズ］ | 用紙サイズを表示します。<br>検出された用紙サイズが自動で選択されるため、操作パネルでの他のサイズへの変更はできません。 |
| | | ［用紙種類］ | 用紙種類を設定します。 |
| | ［トレイ 4］ | ［用紙サイズ］ | 用紙サイズを表示します。<br>検出された用紙サイズが自動で選択されるため、操作パネルでの他のサイズへの変更はできません。 |
| | | ［用紙種類］ | 用紙種類を設定します。 |

**設定**

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ［トレイ 5］ | ［用紙サイズ］ | 用紙サイズを表示します。<br>検出された用紙サイズが自動で選択されるため、操作パネルでの他のサイズへの変更はできません。 |
| | | ［用紙種類］ | 用紙種類を設定します。 |
| ［両面印刷 ］ | 両面印刷を設定します。 | | |
| ［印刷部数］ | 印刷部数を設定します。 | | |
| ［仕上り］ | ［部単位印刷］ | 複数部数印刷する場合に、部単位で印刷を行うかどうかを設定します。 | |
| | ［開き方向 / とじ方向］ | とじ位置を設定します。 | |
| | ［仕分け / ステープル］ | 仕分けまたはステープルの設定をします。<br>ステープルを設定する場合は、ステープルの位置を設定します。 | |
| ［ATS 許可］ | ［する］：給紙トレイを手動で選択しているとき、印刷中に指定したトレイの用紙がなくなった場合に、同じサイズの用紙がセットされている給紙トレイに自動的に切換えます。<br>［しない］：給紙トレイを手動で選択しているとき、印刷中にそのトレイの用紙がなくなった場合は印刷を停止します。 | | |
| ［トレイマッピング］ | ［トレイマッピングモード］ | トレイマッピング機能を使用するかどうかを設定します。 | |
| | ［論理トレイ 0］ | 他社のプリンタードライバーからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。 | |
| | ［論理トレイ 1］ | | |
| | ［論理トレイ 2］ | | |
| | ［論理トレイ 3］ | | |
| | ［論理トレイ 4］ | | |
| | ［論理トレイ 5］ | | |
| | ［論理トレイ 6］ | | |
| | ［論理トレイ 7］ | | |
| | ［論理トレイ 8］ | | |
| | ［論理トレイ 9］ | | |

## ［レポート出力］

各種レポートの出力を行います。

➔ 設定メニュー / カウンター ▸▸ ［ユーザー設定］▸▸ ［プリンター設定］▸▸ ［レポート出力］を押します。







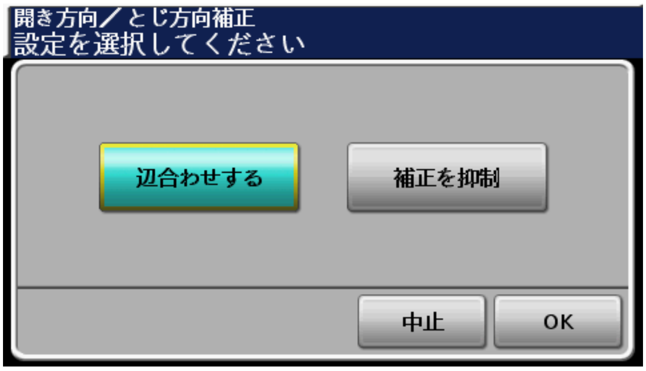
**設定**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ［レポート出力］ | ［設定情報リスト］ | 本機の情報と設定内容を印刷します。 | |
| | ［統計ページ］ | 印刷枚数などの統計ページを出力します。 | |
| | ［フォントリスト］ | ［PS］ | PS フォントリストを出力します。 |
| | | ［PCL］ | PCL フォントリストを出力します。 |
| | ［HDD ディレクトリーリスト］ | HDD 内のフォルダーリストを出力します。 | |
| | ［カウンタリスト印刷］ | カウンターリストを出力します。 | |

## ［開き方向／とじ方向補正］

両面印刷する場合の辺あわせ（とじ位置補正）処理を設定します。

➔ 設定メニュー / カウンター ▸▸ ［ユーザー設定］▸▸ ［プリンター設定］▸▸ ［開き方向／とじ方向補正］を押します。




**設定**

| | |
|---|---|
| ［開き方向／とじ方向補正］ | 両面印刷を行う際に、表面と裏面の印字方向が揃うように辺あわせ（とじ位置補正）をするかどうかを設定します。<br>［辺あわせする］：辺あわせ処理を行います。<br>［補正を抑制］：辺あわせ処理を行わず、プリンタードライバーからの指定にしたがいます。 |

# 14.3 管理者設定

**参照**

管理者設定での設定内容については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。

# 15 PageScope Web Connection

# 15 PageScope Web Connection

## 15.1 PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection は、プリンターコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用ユーティリティーです。ネットワーク上のコンピューターで Web ブラウザーを起動し、本機の設定変更や状態確認ができます。本機の操作パネルで行う設定を手元のコンピューターから操作でき、漢字の入力もスムーズに行うことができます。

### 15.1.1 動作環境

| ネットワーク | Ethernet（TCP/IP） |
|---|---|
| コンピューター側の<br>アプリケーション | Web ブラウザー：<br><Windows XP/Server 2003/Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合 ><br>・ Microsoft Internet Explorer 6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効）<br>・ Mozilla Firefox 3.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効）<br><Macintosh Mac OS X の場合 ><br>・ Mozilla Firefox 3.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効）<br><Linux の場合 ><br>・ Mozilla Firefox 3.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） |

### 15.1.2 アクセス方法

✔ PageScope Web Connection は、Web ブラウザーを起動して使用します。
✔ ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、15-4 ページをごらんください。
✔ 本機の IP アドレスの設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力してキーボードの **Enter** を押します。

http:// ＜本機の IP アドレス＞ /

（例）本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合

- http://192.168.1.20/

IPv6 が有効に設定されていて、Internet Explorer 6 以外のブラウザーを使用している場合

- IPv6 アドレスを [ ] で囲んでアクセスします。
- http://[ 本機の IPv6 アドレス ]/

（例）本機の IPv6 アドレスが fe80::220:6bff:fe10:2f16 の場合

- http://[fe80::220:6bff:fe10:2f16]/
- IPv6 が有効に設定されていて、Internet Explorer を使用している場合は、あらかじめ hosts ファイルに「fe80::220:6bff:fe10:2f IPv6_MFP_1」といった追記をする編集をし、ドメイン名による URL 指定を行います。

ログイン画面が表示されます。

### 15.1.3 Web ブラウザーのキャッシュ機能について

Web ブラウザーにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザーでキャッシュ機能を無効にしてください。

参考

- Web ブラウザーのバージョンによっては、メニューや項目名が異なる場合があります。詳しくは、Web ブラウザーのヘルプをごらんください。

#### Internet Explorer の場合

1 ［ツール］メニューから［インターネットオプション］を選択します。

2 ［全般］タブで［インターネット一時ファイル］の［設定］をクリックします。

3 ［ページを表示するごとに確認する］を選択し、［OK］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

#### Mozilla Firefox の場合

1 ［ツール］メニューから［オプション］を選択します。

2 ［プライバシー］をクリックし、［Firefox の終了時に履歴を消去する］にチェックを付けます。

3 ［設定］をクリックし、［履歴の消去設定］で［キャッシュ］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

# 15.2 ログインとログアウト

## 15.2.1 ログイン

PageScope Web Connection はログインのしかたによって、ユーザーモードと管理者モードがあります。

参考

- PageScope Web Connection にはユーザー、管理者あわせて 8 セッションが同時に接続できます。また、パブリックユーザー、レジスタユーザー、管理者とも複数同時に接続できます。
- 本機の認証設定によって、表示されるログイン画面が異なります。

### 言語設定

PageScope Web Connection 上で表示される言語は、本機の操作パネルで設定されている言語と同じ言語となります。

［言語］で他の言語へ変更できます。

参考

- ［言語］で言語を変更しても、操作パネルで表示される言語は変更されません。




### パブリックユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っていない場合や、登録されたユーザー以外のユーザーがログインする場合は、パブリックユーザーとしてログインします。ログイン画面で［パブリックユーザー］を選択し、［ログイン］をクリックします。



### 登録ユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、ユーザー名とユーザーパスワードを利用してログインします。

➔ ログイン画面でユーザー名とユーザーパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。




参考

- 部門認証を行っている場合は、アカウント名とアカウントパスワードも入力します。
- 外部サーバー認証が設定されている場合は、外部認証サーバーを選択します。

### 管理者モードへログイン

システム、セキュリティー、プリント、ネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。

**参照**

管理者モードへのログイン方法については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

## 15.2.2 ログアウト

画面右上の [ログアウト] をクリックするとログイン画面に戻ります。

参考

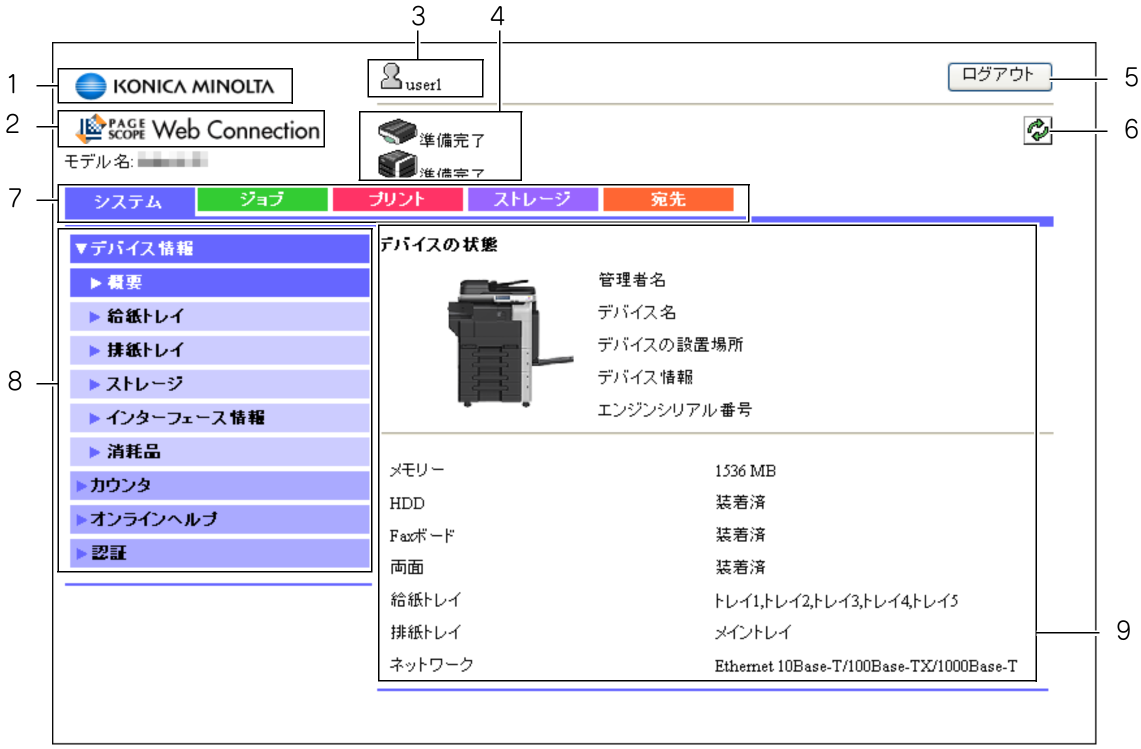
- ログインした状態で操作が一定期間行われずにタイムアウトとなった場合や、ユーザーモードログイン中に認証設定が変更された場合は、自動的にログアウトされます。

## 15.3 画面の構成

PageScope Web Connection にログイン後、表示される画面は、以下のように構成されています。ここでは、システムーデバイス情報ー概要画面を例に説明します。

参考

- 本機に装着されているオプションや本機の設定によって、PageScope Web Connection の画面表示が異なります。




| No. | 項目 | 説明 |
|---|---|---|
| 1 | KONICA MINOLTA ロゴマーク | ロゴマークをクリックすると、以下のサイト（KONICA MINOLTA のサイト）へジャンプします。<br>http://konicaminolta.com/ |
| 2 | PageScope Web Connection ロゴマーク | ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます。 |
| 3 | ログインユーザー名 | 現在ログインしているモードアイコンとユーザー名（パブリック、管理者、登録ユーザー名、部門名）が表示されます。 |
| 4 | ステータス表示 | 本機プリンター部分と本機スキャナー部分の状態が、アイコンとメッセージで表示されます。 |
| 5 | [ログアウト] | 現在のモードからログアウトし、ログインしなおすときにクリックします。 |
| 6 | 更新 | クリックすると画面の表示を更新します。 |
| 7 | メインタブ | 表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザーモードと管理者モードで表示される項目が異なります。 |
| 8 | メニュー | 選択されたアイコンにおける情報および設定が表示されます。アイコンの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。 |
| 9 | 情報、設定の表示 | メニューで選択されている項目の内容が表示されます。 |

## 15.4　ステータス表示

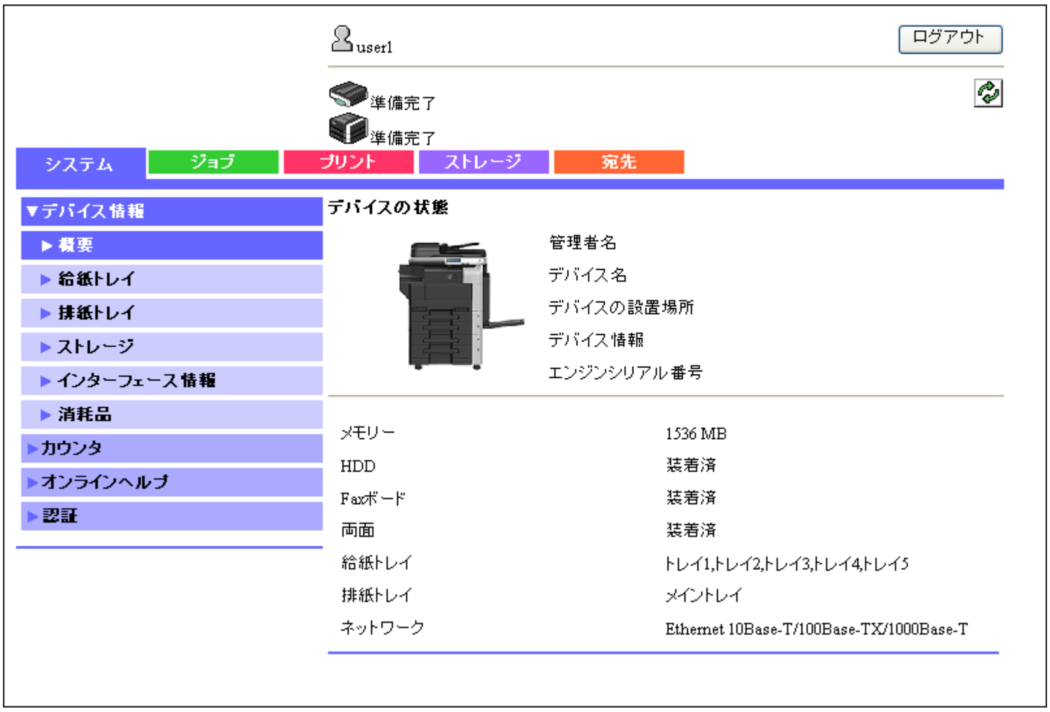
本機の現在の状態（ステータス）は、PageScope Web Connection ウィンドウの上部に常に表示されます。以下のアイコンによって、ステータスの種類を表します。

| アイコン | ステータス | 説明 |
|---|---|---|
|  | レディー | 本機がオンライン状態で、印刷可能状態または印刷中です。 |
|  | 警告 | 注意が必要ですが、印刷は続行可能です。 |
|  | エラー | 次に印刷を行う前に注意が必要です。 |
|  | フェイタルエラー | 本機を再起動する必要があります。<br>再起動してもエラーが消えない場合は、修理が必要ですのでサービス実施店にご連絡ください。 |

# 15.5　ユーザーモードの概要

ユーザーモードにログインすると、以下の機能を確認、設定できます。

## 15.5.1　システム



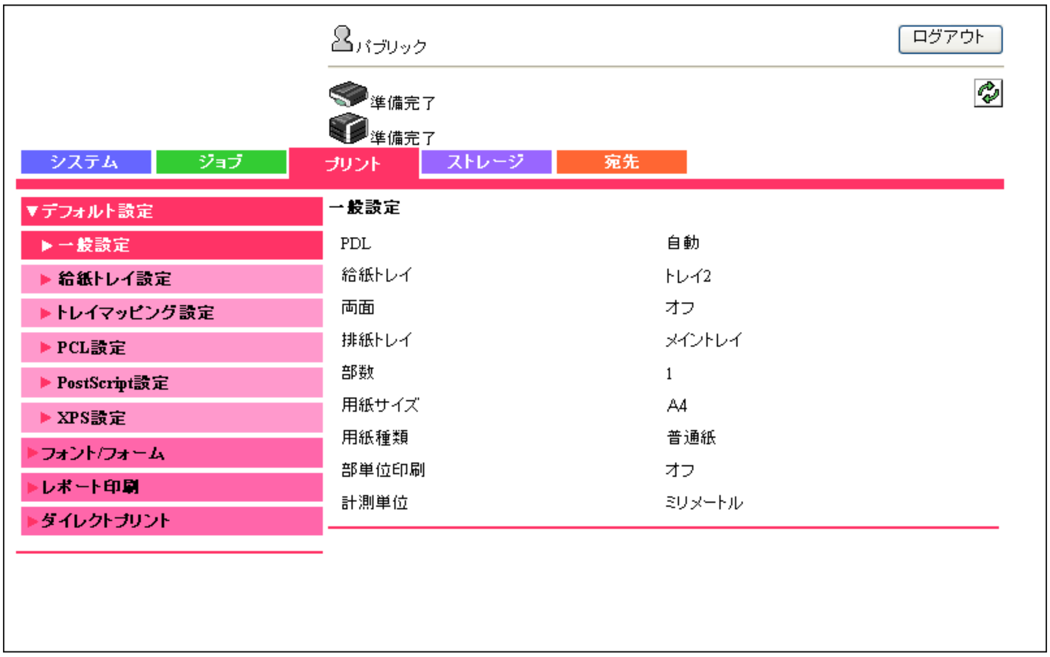

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| [デバイス情報] | [概要] | 本機の構成要素、オプションの装着有無などの状態が確認できます。 |
| | [給紙トレイ] | 本機に装着されている給紙トレイと使用している用紙情報が確認できます。 |
| | [排紙トレイ] | 本機に装着されている排紙トレイと状態が確認できます。 |
| | [ストレージ] | 本機に装着されている HDD の状態が確認できます。 |
| | [インターフェース情報] | 本機で設定されているネットワーク情報が確認できます。 |
| | [消耗品] | 本機の消耗品情報が確認できます。 |
| [カウンタ] | [トータルカウンター] | 本機でこれまでに印刷した数量が機能別で確認できます。 |
| | [用紙サイズ別カウンター] | 本機でこれまでに印刷した数量が用紙サイズ別で確認できます。 |
| | [用紙種類別カウンター] | 本機でこれまでに印刷した数量が用紙種類別で確認できます。 |
| [オンラインヘルプ] | [オンラインヘルプ] | 製品に関するサポート情報を確認できます。<br>ユーザーモードでは設定の変更はできません。<br>各設定の詳細については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。 |
| [認証] | [パスワード変更] | 現在ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。<br>パブリックユーザーはこの機能を使用できません。 |
| | [登録情報] | 現在ログインしているユーザーの登録内容を確認できます。 |

## 15.5.2 ジョブ



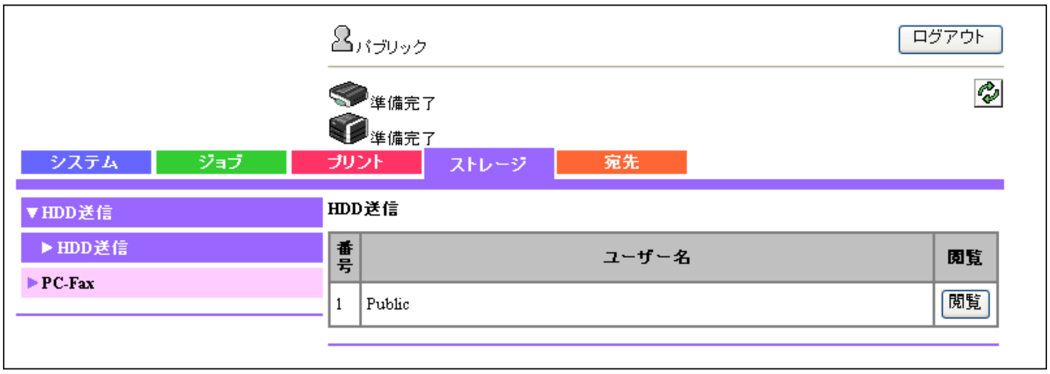

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| [処理中ジョブ] | [プリント] | 本機が現在処理しているジョブが確認できます。 |
| | [送信] | |
| | [受信] | |
| | [保存] | |
| [処理済ジョブ] | [プリント] | 本機で処理が終了したジョブが確認できます。 |
| | [送信] | |
| | [受信] | |
| | [保存] | |
| [コミュニケーションリスト] | [スキャン] | 本機で処理が終了した通信リストが確認できます。 |
| | [ファックス送信] | |
| | [ファックス受信] | |

### 15.5.3　プリント




| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| [デフォルト設定] | [一般設定] | プリンターに関する各種設定を確認できます。<br>ユーザーモードでは設定の変更はできません。<br>各設定の詳細については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。 |
| | [給紙トレイ設定] | |
| | [トレイマッピング設定] | |
| | [PCL 設定] | |
| | [PostScript 設定] | |
| | [XPS 設定] | |
| [フォント / フォーム] | [PCL フォント] | 本機にダウンロードされている PCL フォントの情報を確認できます。 |
| | [PostScript フォント] | 本機にダウンロードされている PostScript フォントの情報を確認できます。 |
| | [フォーム] | 本機にダウンロードされているフォームの情報を確認できます。 |
| [レポート印刷] | [レポート印刷] | 各種レポートの出力を行います。 |
| [ダイレクトプリント] | [ダイレクトプリント] | コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機で印刷を行うことができます。<br>ダイレクトプリントでは、PDF、TIFF、JPEG および XPS 形式のファイルを印刷できます。<br>カラーの原稿をダイレクトプリントしても、モノクロに変換してプリントします。 |

### 15.5.4 ストレージ




| 項目 | 説明 |
|---|---|
| [HDD 送信] | Scan to HDD 機能により保存された画像データの詳細を確認したり、画像データをダウンロード、削除することができます。サムネイルまたはファイル名をクリックすると、ファイル情報が表示されます。<br>詳しくは、[ユーザーズガイド スキャン機能編] をごらんください。 |
| [PC-Fax] | PC-FAX または強制メモリー受信機能により保存された画像データの詳細を確認したり、画像データをダウンロード、印刷、削除することができます。サムネイルまたはファイル名をクリックすると、ファイル情報が表示されます。印刷が終了すると、本機からデータは削除されます。<br>詳しくは、[ユーザーズガイド ファクス機能編] をごらんください。 |

## 15.6 管理者モード

**参照**
管理者モードの詳細については、[ユーザーズガイド管理者機能編]をごらんください。

# 16 トラブルシューティング

# 16　トラブルシューティング

## 16.1　印刷できない

本章では、想定するトラブルおよび困った場合の解決方法について説明します。

印刷を実行したにもかかわらず、印刷できない場合に、上から順に確認してください。

| 状況 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| コンピューター上の画面に「プリンターが接続されていない」または「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される。 | 印刷時に指定しているプリンタードライバーがプリンターコントローラー対応になっていない可能性があります。 | 指定しているプリンター名を確認してください。 |
| | ネットワークケーブルまたはUSB ケーブルが外れている可能性があります。 | ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 |
| | 本機側でエラーが発生している可能性があります。 | 本機の操作パネルを確認してください。 |
| | メモリーが不足している可能性があります。 | テスト印刷で印刷できるか確認してください。 |
| コンピューター上の画面にポストスクリプトエラーが表示される。 | コンピューターのメモリーが不足している可能性があります。 | テスト印刷で印刷できるか確認してください。 |
| | アプリケーションソフトウェアの設定によるエラーが考えられます。 | アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参考に、設定を再確認してください。 |
| | ファイルの印刷設定が間違っている可能性があります。 | 設定を変えて再度印刷を試してみてください。 |
| コンピューター側の印刷処理は終了したが印刷が開始されない。 | 印刷時に指定しているプリンタードライバーがプリンターコントローラー対応になっていない可能性があります。 | 指定しているプリンター名を確認してください。 |
| | ネットワークケーブルまたはUSB ケーブルが外れている可能性があります。 | ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 |
| | 本機側でエラーが発生している可能性があります。 | 本機の操作パネルを確認してください。 |
| | 未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっている可能性があります。 | 本機の操作パネルの［ジョブ］でジョブの順番を確認してください。 |
| | 印刷実行時に［保存］を指定している可能性があります。 | 本機の操作パネルで目的のジョブが保留されていないか確認してください。 |
| | 印刷実行時に［機密印刷］を指定している可能性があります。 | 本機の操作パネルで目的のジョブが保留されていないか確認してください。 |
| | 部門管理している場合、登録以外の部門名やパスワードを入力している可能性があります。 | 部門名やパスワードを正しく入力してください。 |

| 状況 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| | 認証設定している場合、登録以外のユーザー名やパスワードを入力している可能性があります。 | ユーザー名やパスワードを正しく入力してください。 |
| | コンピューターのメモリーが不足している可能性があります。 | テスト印刷で印刷できるか確認してください。 |
| | プリンターコントローラーとのネットワークが確立されていません（ネットワーク接続時）。 | ネットワーク管理者にご相談ください。 |
| | 本機側でセキュリティー強化モードになっている可能性があります。 | セキュリティー強化モードでの認証設定を行ってください。詳しくは、本機の管理者にご相談ください。 |
| 機密印刷で印刷されない。 | 本体でパスワード規約が有効になっている可能性があります。 | パスワード規約に適合したパスワードを設定してください。 |
| ユーザー認証または部門管理で印刷できない。 | ユーザー名／部門名／パスワードが間違っています。 | 正しいユーザー名／部門名／パスワードを入力してください。 |
| | プリンタードライバーでユーザー認証または部門管理機能が有効になっていない可能性があります。 | プリンタードライバーでユーザー認証または部門管理を有効にしてください。 |
| | お使いのユーザー名／部門名で印刷が許可されていない可能性があります。 | 印刷が許可されているユーザー名／部門名であるかどうかを管理者に確認してください。 |
| ユーザー認証で、［パブリックユーザー］を選択したが印刷できない。 | 本体側でパブリックユーザーのプリントが許可されていない可能性があります。 | パブリックユーザーの印刷が許可されているかどうかを管理者に確認してください。 |
| 外部メモリーから印刷できない。 | 印刷できるファイル形式（拡張子）と一致していない。 | 印刷できるファイル形式（拡張子）は、JPEG、TIFF、XPS、PDF のみです。 |
| | | ［USB/HDD］を押し、［外部メモリ］の［ファイルの種類］で表示できるファイルの形式を選択してください。 |
| | 本機の［外部メモリプリント］が［無効］になっている。 | ［管理者設定］－［外部メモリプリント］の設定を［有効］に変更してください。 |
| | ユーザー認証でパブリックユーザーが設定されていない。 | 本機管理者にご確認ください。 |
| | 暗号化された USB フラッシュメモリーを使用している。 | 暗号化された USB フラッシュメモリーは使用できません。 |

以上のことを確認しても解決しない場合は、［ユーザーズガイド コピー機能編］をお読みください。

## 16.2 設定できない／設定したとおりに印刷できない

プリンタードライバーで設定ができない場合や、設定してもそのとおりに印刷されない場合に確認してください。

参考

- プリンタードライバーの項目を設定する場合、項目によっては同時に選択できないものがあります。

### 16.2.1 プリンタードライバーの設定が機能しない

| 状況 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| プリンタードライバー上で項目が選択できない。 | 機能によっては組み合わせできない場合があります。 | グレー表示の部分は設定できません。 |
| コンピューター画面上に「設定できない」「機能が解除される」内容の「競合」メッセージが表示される。 | 組み合わせできない機能を設定しています。 | 内容をよく確認し、機能を指定しなおしてください。 |
| 設定したとおりに印刷できない。 | 正しく設定されていない可能性があります。 | プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。 |
| | プリンタードライバー上では組み合わせて設定できますが、本機としては組み合わせができないことがあります。 | |
| | アプリケーションで設定した用紙サイズや用紙の向きなどがプリンタードライバーでの設定より優先されて印刷されることがあります。 | アプリケーション側の設定を正しく設定してください。 |
| ウォーターマークが印刷できない。 | ウォーターマークを正しく設定していない可能性があります。 | ウォーターマークの設定を確認してください。 |
| | ウォーターマークの濃度が薄い可能性があります。 | 濃淡設定を確認してください。 |
| | グラフィックス系などのアプリケーションソフトウェアでは、ウォーターマークが印刷されないことがあります。 | この場合、ウォーターマークは印刷できません。 |
| ステープルが指定できない。 | ステープルは、オプションの**フィニッシャー FS-529** が必要です。 | 必要なオプションを装着し、プリンタードライバーでオプションを使用可能にしてください。 |
| ステープルができない。 | 印刷するページ数が多い場合は、ステープルできません。 | 印刷するページ数を変更してください。 |
| | 異なった用紙サイズが混在している場合は、ステープルできません。 | 書類を確認してください。 |
| ステープルの位置が思いどおりにならない。 | 方向の設定が合っていません。 | プリンタードライバーの設定でステープルの位置を確認してから印刷してください。 |
| ページ割付でページが割付けられず、分かれて印刷される。 | 方向の異なる原稿を割付けています。 | 原稿の方向を合わせてください。 |
| オーバーレイがうまく印刷されない。 | コンピューターのメモリーが不足している可能性があります。 | オーバーレイを簡単なものにしてデータ量を減らしてください。 |
| 印刷時に文字化けが発生する。 | OS からアウトラインイメージが取得できないことがあります。 | PCL ドライバーで印刷時に文字化けが発生する場合などは、ダウンロードフォントをビットマップ、プリンターフォントを使用しない設定にすることをおすすめします。 |
| 画像がうまく印刷されない。 | コンピューターのメモリーが不足している可能性があります。 | 画像を簡単なものにしてデータ量を減らしてください。 |

| 状況 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 指定した給紙口から給紙されない。 | 指定した給紙口に必要なサイズ／方向の用紙が入っていない場合は、指定した給紙口から給紙されない可能性があります。 | 給紙口に適切なサイズ／方向の用紙を入れてください。 |
| ユーザー認証または部門管理の設定がグレーアウトしていて設定できない。 | Windows プリンタードライバーでユーザー認証または部門管理機能が有効になっていない可能性があります。 | ［装置情報］でユーザー認証または部門管理を使用する設定にしてください。 |

## 16.2.2　その他

| 状況 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| プリンタードライバーがインストールできない。 | Windows Vista/Server 2008 で Web サービスプリント機能に対応したプリンターとしてインストール済みとなっています。 | Windows Vista/Server 2008 で Web サービスプリントを利用してインストールした場合は、インストールを完了していなくてもインストールされた状態になります。［ネットワーク］ウィンドウで該当するプリンターをアンインストールしてからインストールしなおしてください。 |

## 16.2.3　エラーメッセージ

| メッセージ | 原因 | 処理のしかた |
|---|---|---|
| ［用紙サイズ不一致］<br>［以下の用紙をセットするか、ジョブを中止してください<br>トレイ X］ | プリンタードライバーで指定した用紙サイズの用紙がトレイ X にセットされていません。 | 表示された給紙トレイに正しい用紙をセットしてください。 |
| ［手差し確認］<br>［手差しトレイの用紙を確認して［印刷］を押してください<br>X］ | プリンタードライバーの「用紙トレイ」で「トレイ 1（手差し）」を選択しているときに、プリント開始時にトレイ 1 に用紙がセットされています。 | キーを押して印刷をするか、トレイ 1 の用紙をセットしなおしてください。 |
| ［用紙を補給してください］<br>［手差しに用紙をセットするか給紙トレイを選択してください］ | プリンタードライバーで手差し印刷が設定されていますが、トレイ 1 に用紙がありません。 | トレイ 1 に正しい用紙をセットしてください。 |
| ［用紙を補給してください］<br>［トレイ X に用紙を補給するか、他の給紙トレイを選択してください］ | トレイ X がプリンタードライバーで指定されていますが、トレイに用紙がありません。 | 正しいサイズ、種類の用紙を指定されたトレイにセットしてください。 |
| ［用紙サイズ / 種類不一致］<br>［トレイ X に以下の用紙をセットしてください<br>X］ | プリンタードライバーで指定されたトレイに指定されたサイズ、種類の用紙がありません。<br>（［ユーザー設定］－［環境設定］－［給紙トレイ設定］－［給紙トレイ自動切換え］が［しない］に設定されている場合に表示されます。） | 正しいサイズ、種類の用紙を指定されたトレイにセットしてください。 |
| ［メモリーフル］<br>［メモリ容量が不足しています<br>ジョブをキャンセルしてください］ | メモリーで処理できる容量以上のデータを受信しました。 | ［キャンセル］キーを押し、プリントジョブをキャンセルしてください。<br>プリントジョブのデータ容量を少なくし、再度印刷してください。 |

| メッセージ | 原因 | 処理のしかた |
|---|---|---|
| ［ジョブを保存できません］ | 保存できないジョブを受信しました。 | 入力されたユーザー名とユーザーパスワードが一致していない場合、機密印刷ジョブは保存されません。<br>正しいユーザー名とユーザーパスワードを入力して、再度印刷してください。 |
| ［保存ジョブエラー］<br>［保存ジョブの指定が合っていません］ | ジョブを保存したときのオプション構成と違っています。 | オプション構成をジョブが保存された状態に戻してください。 |
| ［HDD 容量オーバー］<br>［HDD の空き容量が足りません<br>不要なファイルを削除してください］ | ハードディスクドライブの容量がいっぱいです。 | 必要に応じてハードディスクドライブに保存されているデータを削除してください。 |
| ［ジョブ登録数オーバー］<br>［ジョブの登録が上限値です］ | 登録できるジョブの上限をこえています。 | 必要に応じてハードディスクドライブに保存されているデータを削除してください。 |
| ［USB 接続エラー］<br>［同じ種類の USB 機器が接続されています<br>接続をすべてはずしてください］ | 同じ種類の USB 機器が本機に複数接続されています。 | 接続されている USB 機器をすべてはずしてください。再度接続する場合は、同じ種類の USB 機器は複数接続できません。 |
| ［未対応の USB デバイスを検出しました］<br>［USB 機器の接続をはずしてください］ | USB ポートに未対応のデバイスが接続されました。 | 未対応のデバイスは接続できません。 |

上記以外のエラーメッセージについては、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

# 17 付録

# 17　付録

## 17.1　製品仕様

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 形式 | | 内蔵型コントローラー |
| 電源 | | 本体と共通 |
| RAM | | 1,536 MB |
| HDD | | 320 GB |
| I/F | | Ethernet（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T）<br>USB 2.0 |
| フレームタイプ | | IEEE 802.2<br>IEEE 802.3<br>Ethernet II<br>IEEE 802.3 SNAP |
| 対応プロトコル | | TCP/IP（IPv4/IPv6）、BOOTP、ARP、ICMP、DHCP、DHCPv6、AutoIP、SLP、SNMP、FTP、LPR/LPD、RAW Socket、SMB over TCP/IP、IPP、HTTP、POP、SMTP、LDAP、NTP、SSL、IPX/SPX、AppleTalk、Bonjour、NetBEUI、WebDAV、DPWS、S/MIME、IPsec、DNS、DynamicDNS、LLMNR、LLTD、SSDP、SOAP |
| プリンター言語 | | PCL5e/c/6 エミュレーション<br>PCL XL ver.3.0 エミュレーション<br>PostScript 3 エミュレーション（3016）<br>XPS ver.1.0 |
| 動作環境条件 | | 温度 10 ～ 30 ℃<br>湿度 15 ～ 85%RH |
| 解像度 | データ処理 | 600 × 600 dpi（プリント）<br>400 × 400 dpi（FAX 機能）<br>200 × 200 dpi（FAX 機能）<br>200 × 100 dpi（FAX 機能） |
| | プリント | 600 dpi × 600 dpi |
| 対応用紙サイズ | | 最大定型用紙サイズ |
| フォント（内蔵フォント） | | < PCL ><br>欧文 80 書体<br>日本語<br>HG 明朝 L<br>HG P 明朝 L<br>HG ゴシック B<br>HGP ゴシック B<br>< Postscript 3 Emulation ><br>欧文 137 書体<br>日本語<br>HG 明朝 L<br>HG ゴシック B |
| 対応コンピューター | | IBM PC およびその互換機、Macintosh（PowerPC、Intel プロセッサー：Intel Processor は、Mac OS X 10.4/10.5/10.6/10.7 のみ） |

| 項目 | 仕様 | |
|---|---|---|
| プリンタードライバー | PCL コニカミノルタ製ドライバー（PCL ドライバー） | Windows XP Home Edition（SP3 以降）<br>Windows XP Professional（SP3 以降）<br>Windows Server 2003, Standard Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003 R2, Standard Edition<br>Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition<br>Windows XP Professional ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Standard ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition<br>Windows Server 2003 R2, Enterprise ×64 Edition<br>Windows Vista Business（SP2 以降）*<br>Windows Vista Enterprise（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Basic（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Premium（SP2 以降）*<br>Windows Vista Ultimate（SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 Standard *<br>Windows Server 2008 Enterprise *<br>Windows Server 2008 R2 Standard<br>Windows Server 2008 R2 Enterprise<br>Windows 7 Home Basic<br>Windows 7 Home Premium *<br>Windows 7 Professional *<br>Windows 7 Enterprise *<br>Windows 7 Ultimate *<br>* 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。 |

| 項目 | 仕様 | |
|---|---|---|
| | PostScript コニカミノルタ製ドライバー（PS ドライバー） | Windows XP Home Edition（SP3 以降）<br>Windows XP Professional（SP3 以降）<br>Windows Server 2003, Standard Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003 R2, Standard Edition<br>Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition<br>Windows XP Professional ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Standard ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition（SP2 以降）<br>Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition<br>Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition<br>Windows Vista Business（SP2 以降）*<br>Windows Vista Enterprise（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Basic（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Premium（SP2 以降）*<br>Windows Vista Ultimate（SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 Standard *<br>Windows Server 2008 Enterprise *<br>Windows Server 2008 R2 Standard<br>Windows Server 2008 R2 Enterprise<br>Windows 7 Home Basic<br>Windows 7 Home Premium *<br>Windows 7 Professional *<br>Windows 7 Enterprise *<br>Windows 7 Ultimate *<br>* 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。 |
| | XPS コニカミノルタ製ドライバー（XPS ドライバー） | Windows Vista Business（SP2 以降）*<br>Windows Vista Enterprise（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Basic（SP2 以降）*<br>Windows Vista Home Premium（SP2 以降）*<br>Windows Vista Ultimate（SP2 以降）*<br>Windows Server 2008 Standard *<br>Windows Server 2008 Enterprise *<br>Windows Server 2008 R2 Standard<br>Windows Server 2008 R2 Enterprise<br>Windows 7 Home Basic<br>Windows 7 Home Premium *<br>Windows 7 Professional *<br>Windows 7 Enterprise *<br>Windows 7 Ultimate *<br>* 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。 |
| | PostScript PPD ドライバー（PS-PPD） | Mac OS X 10.2.8/10.3.9/10.4/10.5/10.6/10.7 |
| | PostScript PPD ドライバー<br>(PPD for CUPS) | SUSE Linux Enterprise Desktop 11 (CUPS Ver. 1.1.23)<br>Red Hat Enterprise Linux 5 Desktop (CUPS Ver. 1.2.4) |

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| ユーティリティ | PageScope Web Connection<br>対応 Web ブラウザー：<br><Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2 の場合 ><br>・ Microsoft Internet Explorer 6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効）<br>・ Mozilla Firefox 3.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効）<br><Macintosh Mac OS X の場合 ><br>・ Mozilla Firefox 3.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効）<br><Linux の場合 ><br>・ Mozilla Firefox 3.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） |
| Citrix 動作環境 | 本ドライバーは以下の環境にて動作確認を実施しております。<br>Server OS：Windows Server 2003/2008 (32bit/64bit)<br>Citrix：Citrix® XenApp® 5.0/6.0<br>Client OS：Windows XP/Vista/7<br>ICAClient：ICA32bit/64bit<br>* 上記以外の構成での動作については販売会社にお問合せください。 |

# 17.2 レポート出力

## 17.2.1 設定情報リスト（エンジン構成情報）

### ｴﾝｼﾞﾝ構成情報

製品名：
ﾌﾟﾘﾝﾀｰ名：

#### 装置情報

| | |
|---|---|
| 日付 | 2011.10.10 |
| 時刻 | 16:44 |
| シリアル番号 | [illegible] |
| Controller F/W | [illegible] |
| Engine F/W | [illegible] |
| Boot F/W | [illegible] |
| パネルF/W | [illegible] |
| スキャナーF/W | [illegible] |
| ファクスF/W | [illegible] |
| フィニッシャー F/W | [illegible] |
| リソースバージョン | 001019001005031001 |
| トータルカウント | 17 |

#### システム設定

| | |
|---|---|
| 言語選択 | 日本語 |
| エミュレーション | |
| 優先ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ | 自動 |
| PS | |
| ウェイトタイム アウト時間 | |
| | 0 秒 |
| PSエラー印刷 | しない |
| PS プロトコル | 自動 |
| PCL | |
| CR/LF マッピング | CR=CR LF=LF |
| ライン/ページ | 64 |
| フォント設定 | |
| フォント番号 | 0 |
| ピッチサイズ | 10.00 |
| シンボルセット | PC8 |
| XPS | |
| デジタル 署名 | 無効 |
| XPSエラー印刷 | する |
| 用紙設定 | |
| 用紙設定 | |
| 用紙サイズ | A4 |
| 不定形サイズ | |
| 幅 | 210 mm |
| 長さ | 297 mm |
| 用紙種類 | 普通紙 |
| 単位系設定 | mm |
| ｽﾀｰﾄｵﾌﾟｼｮﾝ | |
| スタートページ 設定 | しない |
| 自動継続 | しない |
| ジョブ保持 タイムアウト | 保持しない |
| 低電力設定 | する |
| 低電力移行時間 設定 | |
| | 3時間 |
| スリープ時間設定 | 3時間 |
| ﾒﾆｭｰ ﾀｲﾑｱｳﾄ | 2分 |
| LCDｺﾝﾄﾗｽﾄ | 0 |
| ﾜｰﾆﾝｸﾞ検出 | |
| ペーパー エンプティー設定 | |
| トレイ１ | しない |
| トレイ２ | しない |
| トレイ３ | しない |
| トレイ４ | しない |
| トレイ５ | しない |

#### ｵﾌﾟｼｮﾝ

| | |
|---|---|
| メモリ | 1536 MB |
| HDD | 装着 |
| トータル | 20470 MB |
| 使用量 | 10 MB |
| トレイ４ | 装着 |
| トレイ５ | 装着 |
| 片面/両面 | 装着 |
| ファクスキット | 装着 |
| フィニッシャー | 装着 |
| 用紙サイズ拡大キット | 装着 |

#### 画質設定

| | |
|---|---|
| 明度 | 0 % |
| ハーフトーン | |
| ｲﾒｰｼﾞ印刷 | 詳細 |
| 文字印刷 | ラインアート |
| グラフィック 印刷 | 詳細 |
| エッジ強調 | |
| ｲﾒｰｼﾞ印刷 | しない |
| 文字印刷 | する |
| グラフィック 印刷 | する |
| エッジ強度 | 中 |
| コントラスト | 0 % |
| 階調補正 | |
| 濃度 | |
| ハイライト部 | 0 |
| 中間部 | 0 |
| シャドウ部 | 0 |

#### インターフェイス設定

| | |
|---|---|
| ジョブ タイムアウト | 15 秒 |
| イーサネット | |
| ﾊｰﾄﾞｳｪｱｱﾄﾞﾚｽ | [illegible] |
| TCP/IP | |
| 有効 | する |
| IP アドレス | [illegible] |
| サブネットマスク | [illegible] |
| ゲートウェイ | [illegible] |
| DHCP | OFF |
| BOOTP | OFF |
| ARP/PING | OFF |
| HTTP | |
| 有効 | 有効 |
| FTP | |
| 有効 | 有効 |
| Telnet | 有効 |
| Bonjour | |
| 有効 | 有効 |
| Dynamic DNS | |
| 有効 | 無効 |
| IPP | |
| 有効 | 有効 |
| RAWポート | |
| 有効 | はい |
| 双方向通信 | OFF |
| SLP | |
| 有効 | 有効 |
| SMTP | |
| 有効 | 有効 |
| SNMP | |
| 有効 | 使用する |
| WSD印刷 | |
| 有効 | 使用する |
| IPsec | |
| 有効 | 使用しない |
| IPアドレス フィルター | |
| IP許可設定 | 無効 |
| IP拒否設定 | 無効 |
| IPv6 | |
| 有効 | する |
| IPv6 自動設定 | 使用する |
| リンクローカル アドレス | |
| [illegible] | |
| グローバル アドレス | |
| ::/0 | |
| ゲートウェイ アドレス | |
| :: | |
| Netware | |
| 有効 | 使用しない |
| AppleTalk | |
| 有効 | 有効 |
| ネットワーク速度 | 自動 |
| IEEE802.1X 認証設定 | |
| 有効 | 使用しない |
| 外部メモリ | 有効 |

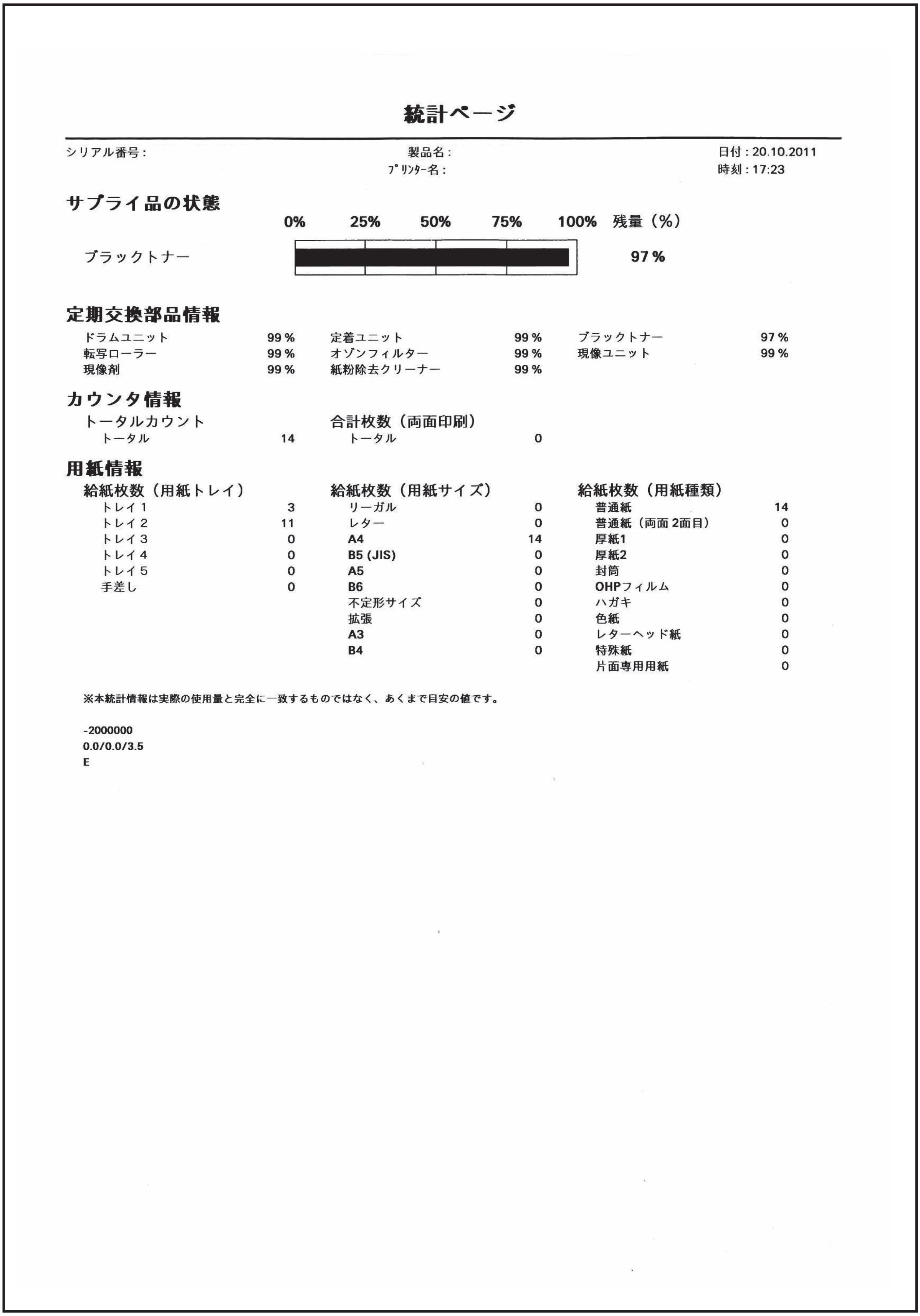
#### 外部メモリ プリント

| | |
|---|---|
| ﾌｧｲﾙの種類 | PDF,XPS |

#### 用紙設定

| | |
|---|---|
| 給紙ﾄﾚｲ設定 | |
| 初期設定トレイ | トレイ２ |
| トレイ１ | |
| 用紙サイズ | A4 |
| 用紙種類 | 普通紙 |
| トレイ２ | |
| 用紙サイズ | A4 |
| 用紙種類 | 普通紙 |
| トレイ３ | |
| 用紙サイズ | A4 |
| 用紙種類 | 普通紙 |
| トレイ４ | |
| 用紙サイズ | A4 |
| 用紙種類 | 普通紙 |
| トレイ５ | |
| 用紙サイズ | A4 |
| 用紙種類 | 普通紙 |
| ATS許可 | する |
| ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ ﾓｰﾄﾞ | しない |
| 論理トレイ0 | 物理トレイ2 |
| 論理トレイ1 | 物理トレイ1 |
| 論理トレイ2 | 物理トレイ2 |
| 論理トレイ3 | 物理トレイ2 |
| 論理トレイ4 | 物理トレイ2 |
| 論理トレイ5 | 物理トレイ2 |
| 論理トレイ6 | 物理トレイ2 |
| 論理トレイ7 | 物理トレイ2 |
| 論理トレイ8 | 物理トレイ2 |
| 論理トレイ9 | 物理トレイ2 |
| 両面印刷 | しない |
| 印刷部数 | 1 |
| 部単位印刷 | しない |

## 17.2.2 統計ページ



統計ページ

シリアル番号 : 製品名 : 日付 : 20.10.2011
ﾌﾟﾘﾝﾀｰ名 : 時刻 : 17:23

**サプライ品の状態**

| | 0% | 25% | 50% | 75% | 100% | 残量（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ブラックトナー | | | | | | 97 % |

**定期交換部品情報**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ドラムユニット | 99 % | 定着ユニット | 99 % | ブラックトナー | 97 % |
| 転写ローラー | 99 % | オゾンフィルター | 99 % | 現像ユニット | 99 % |
| 現像剤 | 99 % | 紙粉除去クリーナー | 99 % | | |

**カウンタ情報**

| トータルカウント | | 合計枚数（両面印刷） | |
|---|---|---|---|
| トータル | 14 | トータル | 0 |

**用紙情報**

| 給紙枚数（用紙トレイ） | | 給紙枚数（用紙サイズ） | | 給紙枚数（用紙種類） | |
|---|---|---|---|---|---|
| トレイ 1 | 3 | リーガル | 0 | 普通紙 | 14 |
| トレイ 2 | 11 | レター | 0 | 普通紙（両面 2面目） | 0 |
| トレイ 3 | 0 | A4 | 14 | 厚紙1 | 0 |
| トレイ 4 | 0 | B5 (JIS) | 0 | 厚紙2 | 0 |
| トレイ 5 | 0 | A5 | 0 | 封筒 | 0 |
| 手差し | 0 | B6 | 0 | OHPフィルム | 0 |
| | | 不定形サイズ | 0 | ハガキ | 0 |
| | | 拡張 | 0 | 色紙 | 0 |
| | | A3 | 0 | レターヘッド紙 | 0 |
| | | B4 | 0 | 特殊紙 | 0 |
| | | | | 片面専用用紙 | 0 |

※本統計情報は実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。

-2000000
0.0/0.0/3.5
E

### 17.2.3 フォントリスト

#### PS フォントリスト

Product Name :
Printer Name :

PostScript Typeface Outlines

| | | |
|---|---|---|
| AlbertusMT | AlbertusMT | AaBbCc012@#$% |
| AlbertusMT-Italic | AlbertusMT-Italic | AaBbCc012@#$% |
| AlbertusMT-Light | AlbertusMT-Light | AaBbCc012@#$% |
| AntiqueOlive-Bold | AntiqueOlive-Bold | AaBbCc012@#$% |
| AntiqueOlive-Compact | AntiqueOlive-Compact | AaBbCc012@#$% |
| AntiqueOlive-Italic | AntiqueOlive-Italic | AaBbCc012@#$% |
| AntiqueOlive-Roman | AntiqueOlive-Roman | AaBbCc012@#$% |
| AntiqueOliveCE-Bold | AntiqueOliveCE-Bold | AaBbCc012@#$% |
| AntiqueOliveCE-Compact | AntiqueOliveCE-Compact | AaBbCc012@#$% |
| AntiqueOliveCE-Italic | AntiqueOliveCE-Italic | AaBbCc012@#$% |
| AntiqueOliveCE-Roman | AntiqueOliveCE-Roman | AaBbCc012@#$% |
| Apple-Chancery | Apple-Chancery | AaBbCc012@#$% |
| Apple-ChanceryCE | Apple-ChanceryCE | AaBbCc012@#$% |
| Arial-BoldItalicMT | Arial-BoldItalicMT | AaBbCc012@#$% |
| Arial-BoldMT | Arial-BoldMT | AaBbCc012@#$% |
| Arial-ItalicMT | Arial-ItalicMT | AaBbCc012@#$% |
| ArialCE | ArialCE | AaBbCc012@#$% |
| ArialCE-Bold | ArialCE-Bold | AaBbCc012@#$% |
| ArialCE-BoldItalic | ArialCE-BoldItalic | AaBbCc012@#$% |
| ArialCE-Italic | ArialCE-Italic | AaBbCc012@#$% |
| ArialMT | ArialMT | AaBbCc012@#$% |
| AvantGarde-Book | AvantGarde-Book | AaBbCc012@#$% |
| AvantGarde-BookOblique | AvantGarde-BookOblique | AaBbCc012@#$% |
| AvantGarde-Demi | AvantGarde-Demi | AaBbCc012@#$% |
| AvantGarde-DemiOblique | AvantGarde-DemiOblique | AaBbCc012@#$% |
| AvantGardeCE-Book | AvantGardeCE-Book | AaBbCc012@#$% |
| AvantGardeCE-BookOblique | AvantGardeCE-BookOblique | AaBbCc012@#$% |
| AvantGardeCE-Demi | AvantGardeCE-Demi | AaBbCc012@#$% |
| AvantGardeCE-DemiOblique | AvantGardeCE-DemiOblique | AaBbCc012@#$% |
| Bodoni | Bodoni | AaBbCc012@#$% |
| Bodoni-Bold | Bodoni-Bold | AaBbCc012@#$% |
| Bodoni-BoldItalic | Bodoni-BoldItalic | AaBbCc012@#$% |
| Bodoni-Italic | Bodoni-Italic | AaBbCc012@#$% |
| Bodoni-Poster | Bodoni-Poster | AaBbCc012@#$% |
| Bodoni-PosterCompressed | Bodoni-PosterCompressed | AaBbCc012@#$% |
| BodoniCE | BodoniCE | AaBbCc012@#$% |
| BodoniCE-Bold | BodoniCE-Bold | AaBbCc012@#$% |
| BodoniCE-BoldItalic | BodoniCE-BoldItalic | AaBbCc012@#$% |
| BodoniCE-Italic | BodoniCE-Italic | AaBbCc012@#$% |
| BodoniCE-Poster | BodoniCE-Poster | AaBbCc012@#$% |
| BodoniCE-PosterCompressed | BodoniCE-PosterCompressed | AaBbCc012@#$% |
| Bookman-Demi | Bookman-Demi | AaBbCc012@#$% |
| Bookman-DemiItalic | Bookman-DemiItalic | AaBbCc012@#$% |
| Bookman-Light | Bookman-Light | AaBbCc012@#$% |
| Bookman-LightItalic | Bookman-LightItalic | AaBbCc012@#$% |
| BookmanCE-Demi | BookmanCE-Demi | AaBbCc012@#$% |
| BookmanCE-DemiItalic | BookmanCE-DemiItalic | AaBbCc012@#$% |

* ** *** - Typeface is stored.. * : on Memory. ** : on Hard Disk. *** : on Compact Flash. 1

## PCL フォントリスト

Product Name :
Printer Name :

### PCL Font List

| Font Name(Driver) | Font Name(Device) | Pitch/Point | Escape Sequence | FontNumber | Font ID |
|---|---|---|---|---|---|
| Courier | Courier | Scalable | <esc>(□ <esc>(s0p■h0s0b4099T | 00000 | |
| Courier | Courier Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s0p■h1s0b4099T | 00001 | |
| Courier | Courier Bold | Scalable | <esc>(□ <esc>(s0p■h0s3b4099T | 00002 | |
| Courier | Courier Bold Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s0p■h1s3b4099T | 00003 | |
| [illegible] | Naskh | Scalable | <esc>(□ <esc>(s0p■h0s0b4124T | 00004 | |
| [illegible] | Naskh Bold | Scalable | <esc>(□ <esc>(s0p■h0s3b4124T | 00005 | |
| Albertus Medium | Albertus Medium | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s1b4362T | 00006 | |
| Albertus Extra Bold | Albertus Extra Bold | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s4b4362T | 00007 | |
| Antique Olive | Antique Olive | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s0b4168T | 00008 | |
| Antique Olive | Antique Olive Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s0b4168T | 00009 | |
| Antique Olive | Antique Olive Bold | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s3b4168T | 00010 | |
| Arial | Arial | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s0b16602T | 00011 | |
| Arial | Arial Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s0b16602T | 00012 | |
| Arial | Arial Bold | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s3b16602T | 00013 | |
| Arial | Arial Bold Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s3b16602T | 00014 | |
| Clarendon Condensed | Clarendon Condensed Bold | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v4s3b4140T | 00015 | |
| Coronet | Coronet | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s0b4116T | 00016 | |
| Garamond | Garamond Antiqua | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s0b4197T | 00017 | |
| Garamond | Garamond Kursiv | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s0b4197T | 00018 | |
| Garamond | Garamond Halbfett | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s3b4197T | 00019 | |
| Garamond | Garamond Kursiv Halbfett | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s3b4197T | 00020 | |
| Letter Gothic | Letter Gothic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s0p■h0s0b4102T | 00021 | |
| Letter Gothic | Letter Gothic Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s0p■h1s0b4102T | 00022 | |
| Letter Gothic | Letter Gothic Bold | Scalable | <esc>(□ <esc>(s0p■h0s3b4102T | 00023 | |
| Marigold | Marigold | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s0b4297T | 00024 | |
| CG Omega | CG Omega | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s0b4113T | 00025 | |
| CG Omega | CG Omega Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s0b4113T | 00026 | |
| CG Omega | CG Omega Bold | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s3b4113T | 00027 | |
| CG Omega | CG Omega Bold Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s3b4113T | 00028 | |
| Σψμβολ | Symbol | Scalable | <esc>(19M<esc>(s1p■v0s0b16686T | 00029 | |
| CG Times | CG Times | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s0b4101T | 00030 | |
| CG Times | CG Times Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s0b4101T | 00031 | |
| CG Times | CG Times Bold | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s3b4101T | 00032 | |
| CG Times | CG Times Bold Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s3b4101T | 00033 | |
| Times New Roman | Times New Roman | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s0b16901T | 00034 | |
| Times New Roman | Times New Roman Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s0b16901T | 00035 | |
| Times New Roman | Times New Roman Bold | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s3b16901T | 00036 | |
| Times New Roman | Times New Roman Bold Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s3b16901T | 00037 | |
| Univers | Univers Medium | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s0b4148T | 00038 | |
| Univers | Univers Medium Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s0b4148T | 00039 | |
| Univers | Univers Bold | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v0s3b4148T | 00040 | |
| Univers | Univers Bold Italic | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v1s3b4148T | 00041 | |
| Univers Condensed | Univers Condensed Medium | Scalable | <esc>(□ <esc>(s1p■v4s0b4148T | 00042 | |

* - Typeface is stored.. * : Memory. ** : Hard Disk. *** : Compact Flash. ■Pitch : .10 - 576 ■Point size: .25 - 999.75 □Symbol set 1

### 17.2.4 HDD ディレクトリーリスト

製品名：
ﾌﾟﾘﾝﾀｰ名：
日付：2011.03.29
時刻：11:13

**ディレクトリー リスト**

```
Listing Directory /ata1a/data:
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ./
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Mar 29 09:46 ../
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Mar 29 09:46 USfiles/
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 PCL5files/
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 PCL6files/
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 XPStransfiles/
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 PPMLresfiles/
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 PPMLtransfiles/

Listing Directory /ata1a/data/USfiles:
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Mar 29 09:46 ./
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ../

Listing Directory /ata1a/data/PCL5files:
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ./
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ../
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 hardfonts/
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 softfonts/
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 hardmacros/
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 softmacros/
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 hardpatterns/

Listing Directory /ata1a/data/PCL5files/hardfonts:
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ./
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ../

Listing Directory /ata1a/data/PCL5files/softfonts:
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ./
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ../

Listing Directory /ata1a/data/PCL5files/hardmacros:
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ./
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ../

Listing Directory /ata1a/data/PCL5files/softmacros:
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ./
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ../

Listing Directory /ata1a/data/PCL5files/hardpatterns:
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ./
drwxrwxrwx  1 0      0          16384 Jan 27  2010 ../

Listing Directory /ata1a/data/PCL6files:

CONTINUED...                                              1
```

### 17.2.5 カウンターリスト

P 1

カウンターリスト

20.10.2011 17:23

シリアル番号

| | | | |
|---|---|---|---|
| トータルカウンター | 00000014 | 両面トータルカウンター | 00000000 |
| 用紙枚数カウンタ | 00000014 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| コピー | | トータル | 大サイズ |
| | トータル | 0000010 | 0000000 |
| プリンタ | | トータル | 大サイズ |
| | トータル | 0000004 | 0000000 |
| トータル<br>(コピー+プリンタ) | トータル | 0000014 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| スキャン | | トータル | 大サイズ |
| | トータル | 0000014 | 0000000 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ファクス | | トータル | 大サイズ |
| | 印刷<br>読取り | 0000000<br>0000000 | 0000000<br>0000000 |
| | ファクス送信枚数<br>ファクス受信枚数 | 00000000<br>00000000 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 用紙サイズ | 番号 | 用紙サイズ | カウント値 |
| | 01 | リーガル | 00000000 |
| | 02 | レター | 00000000 |
| | 03 | A4 | 00000014 |
| | 04 | B5 (JIS) | 00000000 |
| | 05 | A5 | 00000000 |
| | 06 | B6 | 00000000 |
| | 07 | 不定形サイズ | 00000000 |
| | 08 | 拡張 | 00000000 |
| | 09 | A3 | 00000000 |
| | 09 | B4 | 00000000 |

## 17.3　サーバーとクライアント OS のビット数が異なる場合の対応

プリントサーバーで Windows Server 2008 が稼動していて、かつ、プリントサーバーとクライアントコンピューターで稼動している OS のビット数が異なる場合、プリントサーバーに追加ドライバーを正しくインストールできないことがあります。

この問題は、プリントサーバーに追加ドライバーをインストールするときに、異なるビット数の OS のセットアップ情報ファイル（ntprint.inf）を指定することで、解決できます。

ここでは、プリントサーバーとは別のコンピューターにあるセットアップ情報ファイルを指定して、追加ドライバーをインストールする方法を説明します。

参考

- あらかじめ、プリントサーバーとは別のクライアントコンピューターを設定のために準備して、プリントサーバーとは違うビット数の OS をインストールしてください。
- プリントサーバー側で、クライアントコンピューターのシステムドライブを、ネットワークドライブとして割り当てます。あらかじめ、割り当てるドライブを共有するよう設定する必要があります。

### 17.3.1　追加ドライバーのインストール方法

ここでは、例として、プリントサーバーに Windows Server 2008（32bit）、クライアントコンピューターに Windows Vista (64bit）をインストールした場合の操作について説明します。

1. クライアントコンピューターの、OS がインストールされているドライブ（通常は C ドライブ）を、共有するように設定します。
2. プリントサーバーで、手順 1 で共有した、クライアントコンピューターのドライブ（例：「C」）を、ネットワークドライブ（例：「z」）として割り当てます。
3. プリントサーバーに、32bitOS 用のドライバーをインストールします。
4. 作成したプリンターの［プロパティ］の画面を開きます。
5. ［共有］タブを選択し、［このプリンタを共有する］にチェックを入れます。
6. ［追加ドライバ］をクリックします。

   追加ドライバー画面が表示されます。
7. ［プロセッサ］の列の［x64］にチェックを入れ、［OK］をクリックします。
8. 64bitOS 用のドライバーがあるフォルダーを指定します。

   セットアップ情報ファイルを要求する画面が表示されます。
9. ［参照］をクリックし、ネットワークドライブを割り当てたクライアントコンピューターにある、セットアップ情報ファイル（ntprint.inf）を指定します。

   ➔ 以下のファイルを指定します。
   「z:\Windows\System32\DriverStore\FileRepository\ntprint.inf_xxx」

   ➔ 上記のパスで、「z」は割り当てたネットワークドライブです。また、最後の「_xxx」は、ドライバーのバージョンによって異なります。

   ➔ お使いのクライアントコンピューターによっては、セットアップ情報ファイルが格納されている場所が異なる場合があります。「ntprint.inf」と同じ階層に「amd64」というフォルダーが存在する場合、その配下に 64bitOS 用のセットアップ情報ファイルを指定してください。また、32bit 用 OS のドライバーを追加インストールする場合は、「ntprint.inf」と同じ階層に「i386」というフォルダーがあるセットアップ情報ファイルを指定してください。
10. ［開く］をクリックします。

    インストールを開始します。
11. インストールが完了したら、［閉じる］をクリックします。

    これで、64bitOS 用のドライバーの追加インストールが完了しました。

# 17.4 用語集

| | 用語 | 説明 |
|---|---|---|
| 記号・アルファベット | 10Base-T/<br>100Base-TX/<br>1000Base-T | Ethernet の規格における仕様の一種。銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-T は 1000Mbps である。 |
| | Adobe® Flash® | Adobe Systems 社（旧 Macromedia 社）の開発した、ベクターグラフィックのアニメーションや音声を組み合わせたコンテンツを作成するソフト、またはそのファイル形式。<br>キーボードやマウスからの入力により、双方向性を持たせたコンテンツを扱える。ファイル容量を比較的小さく抑えることができ、ウェブブラウザーに専用のプラグインを導入して閲覧できる。 |
| | AppleTalk | Apple 社が開発したネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称。 |
| | bit | Binary Digit の略。コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。 |
| | BMP | Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。<br>Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。 |
| | Bonjour | ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術。以前は Rendezvous と呼ばれていたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更された。 |
| | BOOTP | BOO Tstrap Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読込むプロトコル。ただし現在では BOOTP をベースとして一部改良した DHCP が主流になっている。 |
| | Byte | コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8bit で構成される。 |
| | Default Gateway | 同一 LAN 上に存在しないコンピューターへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピューターやルーターなどの機器のこと。 |
| | DHCP | Dynamic Host Configuration Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読込むプロトコル。DHCP サーバーで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。 |
| | DNS | Domain Name System の略。ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のコンピューターにアクセスできるようになる。 |
| | DPI（dpi） | Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度の単位。1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。 |
| | FTP | File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。 |
| | HTTP | HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバーとクライアント（Web ブラウザーなど）がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。 |
| | IPP | Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行うプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。 |

| 用語 | 説明 |
|---|---|
| IPX | NetWare で利用されるプロトコルのひとつ。OSI 参照モデルのネットワーク層で動作する。 |
| IPX/SPX | Internetwork Packet exchange/Sequenced Packet exchange の略。Novell 社により開発された、NetWare 環境下で一般的に使用されるプロトコルのこと。 |
| IP アドレス | インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。現在広く普及している IPv4（Internet Protocol version 4）は、4 つに区切られた 32 ビットの数値が使われ、192.168.1.10 のように表される。次世代の IPv6（Internet Protocol version 6）では、128 ビットの IP アドレスが使われる。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。 |
| LAN | Local Area Network の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。 |
| LPD | Line Printer Daemon の略。TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコル。もともと BSD UNIX 用に開発されたが、一般のコンピューターでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっている。 |
| LPR/LPD | Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。 |
| MAC Address | Media Access Control address の略。各 Ethernet カード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割当てる番号である。 |
| NDPS | Novell Distributed Print Services の略。NDS 環境において高機能なプリントソリューションを提供する。NDPS をプリントサーバーとして利用することにより、希望するプリンターからの出力、新規プリンター導入時のドライバーの自動ダウンロードなど、プリンター利用に関する煩雑な管理環境を簡素化・自動化できるほか、ネットワーク・プリンターに関わる統合的な管理を行うことができる。 |
| NDS | Novell Directory Service の略。ネットワーク上に存在するサーバーやプリンター、ユーザー情報などの共有資源、またそれらに対する個々のユーザーのアクセス権限などの情報を、階層構造で一元管理できる。 |
| NetBIOS | Network Basic Input Output System の略。IBM 社によって開発された通信インターフェースのこと。 |
| NetWare | ノベル社が開発したネットワーク OS。通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。 |
| Nprinter/ Rprinter | Netware 環境下でプリントサーバーを使用する場合の、リモートプリンターサポートモジュールのこと。Netware 3.x で Rprinter、Netware 4.x で Nprinter を使用する。 |
| OHP/OHT | OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。 |
| OS（オーエス） | Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/Mac OS/Unix もその中の 1 つ。 |
| PDF | Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ（拡張子は .pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。 |
| PDL | Page Description Language の略。ページプリンターで印刷するとき、プリンターにページ単位で印刷イメージを指示する言語。 |

| | 用語 | 説明 |
|---|---|---|
| | PostScript | 米 Adobe 社によって開発された、とくに高品質が要求される印刷処理で一般的に利用される代表的なページ記述言語のこと。 |
| | PPD | PostScript Printer Description の略。解像度や利用可能紙サイズ等、PostScript プリンターの機種固有の情報を記述したファイルのこと。 |
| | Proxy Server | Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティを確保するために設置されるサーバーのこと。 |
| | PServer | Netware 環境下におけるプリントサーバーモジュールのこと。プリントジョブの監視、変更、休止、再開、および中止を行う。 |
| | Queue Name | ネットワーク印刷を行うときに、印刷を許可させる為に機器毎に設定する名称。 |
| | RIP | Raster Image Processor の略。PostScript 等のページ記述言語を用いて記述されたテキストデータを、画像イメージに展開する処理のこと。通常はプリンターに内蔵されている。 |
| | RGB | Red（赤）、Green（緑）、Blue（青）の略。モニタ等の色表現で用いられる原色で、RGB 3 色の輝度比率を変化させて全ての色を表現する。 |
| | Samba | SMB（Server Message Block）を利用して、UNIX システムの資源を Windows 環境から利用できるようにする、UNIX のサーバーソフトウェア。 |
| | SLP | Service Location Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のサービスの検索や、クライアントの自動設定などを可能にするプロトコルのこと。 |
| | SMB | Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。 |
| | SMTP | Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。 |
| | SNMP | Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。 |
| | TCP/IP | Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。 |
| | TrueType | アウトラインフォントの一種。Apple 社と Microsoft 社によって開発され、Macintosh や Windows には標準で採用されている。ディスプレイ表示と印刷の両方に使用できる。 |
| | USB | Universal Serial Bus の略。コンピューターとマウスやプリンター等を接続するための汎用インターフェース規格のこと。 |
| | WINS | Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、コンピューター名と IP アドレス変換を行うネームサーバーを呼び出すためのサービス。 |
| | XPS | XML Paper Specification の略。Microsoft 社が開発した電子形式書類の 1 つ。Windows Vista から採用されている。 |
| あ行 | アウトラインフォント | 文字の形を、直線や曲線による輪郭線で表したフォントのこと。文字サイズが大きくなっても、ギザギザの無い画面表示と印刷ができる。 |
| | アンインストール | インストールされているソフトウェアを削除すること。 |
| | イーサネット (Ethernet) | LAN の伝送路に関する規格のこと。 |
| | 印刷ジョブ | PC から印刷機器に送信される印刷要求のこと。 |
| | インストール | ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタードライバー等を、コンピューターのシステムに組み込むこと。 |
| | ウェブブラウザー | Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。<br>Internet Explorer や、Mozilla Firefox などがある。 |

| | 用語 | 説明 |
|---|---|---|
| か行 | 解像度 | 画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。 |
| | 輝度 | ディスプレイ等の画面の明るさのこと。 |
| | キュー名 | LPD/LPR 印刷のときに必要な論理プリンター名のこと。 |
| | 共有プリンター | ネットワーク上のサーバーに接続され、複数のコンピューターから使用できるように設定されたプリンターのこと。 |
| | クライアント | ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピューターのこと。 |
| | グレースケール | 黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。 |
| | ゲートウェイ | ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。 |
| さ行 | サブネットマスク | TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。 |
| | スクリーンフォント | CRT などのモニタ上で、文字／記号を表示するためのフォント。 |
| | スプール（Spool） | Simultaneous Peripheral Operation On-Line の略。プリンター出力で、データを直接プリンターに送らず、一時的に別の場所に貯めておき、後でまとめてプリンターに送信すること。 |
| た行 | ドライバー | コンピューターと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。 |
| は行 | ハードディスク | データを保存するための大容量記憶装置。<br>電源を OFF しても、データが保持される。 |
| | ピア・ツー・ピア | 専用のサーバーを使うことなく、接続された機器同士が、相互に通信可能なネットワーク形態のこと。 |
| | プラグアンドプレイ | 周辺機器を PC に接続した時に、適切なドライバーが自動検索されて使用可能になる仕組みのこと。 |
| | プリンタードライバー | コンピューターとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。 |
| | プリンターバッファ | 印刷ジョブのデータ処理のために、一時的に利用されるメモリー領域。 |
| | プリントキュー | スプーラにおいて、発生したプリントジョブを記憶しておくソフトウェアシステム。 |
| | フレームタイプ | Netware 環境において使用される通信形式の種類のこと。同じフレームタイプ同士でなければ、通信する事が出来ない。 |
| | プロトコル | コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。 |
| | プロパティ | 属性情報のこと。プリンタードライバーを使用するときは、プロパティから様々な機能の設定を行う事ができる。またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。 |
| | ホスト名 | ネットワーク上の機器を表す名前のこと。 |
| ま行 | メモリー | データを一時保存するための記憶装置のこと。電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。 |
| ら行 | ローカルプリンター | コンピューターのパラレル／ USB ポートに接続されたプリンターのこと。 |

# 18 索引

# 18 索引

## 18.1 項目別索引

## ま行



## や行



## ら行

## 18.2 キー索引

# お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

**TEL**

**コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社**

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 **http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）

国内総販売元
**コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社**

製造元
**コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社**
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

A3EW-9552IC-12



2011. 10